

取扱説明書 - 詳細版 -

HITACHI
Inspire the Next

基本編

応用編

技術情報編

液晶プロジェクター

CPX10WNJ

CPX11WNJ

CPWX12WNJ

(形名 : CPX10WN / CPX11WN / CPWX12WN)



このたびは弊社の液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

はじめに

ご使用前に、本機の取扱説明書（「かんたんガイド」および本書）をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。

お読みになった後は大切に保管してください。

この製品には保証書が添付されています。内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

《本機の特長》

本機には以下のような特長を備えており、幅広い用途でご活用いただけます。

- 本機は限られたスペースで大画面を表示できる軽量コンパクトの使いやすいプロジェクターです。
- 本機は温排気が使用する人に向かわない前面排気システムを採用しています。

《本書について》

以下をご参考に本書をご活用ください。

- ① 見出し：奇数ページの右端に記載されています。
- ② **お守りください**：本機、およびその他の周辺機器を安全かつ快適にご使用いただくための情報を記載しています。この表示に従ってください。
- ③ **お知らせ**：本機や接続する機器などに関する参考情報を記載しています。
- ④ ：このマークのあとに、ご参照いただきたい記事のページや場所を記載しています。
- ⑤ **<機種別の取扱>**：本書は、3 機種の説明書となっています。それぞれの機種特有の取り扱いについては、機種名が記載されています。

例) **<CPX10WNJ, CPX11WNJ>** ⇒ CPX10WNJ, CPX11WNJ に適用される内容です。
<CPWX12WNJ> ⇒ CPWX12WNJ に適用される内容です。

お知らせ

- 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複製、転載しないでください。
- 本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様のプロジェクターとは若干の相違がある場合があります。

《本書の構成》

本機の取扱説明書 - 詳細版 - は、基本編、応用編および技術情報編の 3 編に分かれています。

【基本編】 1 - 1

【基本編】では、本機の基本的な設定や調節、お手入れ方法などについて説明します。

【応用編】 2 - 1

【応用編】では、本機の詳細な設定や調節を行うメニュー機能についてご説明します。

【ネットワーク編】 3 - 1

【ネットワーク編】では、本機のネットワーク機能について説明します。

【技術情報編】 4 - 1

【技術情報編】では、本機の仕様や、通信機能、またエラーメッセージや故障と思われる現象への対処法についてご説明します。**保証やアフターサービス**については巻末をご覧ください。

取扱説明書 - 詳細版 -

液晶プロジェクター

CPX10WNJ / CPX11WNJ / CPWX12WNJ

(形名 CPX10WN / CPX11WN / CPWX12WN)

【基本編】

この基本編では、基本的な設定や調節、お手入れ方法などについて説明します。



警告

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

はじめに……………	1 - 2	傾きを調整する……………	1 - 33
正しくお使いいただくために		ズーム (表示倍率)、	
《必ずお読みください》……………	1 - 2	フォーカス (焦点) を調節する ……	1 - 33
絵表示について……………	1 - 2	画面の自動調整機能を使う……………	1 - 34
使用上のご注意……………	1 - 3	画面の位置を調節する……………	1 - 34
付属品の確認……………	1 - 12	キーストン (台形歪み) を調節する	1 - 35
レンズカバーの取り付け、取り外し…	1 - 13	画面を拡大する……………	1 - 36
各部の名称……………	1 - 14	映像を静止させる……………	1 - 36
プロジェクター (本機) ……	1 - 14	映像を一時的に消す (ブランク) ……	1 - 37
操作パネル……………	1 - 15	点検とお手入れ……………	1 - 38
端子パネル……………	1 - 15	ランプを交換する……………	1 - 38
リモコン……………	1 - 16	- ランプについてのご注意……………	1 - 38
準備・設置……………	1 - 17	- ランプの交換方法……………	1 - 39
設置する……………	1 - 17	エアフィルターを掃除/交換する	1 - 40
他の機器と接続する……………	1 - 20	その他のお手入れ……………	1 - 42
セキュリティ・スロット/バーを使う	1 - 22	- 内部の点検とお手入れ……………	1 - 42
リモコンを準備する……………	1 - 23	- レンズのお手入れ……………	1 - 42
- 電池を入れる……………	1 - 23	- キャビネットとリモコンのお手入れ	1 - 42
- リモコン信号について……………	1 - 24		
基本操作……………	1 - 25	お知らせ	
アダプターカバーの取り付け……………	1 - 25	一般仕様については「かんたんガイド」の	
電源に接続する……………	1 - 25	「ご参考」をご覧ください。	
電源を入れる……………	1 - 27		
電源を切る……………	1 - 28		
音量を調整する……………	1 - 29		
音声を消す……………	1 - 29		
画面を調節する……………	1 - 30		
入力信号を選ぶ……………	1 - 30		
入力信号を検索する……………	1 - 31		
アスペクト (画面の縦横比) を選ぶ	1 - 32		

はじめに

正しくお使いいただくために《必ずお読みください》

この製品をご使用になる前に、必ずこの「正しくお使いいただくために」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超える取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

絵表示について

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。



「注意」を示します。

この記号の後に続けて「気をつけなければなりません」ことを記載しています。



「破裂注意」



「感電注意」



「高温注意」



「禁止」を示します。

この記号の後に続けて「してはいけない」ことを記載しています。



「分解禁止」



「水ぬれ禁止」



「ぬれ手禁止」



「強制」を示します。

この記号の後に続けて「必ず行わなければならない」ことを記載しています。



「電源プラグをコンセントから抜け」



「アース線を必ず接続せよ」

お守りください

本機、およびその他の周辺機器を快適にご使用いただくため、この表示に従ってください。

使用上のご注意



警告

異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

- ▶ 煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする。
 - ▶ 内部に異物や液体（金属や水）が入った。
 - ▶ 落とした、強い衝撃をあたえた。
 - ▶ 本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある。
- 電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

子どもやペットに注意する



誤った取扱いは、火災、感電、けが、やけど、視力障害などの原因となります。

お子様やペットのいる場所でのご使用や保管には十分ご注意ください。

小さな部品にはお子様やペットが届かないようにしてください。

飲みこんでしまったら、ただちに医師に相談し、応急処置を施してください。

異物や液体を入れない

火災や感電の原因となります。また可燃性の気体や液体が内部に入ると、引火して爆発を引き起こし、火災やけがの原因となります。

万一、異物や液体が入ってしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

▶ 洗剤や殺虫剤などのスプレー（エアゾール製品）を本機に向けて使ったり、本機の周辺で使用したりしないでください。

▶ 花瓶、コップ、化粧品、薬品などの液体の入ったものや、ぬれた雑きんなどを、本機の上や近くに置かないでください。

▶ クリップやピンなどの金属の小物や、紙片などの燃えやすいものを本機の上や近くに置かないでください。

▶ 付属品、信号ケーブル、信号アダプタ以外のものを、本機と一緒に箱やケースに入れないでください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

分解しない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。

▶ 本機のキャビネットや付属品のケースは、本書に記載のある場合を除き、開けないでください。

▶ 本機や付属品を加工しないでください。

▶ 内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。

▶ ランプ、ランプカバー、フィルターユニットなどの部品を外した状態で使用しないでください。



分解禁止

衝撃をあたえない

ぶつかけたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのままご使用になると火災や感電の原因となります。

万一、衝撃をあたえてしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

▶ 移動するときは電源コードや信号ケーブルの接続を外し、レンズカバーを取り付けてください。

▶ アジャスタ脚は本体を落とさないように持った状態で操作してください。

▶ 修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用ください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

警告 (つづき)

不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない

落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



- ▶ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。
- ▶キャスター（車）付きの台に載せる場合は必ずキャスター（車）止めをしてください。
- ▶アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。(P.1-33)
- ▶前面、側面、背面を下にして置かないでください。
- ▶天吊り（天井設置）など特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
- ▶天吊り（天井設置）など特殊な設置は指定の器具をご使用ください。

油を使用する場所に置かない



油煙などにより油が付着し、故障、火災や感電の原因となります。
また、プラスチックの劣化により、天井設置からの落下など、けがの原因となります。
▶調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しないでください。

高温に注意する



高温注意

本機の使用時、排気口や排気口から出る空気、ランプカバーは高温になり、やけどや火災の原因となります。

本機の使用時、排気口や排気口から出る空気、ランプカバーは高温になります。周辺に可燃物やスプレー等があると、引火や破裂を引き起こし、火災や怪我の原因となります。また高温部に触れたり近づいたりするとやけどの原因となることがあります。

- ▶本機の上や周辺に、洗剤や殺虫剤などのスプレーを置かないでください。
- ▶本機の上や周辺に、燃料や紙などの燃えやすいものを置かないでください。
- ▶使用中や使用後しばらく、排気口やランプカバーに触れたり近づいたりしないでください。
- ▶金属の台など、熱の伝わりやすいものの上や近くで本機を使用しないでください。盗難防止用ワイヤー／チェーンを排気口の近くに置かないでください。
- ▶本機の上や近くに、熱に弱いものを置かないでください。ケーブルや電源コード、リモコンなどをランプカバーや排気口の近くに置かないでください。
- ▶使用後に本機を移動する場合は、本機を十分冷ましてから行ってください。

ぬらさない



水ぬれ禁止

本機や電源コードなどがぬれると火災や感電の原因となります。
水を掛けたり、風呂場やシャワー室など水や雨、水滴の掛かる場所に置いたりしないでください。
▶風呂場やシャワー室、台所などに置かないでください。
▶海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。
▶水槽や植木鉢の近くに置かないでください。

レンズをのぞかない



本機の使用時は、レンズから強い光が出ます。
視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する



仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。同梱品以外の接続ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。

警告 (つづき)

指定の電源電圧で使用する



指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。必ず、本体に表示されている指定電圧、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。

電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタを傷つけない



損傷のある電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電の原因となります。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

- ▶ 本機など、重い物を載せないでください。
- ▶ ヒーターや本機の吸気口、排気口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。
- ▶ コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。
- ▶ 投げたり、ひきずったりしないでください。
- ▶ 加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。

ぬれた手で電源を接続したり外したりしない



感電の原因となります。
ぬれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わないでください。

ぬれ手禁止

電源プラグは付着物をふき取ってから使用する



本機の電源端子や電源コード、電源アダプタのプラグ (刃) 部分やその周辺に、ほこりや金属類などが付着していると、火災や感電の原因となります。
必ず接続の前に、乾いた布などで取り除いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。
電源コードや電源アダプタを接続するときは、根元まで確実に差し込んでください。

- ▶ ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。
- ▶ たこ足配線はしないでください。

アース線を必ず接続する



アース線を必ず接続せよ

アース線を接地しないと、火災や感電、電波妨害の原因となります。
本書の「電源に接続する」(1-25) に従って、正しく接続してください。
▶ 2つ穴コンセントを使用する場合は、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。
▶ アース線を接続するときは、電源アダプタをコンセントに差し込む前に、アース線をアース端子に接続してください。
▶ アース線を外すときは、先に電源アダプタをコンセントから抜いてから外してください。

アース線をコンセントに差し込まない



アース線をコンセントに差し込むと、火災や感電の原因となります。
アース線はアース端子以外には接続しないでください。

お手入れするときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜け

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。
お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
必ず本書の「点検とお手入れ」(1-38 ~ 42) をお読みになり、正しくお手入れしてください。

警告 (つづき)

ランプユニットの取扱いに注意する

本機は、寿命のあるガラス製の高圧水銀ランプを使用しています。ランプユニットの取扱いを誤ると、やけどの原因となったり、破裂してけがなどの原因となります。

万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。排気口などから水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが出る場合があります。十分換気し、吸い込んだり、目や口から入らないようにご注意ください。万一、入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。内部にはガラス片が散乱しているおそれがありますので、ランプカバーを開けずに販売店へご連絡ください。



破裂注意

▶必ず本書の「ランプについてのご注意」(☞1-38)、「ランプの交換方法」(☞1-39)をお読みにになり、指定のランプを正しくご使用ください。

▶本機の仕様に合わないランプを使用すると、火災や故障の原因となったり、本機の寿命を縮める原因となることがあります。

▶使用中や使用後、ランプとその周辺は高温となりやけどの原因となります。ランプの交換は電源を切ってプラグを抜き、45分以上放置して冷ましてから行ってください。

▶ランプに衝撃をあたえたり、傷つけたりしないように、丁寧に取り扱ってください。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。



高温注意

電池の取扱いに注意する

電池の取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいのでお子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

▶交換するときは指定のタイプ(☞1-23)の新しい（未使用）電池を使用してください。

種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い（使用した）電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。傷のある電池は使用しないでください。

▶電池ケースの極性表示（⊕、⊖）に従って正しく入れてください。

▶リモコンを長時間使用しない場合はリモコンから電池を取り出して保管してください。

▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

▶子どもやペットが届かないところに保管してください。

▶衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。

▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。



破裂注意

注意

重い物を載せたりぶら下げたりしない



不安定になって落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。

- ▶ 本機の上に乗ったり、重い物を載せたりしないでください。
- ▶ 本書に指定のある場合や所定の別売品（販売店にお尋ねください）以外は、本機に取り付けたりぶら下げたりしないでください。

湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。また超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります。湿気やほこりの多いところには置かないでください。

- ▶ 海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。
- ▶ 調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気の多いところに置かないでください。
- ▶ 喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。

高温になるところに置かない



内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。また熱や温風を当てるとキャビネットなどが傷む原因となることがあります。

温度が高くなるところには置かないでください。

- ▶ 直射日光の当たるところ、ヒーターやエアコンの噴出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。
- ▶ 本機や付属品を電子レンジに入れしないでください。

通風口をふさがない



通風が正常に行われないと内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

- ▶ 風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。
- ▶ 吸気口、排気口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
- ▶ 布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。
- ▶ 布や紙などの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。

エアフィルターを定期的にお手入れする



エアフィルターがほこりなどで詰まったり正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。

- ▶ 必ず本書の「エアフィルターを掃除／交換する」(📖 1-40) をお読みになり、指定のエアフィルターを正しくご使用ください。
- ▶ エアフィルターは定期的にお手入れしてください。
- ▶ エアフィルターやフィルターカバーを外した状態では使用しないでください。

注意 (つづき)

LAN 端子への接続は、事前にネットワーク管理者に相談する



ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。
過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、LAN 端子に接続しないでください。
▶ 公衆回線に接続する場合は、必ず電気通信事業法認定のルータ等に接続してください。

磁気を発生するものを近づけない



本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。
▶ 付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

使用しないときは電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセント
から抜け

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。
長時間ご使用にならない場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。電源プラグを接続したまま放置すると、火災などの原因となることがあります。
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

落雷のおそれがあるときは使用しない



電源プラグを
コンセント
から抜け

火災や感電の原因となることがあります。
落雷のおそれがあるときは、使用を中止し、電源プラグを抜いてください。

年に一度は内部のお手入れを販売店に依頼する



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。
年に一度は、内部の点検と掃除を販売店にご依頼ください。
▶ お客様による内部のお手入れは危険ですので絶対におやめください。
▶ 内部のお手入れは、湿気の多くなる梅雨期の前が効果的です。

CD-ROM の取り扱いに注意する



付属の CD-ROM は、ケースに入れて大切に保管してください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

お守りください

リモコンに衝撃をあたえないでください
破損や故障の原因となることがあります。

- ▶ リモコンを投げたり落としたりしないでください。
- ▶ 上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。

リモコンをぬらさないでください

故障したり、電池が液漏れする原因となることがあります。

- ▶ 水を掛けたり、ぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください

リモコン送信の障害となって、リモコンが利かなくなることがあります。

レンズを傷つけないでください

破損や故障の原因となったり、映像不良の原因となることがあります。

- ▶ 使用しないときはレンズカバーを取り付けてください。
- ▶ レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。お手入れは市販のレ

ンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）をご使用ください。

レンズに何かを張り付けたり、密着させて置いたりしないでください

高温となってレンズ面が融け、映像不良の原因となることがあります。

レンズに直接手を触れないでください

レンズがくもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となることがあります。

光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください

リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

電波を発生するものを避けてください

本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、映像が乱れる原因となることがあります。携帯電話やトランシーバなどは本機から離れて使用ください。

お守りください (つづき)

電源は正しい手順で切ってください

正しい手順をふまずに電源プラグを抜いたりすると、冷却が正常に行われず、本機の寿命を縮めたり、投写ランプがつきにくくなる場合があります。非常時を除き、電源は決められた手順 (図1-28) で切ってください。

▶ 停電などによって、正しい手順をふまずに電源を切った (切れた) 場合は、電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。

電源を入れるときは他の機器より先に、切るときは他の機器より後に行ってください

接続している他の機器 (コンピュータやビデオなど) のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

キャビネットやリモコンの取扱い、お手入れについて

取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装がはがれることがあります。

お手入れは正しい方法 (図1-42) で行ってください。

- ▶ ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。
- ▶ ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤などは使用しないでください。
- ▶ スプレーは使用しないでください。ガスや霧が本機の内部に入って、故障などの原因となることがあります。
- ▶ 化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

長時間見るときは、ときどき目を休めてください

長時間連続して画面を見ると目が疲れます。ときどき画面から離れて目を休めてください。

梱包材は大切に保管してください

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

お知らせ

●本機の特性について

▶本機は周囲温度などの影響で、投写位置がずれたり、画面が歪んだり、フォーカスが変動することがあります。ランプが点灯してから性能が安定するまでの約 30 分程度は、特に変化が生じ易くなりますので、必要に応じて確認と再調整を行ってください。

●寿命部品について

光学部品(ランプ、液晶パネル、偏光板、PBS(Polarized Beam Splitter)、コントラストアップフィルム)および冷却ファンは寿命部品です。長時間お使いになると修理交換が必要になります。

▶本機は液晶パネルを使用した投写装置です。投写面(スクリーンや壁面など)の特性により、映像の色あいやコントラストが、テレビやコンピュータのモニタとは異なることがあります。故障ではありません。

▶偏光スクリーンでは画面が赤味を帯びて見える場合があります。ご使用にならないでください。

▶本機は長時間連続使用を想定して設計されたものではありません。毎日 6 時間以上ご使用になる場合は、1 年未満でも寿命部品の交換が必要になることがあります。また 6 時間以上連続してご使用になったり、短時間でも繰り返しご使用になったりすると、寿命部品の交換サイクルは早くなります。

▶本機を傾けて使用すると、部品の寿命を縮めることがあります。アジャスタ脚の調節範囲以外は傾けて使用しないでください。

▶ランプが点灯してから短い時間のうちに電源を切らないでください。また電源を切った後 10 分間は電源を入れしないでください。電源の入れたり切ったりを、高温状態で行ったり、短い時間に続けて行ったりすると、ランプが不点灯となったり、ランプの寿命を縮める原因となります。

●液晶パネルの焼きつきについて

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。静止画像や動きの少ない映像、液晶パネルの仕様(38)と縦横比が異なる映像などを、長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

●輝点、黒点について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。画面上に輝点(光ったままの点)や黒点(光らない点)が見られることがあります。液晶特有の現象であり、故障ではありません。

●結露にご注意ください

本機を、低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機の内部の投写レンズに結露が生じ、映像がぼやけたり、見えなくなったりすることがありますが、故障ではありません。

本機が周囲の温度に慣れるに従って露が消え、映像は正常にもどります。

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの速度を制御する機能を備えています。

周囲の温度が高いと冷却ファンの回転速度も速くなり、冷却ファンの回転騒音も大きくなります。

●冷却ファンの騒音について

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの回転騒音も大きくなります。

●ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンの RGB 外部映像出力を有効(LCD と CRT の同時表示または CRT の設定)にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。

●セキュリティ・スロット／バーについて

本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

●この製品は日本国内専用設計されていますので、日本国外ではご使用にならないでください。

この製品の保証書は日本国内でのみ有効です。また有償／無償にかかわらず、日本国外でご使用の場合には、修理等のご依頼に応じることができませんのでご了承ください。

This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan. For use out of Japan, we will not accept paid or free requests such as the repair.

●電源高調波について

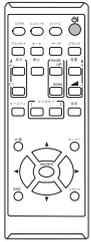
高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部: 限度値 - 高調波電流発生限度値(1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

付属品の確認

初めに付属品をご確認ください。この製品にはプロジェクター本体（本機）の他に、以下のものが含まれています。万一不足しているものがあれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

リモコン



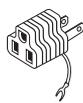
単3型乾電池×2個
(リモコン用)



電源コード

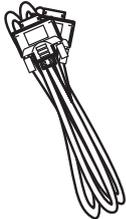


電源アダプタ



電源コードと二つ穴
コンセントをつなげる
アダプタです。

コンピュータケーブル



コンピュータの映像信号を本
機に入力するためのケーブル
です。

アダプターカバー



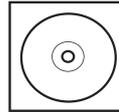
USB ワイヤレスアダプタの安易
な脱落及び抜き取りを防ぐ
ためのカバーです。

レンズカバー



レンズを保護するカバーです。

取扱説明書 CD-ROM (User's Manual (detailed))



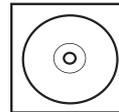
「取扱説明書 - 詳細版 -」
が収録されています。

保証書



お買い上げの販売店名、お買い
上げ日をお確かめのうえ、大切
に保管してください。

アプリケーション CD-ROM (Wireless & Network Software)



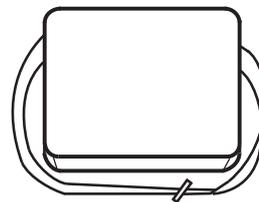
ネットワークに接続する
ための、「LiveViewer」の
インストールディスクです。

かんたんガイド



最初に本機をご利用いただくのに
便利な、簡易版 取扱説明書です。
本機と一緒に保管し、
必要なときにご参照ください。

ソフトケース



警告



●不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない



●電源コードや信号ケーブルを傷つけない
本機など、重い物を載せないでください。



●電池の取扱いに注意する
子供やペットが届くところに放置しないでください。

お守りください

●梱包材は大切に保管してください。

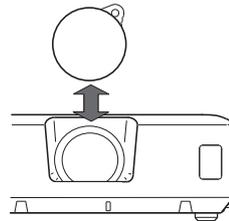
修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

レンズカバーの取り付け、取り外し

レンズ保護のために電源をオフした時はレンズカバーを取り付けて下さい。

レンズカバーは、図のようにつまみを右に傾けた状態で上下に移動させて取り付け、取り外しを行ってください。

つまみがその他の位置ではレンズカバーの取り付け、取り外しは行えません。



各部の名称

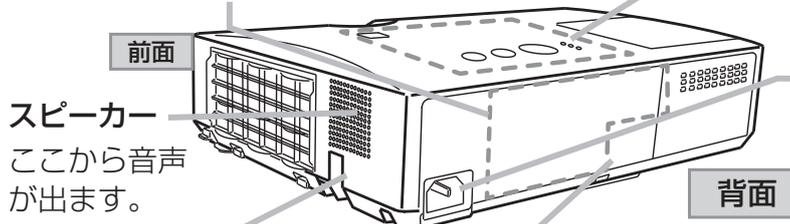
プロジェクター（本機）

端子パネル

コンピュータやビデオ / DVD プレーヤなどと接続します。

操作パネル

本機を操作するためのボタン、および本機の状態をお知らせするインジケータです。



スピーカー
ここから音声が
出ます。

AC IN（電源端子）（[1-25](#)）
電源コードを接続します。

セキュリティ・バー / セキュリティ・スロット（[1-22](#)）

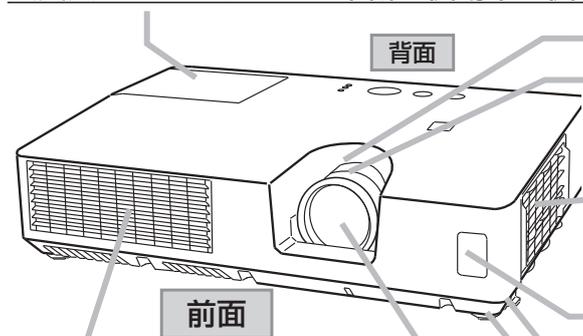
ケンジントンロックなどの盗難防止用ロック、および盗難防止ワイヤー / チェーンを取り付けます。

ランプカバー（[25](#)）

 **高温注意**

内側にランプが取り付けられています。

大変熱くなりますので、本機を使用中、使用後しばらくは、近づいたり触れたりしないでください。



ズームリング

フォーカスリング（[1-33](#)）

画面のズーム（表示倍率）、およびフォーカス（焦点距離）を調節します。

フィルターカバー（[1-40](#)）

内側にエアフィルターと吸気口があります。物や手などでふさがらないでください。

リモコン受光部（[1-24](#)）

リモコンからの信号を受け取ります。

アジャスタボタン

アジャスタ脚（[1-33](#)）

本機の傾きを調節します。左右に一組ずつ、計二組あります。

排気口  **高温注意**

本機内部の排熱口です。

大変熱くなりますので、本機を使用中、使用後しばらくは、近づいたり触れたりしないでください。

レンズ  のぞかない 映像が投写されます。

本機使用中は強い光が出ますので、絶対にのぞかないでください。

警告



● 衝撃をあたえない

アジャスタ脚は、本体を落とさないように持った状態で操作してください。



● レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

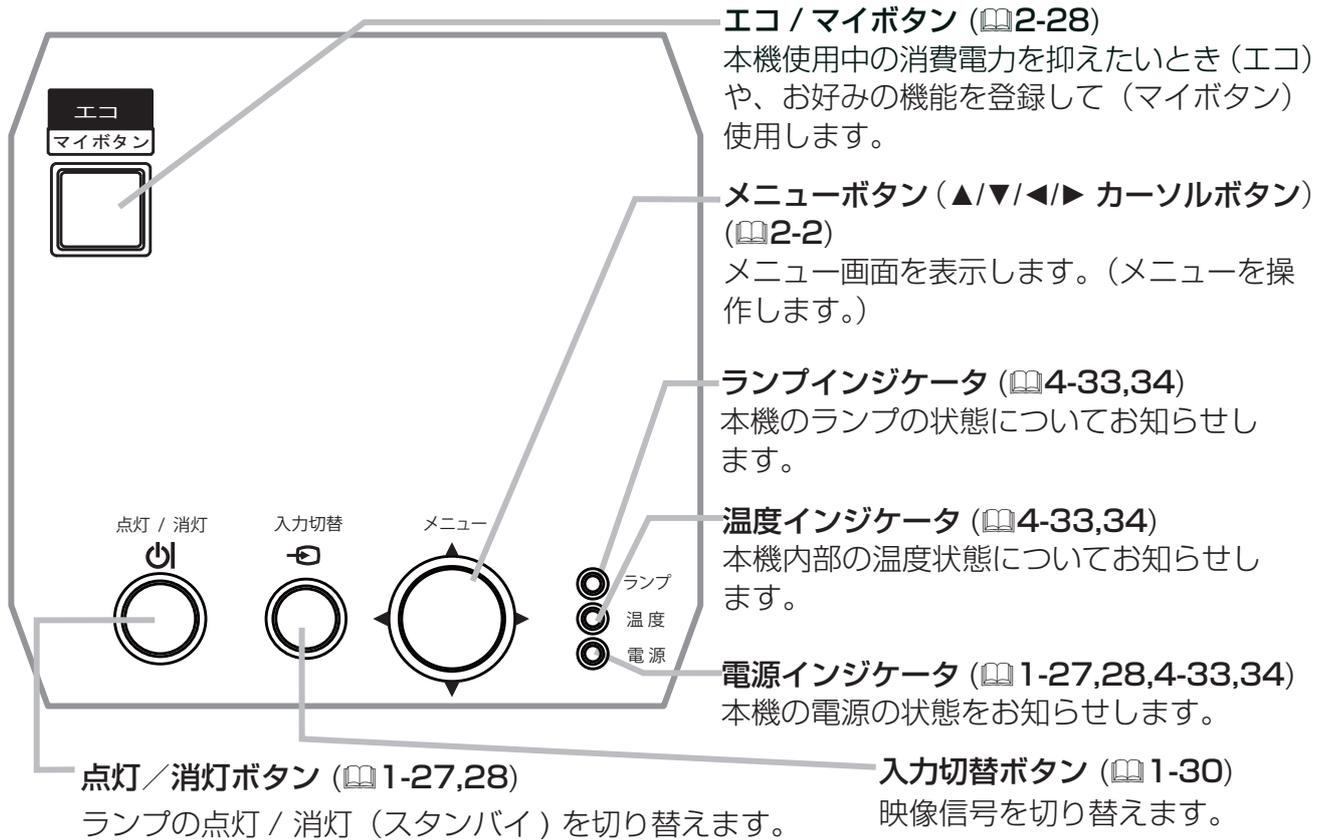


高温注意

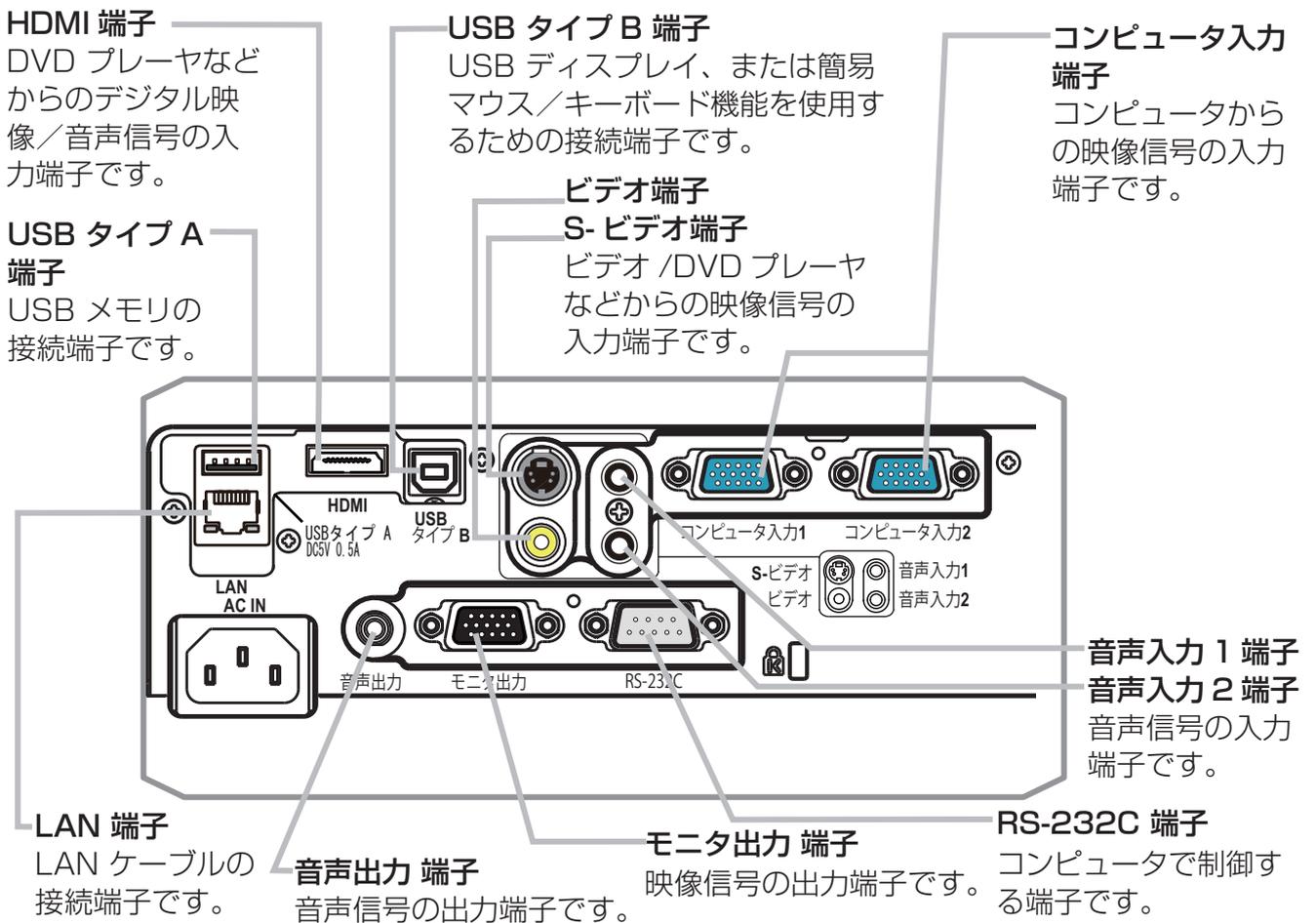
● 高温に注意する

使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、ランプカバーに触れたりしないでください。

操作パネル



端子パネル



リモコン

コンピュータボタン (📖1-30)

コンピュータ入力端子からの映像信号を選択します。

ビデオボタン (📖1-30)

HDMI 端子、ビデオ端子、S-ビデオ端子からの映像信号を選択します。

アスペクトボタン (📖1-32)

表示画面の縦横比を設定します。

オートボタン (📖1-34)

画面の自動調整を行います。

拡大オン/オフボタン (📖1-36)

画面の拡大オン/オフを行います。

静止ボタン (📖1-36)

一時的に表示画面を静止させるときに使用します。

キーストンボタン (📖1-35)

画面の台形歪みを補正します。

PAGE UP/DOWN ボタン

本機では使用しません。

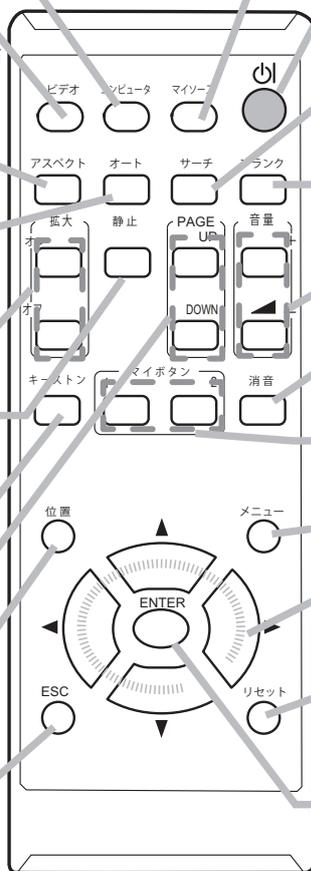
位置ボタン (📖1-34)

画面の位置を調節します。

ESC ボタン (📖2-2)

メニュー画面の操作などに使用します。

前面



マイソースボタン (📖1-31,2-29)

このボタンに登録した端子からの映像信号を選択します。

点灯/消灯ボタン (📖1-27,28)

ランプの点灯/消灯(スタンバイ)を切り替えます。

サーチボタン (📖1-31)

本機に入力されている映像信を検索します。

ブランクボタン (📖1-37)

一時的に画面を消す時に使用します。

音量 + / - ボタン (📖1-29)

音量を調節します。

消音ボタン (📖1-29)

音声をオン/オフします。

マイボタン 1/2 (📖2-28)

機能を設定してご使用になれます。

メニューボタン (📖2-2)

メニュー画面を表示します。

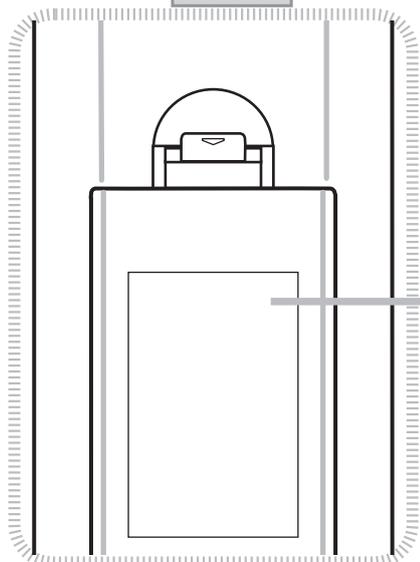
カーソル (▲/▼/◀/▶) ボタン (📖2-2)

リセットボタン (📖2-2)

ENTER ボタン (📖2-2)

メニュー画面の操作などに使用します。

背面



電池カバー (📖1-23)

内側に電池ケースがあります。
電池の取り扱いには注意してください。

お知らせ

- リモコンの各機能は、信号などの条件によって動作が異なる場合があります。
詳しくは、各参照ページをお読みください。

準備・設置

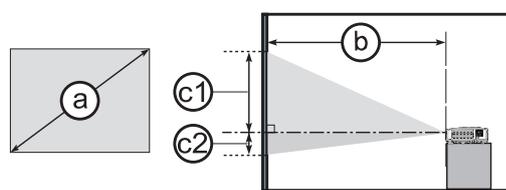
設置する

本機は、高温、湿気、ほこりや直射日光を避け、安定した涼しい場所に設置してください。ご使用環境に合わせ、設置の方法と位置を決めてください。

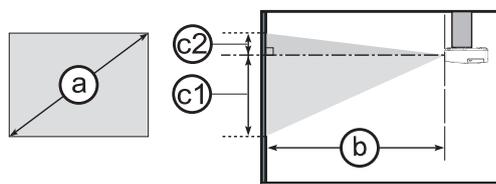
プロジェクターとスクリーンの距離については下図および「かんたんガイド」の「設置する」をご覧ください。

- Ⓐ 画面サイズ（対角寸法） Ⓑ 投写距離 Ⓒ①, Ⓒ② スクリーン高さ

台や棚の上に置いて



天吊りで



お知らせ

- プロジェクターを 1,600m (5,250feet) 以上の高地でご使用の場合には、“高地モード” の設定を“高地” にしてください。それ以外の場合は“標準” にしてください。
不適切な設定では、本機もしくは中身のパーツに故障を及ぼす恐れがあります。

(次ページにつづく)

警告



電源プラグを
コンセント
から抜け

- 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。



高温注意

- 高温に注意する
熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。



分解禁止

- 分解しない、改造しない
本機や付属品を加工しないでください。



- 衝撃をあたえない
アジャスタ脚は本体を落とさないようにしっかり支えた状態で操作してください。



- 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない
ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。
キャスター（車）付きの台に載せる場合は必ずキャスター（車）止めをしてください。
アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。
設置器具の指定品をご使用になり、天吊り（天井設置）などの特殊な設置は、必ず販売店にご依頼ください。

(次ページにつづく)

設置する (つづき)


警告 (つづき)


- **ぬらさない、ぬれる場所に置かない、油煙の当たるところに置かない**
風呂場やシャワー室、調理台のある場所や機械油などを使用する場所などに置かないでください。海や川、プールなどの水辺の近くや屋外には置かないでください。水槽や植木鉢の近くに置かないでください。


注意


- **湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない**
調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気が多いところに置かないでください。特に超音波式加湿器などの近くでは、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、画像劣化や故障などの原因となることがあります。喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。



- **高温になるところに置かない**
直射日光の当たるところ、ヒーターやエアコンの噴出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。



- **通風口をふさがない**
風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。通風口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。布や紙、テーブルクロスなどの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。



- **磁気を発生するものを近づけない**
付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

お守りください

- 設置の際は、本機とスクリーンとの間に障害物がないことをよく確認してください。
- 本機と壁などとのスペースを 30cm 以上とってください。
- 設置器具は指定品をご使用になり、天吊り（天井設置）などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
- セキュリティ・スロット／バーを落下防止用を使用する場合は、販売店にご相談ください。
- 光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。
- 電波を発生するものを避けてください。

お知らせ

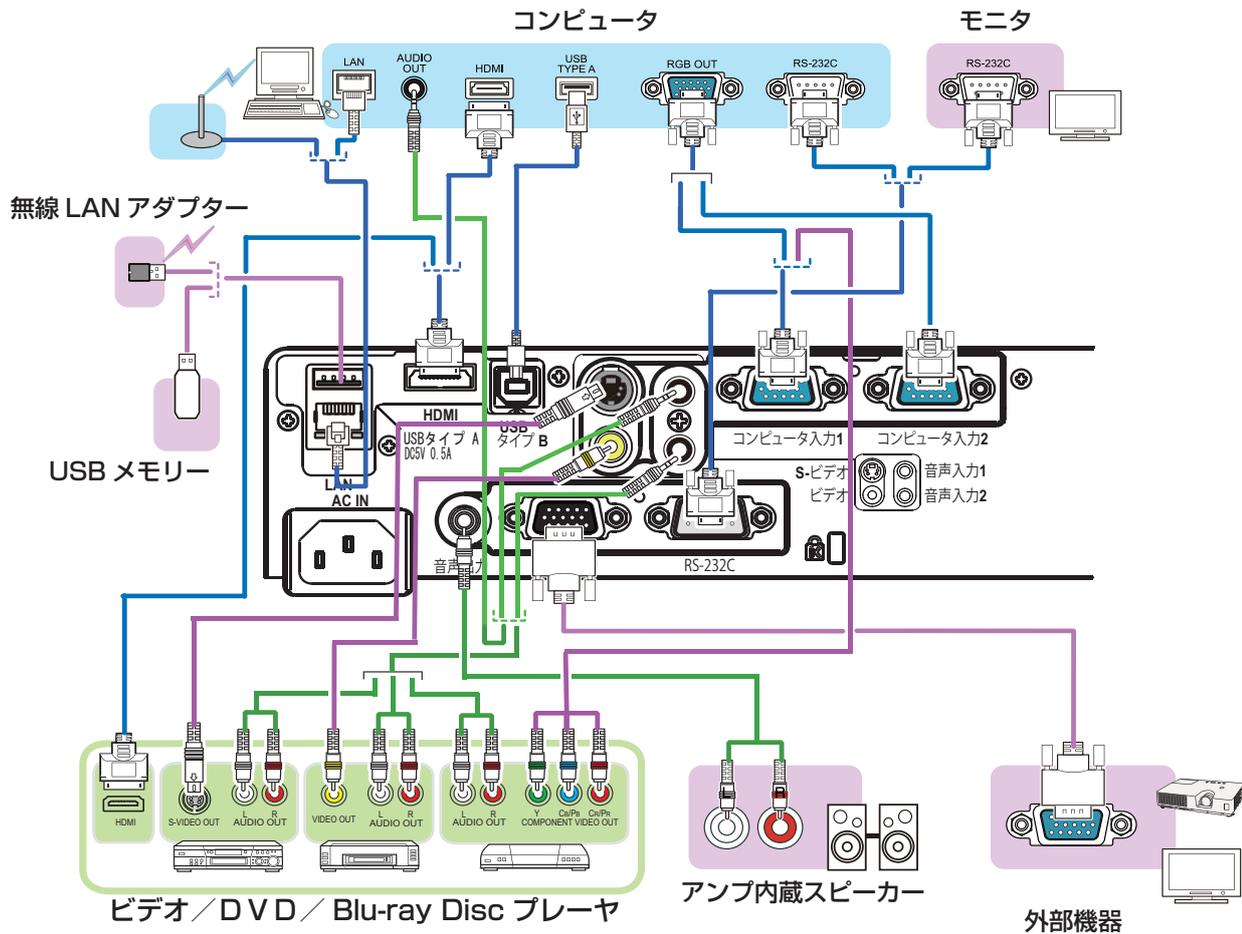
- 天吊り設置にすると、本機はプラスチック製のため、映像表示位置が変わることがあります。再設定が必要な場合は、販売店または業者にお問い合わせください。
- 製品には個体差があります。表の数値には誤差（± 10%）が生じることがありますので、設置の際にはご注意ください。
- リモコン受光部に蛍光灯などの不要な光が入ると、リモコンが正常に動作しないことがあります。この場合には本機の位置を調節してください。

他の機器と接続する

接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みください。信号によっては、特定のアダプタが必要な場合や、本機では正しく表示できない場合があります。

解像度などの仕様が本機に合うことを確認し、必要な信号ケーブルやアダプタを準備してください。本機の端子形状は「入出力信号端子」(図4-4～8)をご覧ください。本機および接続する機器の電源が切れていることを確認し、以下の図をご参考に接続を行ってください。

コンピュータ入力端子にコンポーネントビデオ信号を入力するには、「コンピュータ入力端子へのコンポーネントビデオ信号の入力について」(図4-8)をご覧ください。



警告



分解禁止

- 分解しない、改造しない**
本機や付属品を加工しないでください。



- 信号ケーブルやコネクタを傷つけない**
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒーターや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。



- 信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する**
本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の信号ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ、適切なものをご使用ください。

(次ページにつづく)

他の機器と接続する (つづき)


注意


電源プラグを
コンセント
から抜け

●接続するときは電源プラグを抜く

接続作業は、本機や接続する機器の電源を切って行ってください。本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

お守りください

- 接続はコネクタの形状や向きを確かめながら、正しく行ってください。正しく接続されていないと本機や接続される機器の故障の原因になります。固定ネジがあるものはネジをきちんと締めて固定してください。
- 本機の各接続端子は凹んでいるので、L形ではなく、ストレート形プラグのケーブルを使用してください。

お知らせ

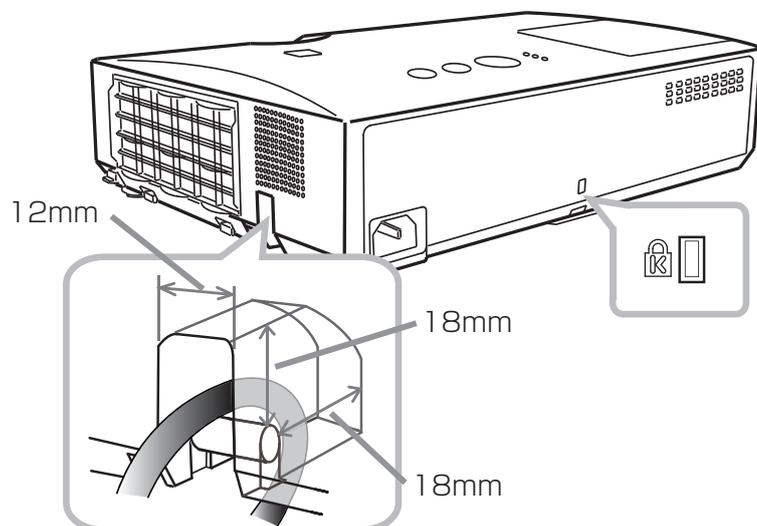
- ノートパソコンや、ディスプレイ一体型コンピュータなどと接続する場合は、RGB 外部映像出力を有効 (LCD と CRT の同時表示または CRT の設定) にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコン、ディスプレイ一体型コンピュータの説明書をご覧ください。
 - 入力信号によっては、本機の自動調整機能 (☞1-34) が正しく働かなかったり、映像を表示できなくなったりすることがあります。また複数の表示モードを持っているコンピュータでは、本機が対応していないモードを含む場合があります。あらかじめご確認ください。
 - コンピュータ上で解像度を切り替えるとき、本機の自動調整機能が正常に動作しなかったり通常より時間がかかったりすると、解像度切替えのための画面表示が確認できず、もとの解像度に戻ってしまうことがあります。このような場合は、別の表示装置を使って解像度を切り替えてください。
 - 本機は UXGA(1600 × 1200) 信号まで表示できますが、信号処理の過程で本機の液晶パネルの解像度に変換しています。映像品質は入力信号と本機のパネルの解像度が同じときに最良です。
 - 本機は VESA DDC 2B に対応しています。本機を VESA DDC (Display Data Channel) 対応のコンピュータに接続してご使用になると、プラグ & プレイを実現できます。
- ※プラグ & プレイは、コンピュータと、表示装置などの周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。
- ・本機の**コンピュータ入力**端子とコンピュータを付属のコンピュータケーブルで接続してご使用ください。
 - ・本機は「プラグ & プレイ・モニタ」として認識されます。このとき、ディスプレイドライバは、標準のものをご使用ください。
 - ・接続するコンピュータによってはプラグ & プレイが動作しない場合があります。
- 本機の **HDMI** 端子は HDCP (High-bandwidth Digital Content protection) に対応しています。HDCP 対応の DVD プレーヤなどのビデオ信号を表示することができます。
 - 本機は、以下の HDMI 信号に対応しています。
 - ・ビデオ信号：480i@60, 480p@60, 576i@50, 576p@50, 720p@50/60, 1080i@50/60, 1080p@50/60
 - ・コンピュータ信号：「コンピュータ信号について」(☞4-2) をご参照ください
 - 本機は、HDMI および DVI 対応機器に接続することができますが、機器によっては映像が映らない、音声が出力されないなど、正常に動作しない場合があります。
 - DVI 対応機器を本機に接続する場合は、DVI-HDMI 変換ケーブルで本機の **HDMI** 端子に接続してください。
 - HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ付きのものをご使用ください。
 - USB 記憶装置が大きくて、LAN 端子にケーブルがささらなくなるほど邪魔する場合は、USB 延長ケーブルを使用して USB 記憶装置を接続してください。

セキュリティ・スロット／バーを使う

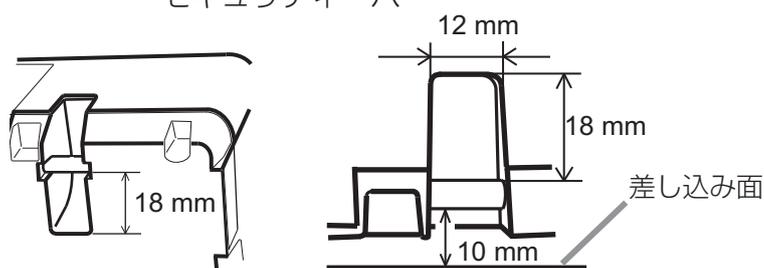
本機は、市販の盗難防止用ロックをご使用になるためのセキュリティ・スロットと、盗難防止用ワイヤーやチェーンをご使用になるためのセキュリティ・バーを備えています。

セキュリティ・バーには直径 10mm までのワイヤーまたはチェーンを取り付けることができます。

詳細はご使用になる盗難防止用ロック、盗難防止用チェーン／ワイヤーの説明書をご覧ください。



セキュリティ・バー



お守りください

- 盗難防止用チェーン／ワイヤーは、高温になりますので排気口に近づけないでください。

お知らせ

- 本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

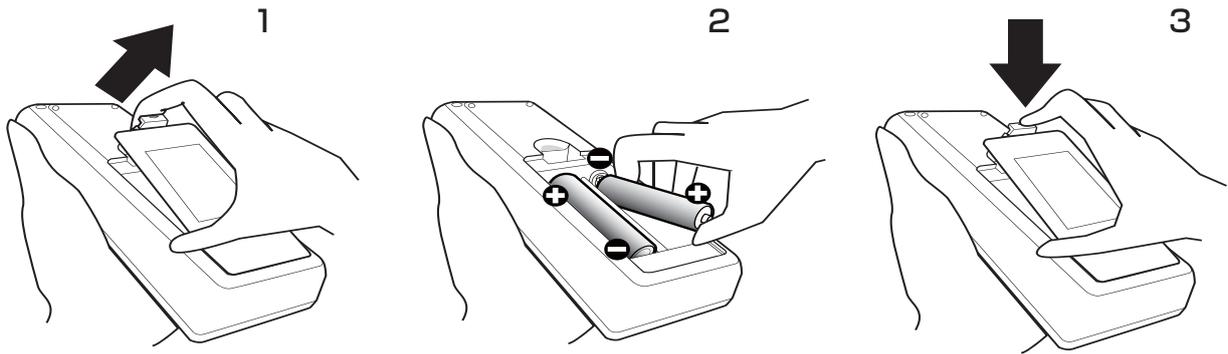
リモコンを準備する

電池を入れる

付属のリモコンは単3型乾電池2本を使用します。ご使用前に電池をリモコンに入れてください。電池は必ず下記のものをご使用ください。

付属リモコン用電池：日立マクセル製または日立マクセルエナジー製、型名 LR6 または R6P

1. 電池カバーのつまみを軽く手前に引きながら電池カバーを外してください。
2. リモコンの中に表示された極性表示（⊕、⊖）を確認し、電池の向きを合わせて入れてください。
3. 電池カバーをもとのように閉じてください。



警告

●電池の取扱いに注意する

取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、電池を飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

- ▶ 電池は、必ず指定のタイプ（上記）の新しい電池を使用してください。損傷のある電池は使用しないでください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い（使用した）電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。
- ▶ 電池は、電池ケースの極性表示（⊕、⊖）に従って正しく入れてください。
- ▶ リモコンを長時間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。
- ▶ 火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
- ▶ 子どもやペットが届かないところに保管してください。
- ▶ 衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。
- ▶ 充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。
- ▶ 廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。



破裂注意

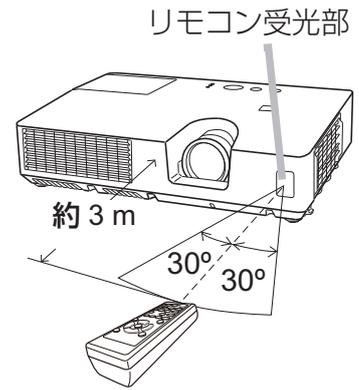
(次ページにつづく)

リモコン信号について

付属のリモコンは、本機のリモコン受光部へ信号を送って機能します。リモコン信号は、受光部への入射角度左右に各 30°、距離約 3 m の範囲で有効です。

リモコン信号は、スクリーンなどに反射させて操作できる場合もあります。(反射面によっては反射できない場合もあります。)

また、受光部に蛍光灯などの不要な光が入ると、リモコンが正常に動作しないことがあります。この場合には本機の位置を調整してみてください。



警告



高温注意

●高温に注意する

排気口の近くにリモコンを置かないでください。



分解禁止

●分解しない、改造しない

リモコンを加工しないでください。

お守りください

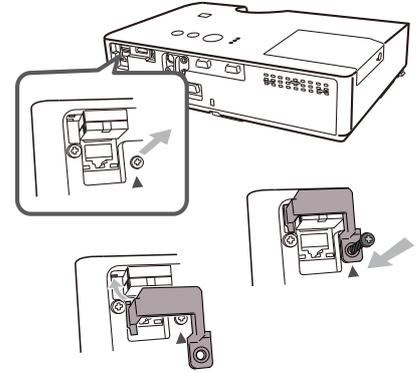
- リモコンに衝撃をあたえないでください。リモコンを投げたり落としたり、上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。
- リモコンに水を掛けたり、リモコンをぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。
- リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください。リモコンは赤外線で本機に信号を送っています。(クラス 1 LED 製品) リモコンと本機の受光部の間に障害物があると、リモコンが利かないことがあります。
- 光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

基本操作

アダプターカバーの取り付け

USB 無線アダプターの安易な脱落（及び抜き取り）を防ぐため、同梱のアダプターカバーを使用してください。

1. USB タイプ A 端子の左下にあるねじ（三角付き）を外してください。
2. カバーの突起を、USB タイプ A 端子の右上にある穴に矢印の方向に差し込んでください。
3. プロジェクターと（アダプター）カバーのねじ穴を合わせてください。プロジェクターから外したねじを（ねじ）穴に差し込み、きっちり締めてください。

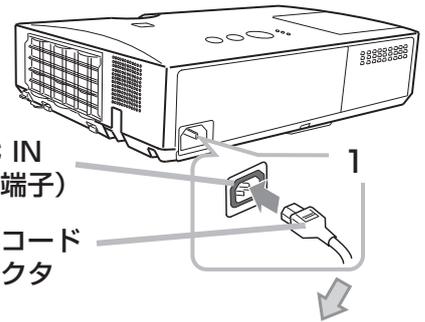


電源に接続する

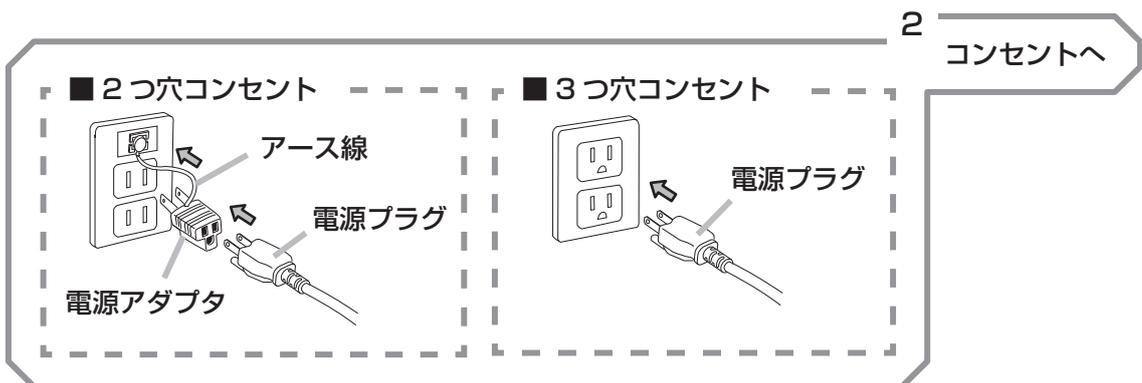
本機の電源端子と AC（交流）100V の電源コンセントを、付属の電源コードと必要に応じて電源アダプタで接続してください。

⇒ **本機を電源に接続する前に、必ず「使用上のご注意」(P.1-3～5,10) をご確認ください。**

1. 電源コードのコネクタ側を本機の AC IN に接続してください。
2. ■ **3つ穴コンセントをご使用のとき**
電源プラグをコンセントに接続してください。



- **2つ穴コンセントをご使用のとき**
電源アダプタのアース線をコンセントのアース端子に接続してから、電源アダプタをコンセントに接続してください。その後、電源プラグを電源アダプタに接続してください。



電源が接続されると、本機はスタンバイ状態となり、操作パネルの電源インジケータが橙色に点灯します。

お知らせ

- 「その他」メニューで「ダイレクトパワーオン」を「有効」にすると (P.2-25)、電源に接続したとき自動的にランプが点灯します。
- 小さな部品にはお子様やペットが届かないようにしてください。口に（小さな部品を）入れないようにご注意ください。

（次ページにつづく）

警告



電源プラグを
コンセント
から抜け

- 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。



- 指定の電源電圧で使用する
必ず、本体に表示されている指定電圧、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。



- 電源コードや電源アダプタは同梱品を使用する
電源コードや電源アダプタは本機に付属のものをご使用ください。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。



- 電源プラグは付着物をふき取ってから使用する
必ず接続の前に、接続部やその周辺に付着しているほこりや金属類など取り除いてください。



- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。たこ足配線はしないでください。



- 電源を、複数の機器へ分配して使用しないでください。
分配して使用すること) は、コンセントやコネクタに過負荷をかけるかもしれないし、接続を緩めること原因となるかもしれず、火災や感電、その他の災害に帰着するかもしれません。



アース線を
必ず接続せよ

- アース線を必ず接地する
2 つ穴コンセントを使用する場合、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。アース線の接続は電源アダプタをコンセントに差し込む前に、アース線を外すときは電源アダプタをコンセントから抜いてから、行ってください。



- 電源コードや電源アダプタを傷つけない
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒーターや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。



- ぬれた手で電源を接続したり外したりしない
ぬれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わないでください。



- アース線をコンセントに差し込まない
アース線はアース端子以外には接続しないでください。

お守りください

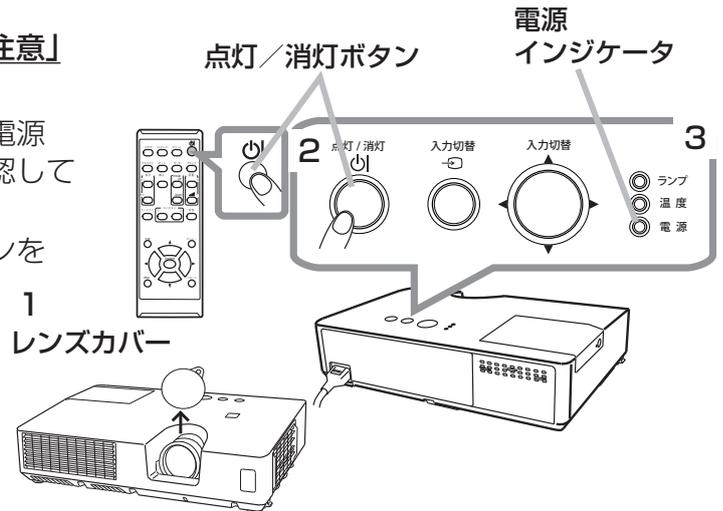
- 接続している他の機器（コンピュータやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、接続している他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

電源を入れる

⇒ 本機の電源を入れる前に、必ず「使用上のご注意」(P5, 6, 8)をご確認ください。

1. 電源コードが正しく接続され、操作パネルの電源インジケータが橙色に点灯していることを確認してください。レンズカバーをはずしてください。
2. リモコンまたは操作パネルの点灯/消灯ボタンを押してください。
3. ランプが点灯すると、スタートアップ画面が表示されます。電源インジケータは点滅をやめ緑色に点灯します。

絶対にレンズや投写光をのぞかないでください。



警告



●レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



高温注意

●高温に注意する

使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。

お守りください

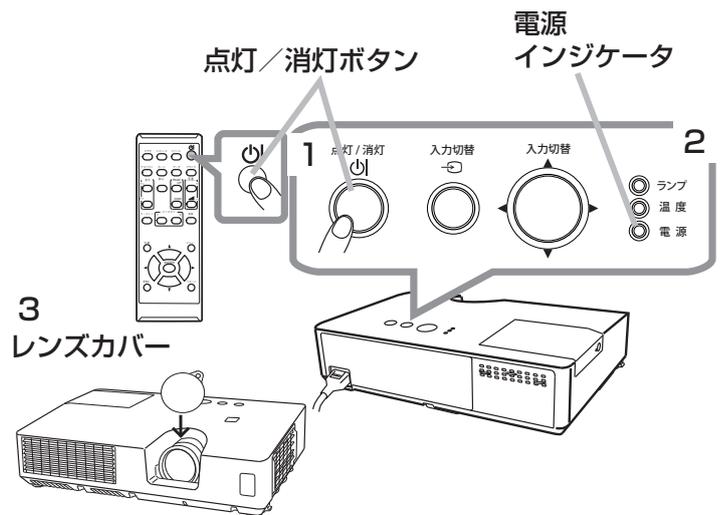
- 本機の電源は、接続している他の機器より先に入れてください。接続している他の機器（コンピュータやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

お知らせ

- 「その他」メニューで「ダイレクトパワーオン」を「有効」にすると (P2-25)、電源に接続したとき自動的にランプが点灯します。

電源を切る

1. リモコンまたは操作パネルの点灯／消灯ボタンを押してください。「電源を切りますか？」のメッセージが約5秒間表示されます。
2. もう一度点灯／消灯ボタンを押してください。電源インジケータが橙色に点滅を始めると共にランプが消灯・冷却を始めます。
3. 冷却が終わると電源インジケータは点滅をやめ、橙色に点灯します。電源を切った場合は、レンズカバーを取り付けてください。



ランプが点灯してから短い時間のうちに電源を切らないでください。また電源を切った後10分間は電源を入れないでください。電源の入れたり切ったりを、高温状態で行ったり、短い時間に続けて行ったりすると、ランプが不点灯となったり、ランプの寿命を縮める原因となります。

警告



●レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



高温注意

●高温に注意する

使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

●使用しないときは電源プラグを抜く

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

お守りください

- 本機の電源は、接続している他の機器より後に切ってください。接続している他の機器（コンピュータやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

お知らせ

- 「その他」メニューの「オートパワーオフ」(2-26)を「有効」に設定している場合、無信号状態が設定した時間だけ続くと自動的にランプが消灯します。

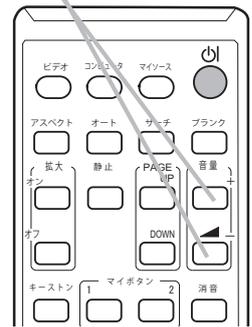
音量を調整する

音量を調整するために**音量 +/ 音量 -** ボタンを使います。

音量を調整中は画面上にダイアログが表示されます。なにも操作が行われないと、ダイアログが数秒後に自動的に消えます。

- 「オーディオ」メニュー (☞2-19) の「音声入力設定」で「~~✕~~」が選択されている端子からの入力信号を選択しているときには、音量は調節できません。また、「音声出力 スタンバイ」に「~~✕~~」が選択されているか、「スタンバイモード」 (☞2-18) が「省電力」に設定されていると本機がスタンバイ状態の時には音量を調節できません。

音量 +/- ボタン



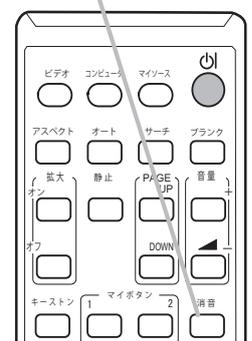
音声を消す

リモコンの**消音**ボタン を押してください。音声が消え、消音ダイアログ (音声調節のためのガイドの先頭に「~~✕~~」が表示されているもの) が表示されます。ダイアログは約 5 秒で消えます。

もう一度**消音**ボタン を押すか、**音量 +/ 音量 -** ボタンを押して音量の調整を開始すると、音声は復帰します。

- 「オーディオ」メニュー (☞2-19) の「音声入力設定」で「~~✕~~」が選択されている端子からの入力信号を選択しているときには、**消音**ボタン を押さなくても本機の内蔵スピーカーから音声は出力されません。また、「音声出力 スタンバイ」に「~~✕~~」が選択されているか、「スタンバイモード」 (☞2-18) が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態の時には、**消音**ボタン を押さなくても**音声出力**端子から音声は出力されません。
- 「スクリーン」メニューの「C.C.」 (☞2-24) で、「ディスプレイ」が「オート」に設定されている場合、C.C. 対応の、NTSC 方式のビデオ信号、S-ビデオ信号、または 480i@60 コンポーネントビデオ信号を受信しているときに**消音**ボタン を押すと、自動的に C.C. 機能が有効になります。

消音ボタン

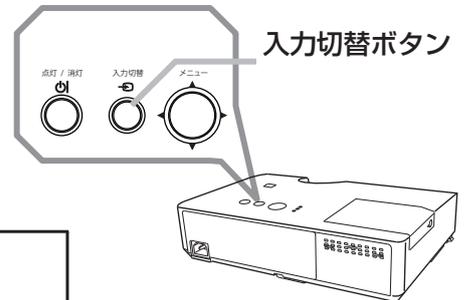


画面を調整する

入力信号を選ぶ

■ 入力切替ボタンを押す

1. 操作パネルの**入力切替**ボタンを押すごとに**入力端子**を切り替えることができます。選択されていた端子を起点に以下の順序で切り替えます。

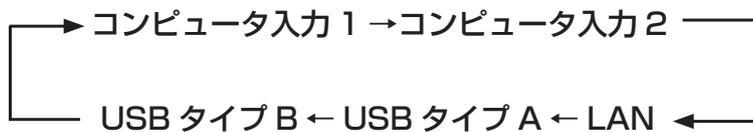
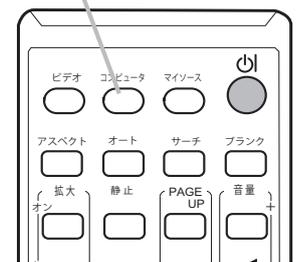


- 「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」(☑2-25)の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。

■ リモコンのコンピュータボタンを押す

1. リモコンの**コンピュータ**ボタンを押すと、信号の入力端子を**コンピュータ入力**に切り替えることができます。

コンピュータボタン



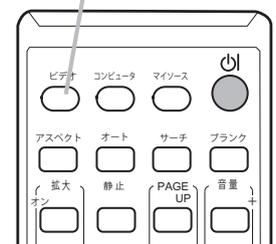
- 「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」(☑2-25)の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。**ビデオ**、**S-ビデオ**のいずれかの端子が選択されていたときに、**コンピュータ**ボタンが押されると、**コンピュータ入力**端子を最初に検索します。

■ リモコンのビデオボタンを押す

1. リモコンの**ビデオ**ボタンを押すごとに**HDMI**、**S-ビデオ**、**ビデオ**の入力端子を切り替えることができます。選択されていた端子を起点に以下の順序で切り替わります。



ビデオ ボタン



- 「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」(☑2-25)の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。**コンピュータ入力**端子が選択されていたときに、**ビデオ**ボタンが押されると、**HDMI**端子を最初に検索します。

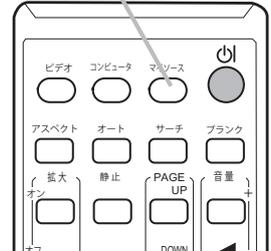
画面を調整する

入力信号を選ぶ (つづき)

■ リモコンのマイソースボタンを押す

1. リモコンのマイソースボタンを押すと、「マイソース」(図2-29)に設定した信号に入力端子を切り替えることができます。
- この機能はドキュメントカメラにも使用可能です。このボタンを押すことで、ドキュメントカメラを接続した入力端子を選択します。

マイソース ボタン



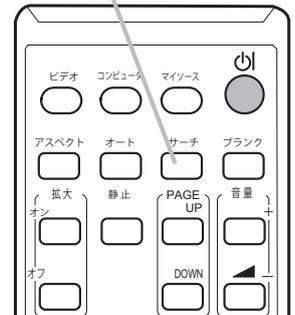
入力信号を検索する

■ リモコンのサーチボタンを押す

1. リモコンのサーチボタンを押すと入力信号の検索を開始します。入力を検出したら検索をやめ、画像を表示します。入力信号が見つからない場合は、サーチボタンを押したときの状態に戻って終了します。



サーチボタン



- 「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」(図2-25)の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。
- USB タイプ B 端子からの画像を表示するには、数秒時間がかかることがあります。

アスペクト（画面の縦横比）を選ぶ

リモコンのアスペクトボタンを押す。

1. リモコンのアスペクトボタンを押すたびに、以下の順序で表示画面の縦横比が切り替わります。

<CPX10WNJ, CPX11WNJ>

■ コンピュータ信号を表示しているとき…

▶ ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10

■ HDMI 信号を表示しているとき

▶ ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 → 14:9

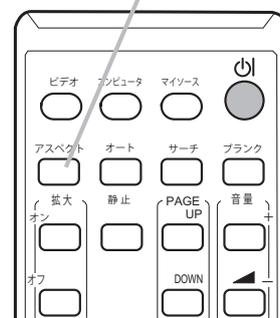
■ ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を表示しているとき

▶ 4:3 → 16:9 → 4:9

■ 信号の入力がないとき、もしくは LAN、USB タイプ A、USB タイプ B の信号を表示しているとき

4:3 (固定)

アスペクトボタン



<CPWX12WNJ>

■ コンピュータ信号を表示しているとき…

▶ ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 → リアル

■ HDMI 信号を表示しているとき

▶ ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 → 14:9 → リアル

■ ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を表示しているとき

▶ 4:3 → 16:9 → 16:10 → 14:9 → リアル

■ 信号の入力がないとき、もしくは LAN、USB タイプ A、USB タイプ B の信号を表示しているとき

16:10 (固定)

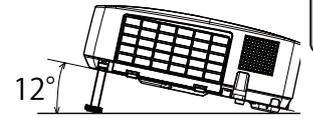
お知らせ

- 信号の入力がないとき、アスペクトボタンは動作しません。
- ノーマルモードではオリジナルのアスペクト設定を保ちます。

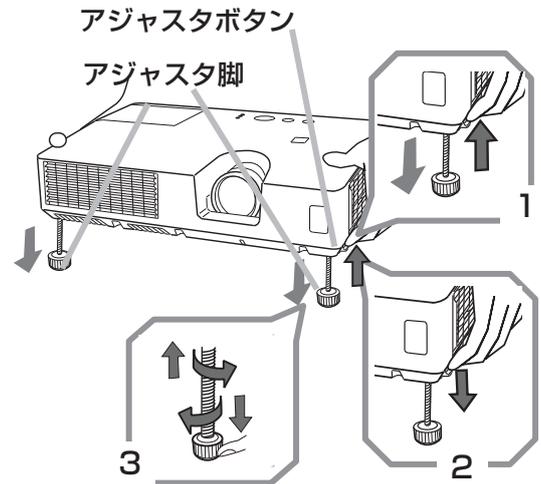
傾きを調節する

スクリーンなどの投写面に傾きがある場合は、アジャスタ脚を使って本機のレンズ面と投写面をできるだけ平行にしてください。本機のアジャスタ脚では、水平な設置面に対し、前上がり最大 12°まで傾けることができます。

アジャスタ脚とアジャスタボタンは、本機の左右側面下部、前寄りに一組ずつ計二組あります。アジャスタボタンを引き上げると、その側面にあるアジャスタ脚の固定がはずれて、脚の長さを変えられます。アジャスタ脚の固定がはずれると、本機が落ちることがありますので、アジャスタボタンは本機を持ちながら操作してください。



1. 後部を設置面に着けたまま、本体を背面から両手で支え、アジャスタボタンを引き上げてください。アジャスタ脚の長さを変えられるようになります。
2. アジャスタボタンを引き上げたまま、本機の位置（角度）を決めます。お好みの位置でアジャスタボタンを放してください。アジャスタ脚が固定されたのを確認して、静かに本体を置いてください。
3. アジャスタ脚をネジのように回すと、アジャスタ脚を固定したまま長さを微調節できます。必要に応じてお使いください。



警告



● 衝撃をあたえない

アジャスタ脚の調節は、本体を持ちながら行ってください。



● 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない

アジャスタ脚の調節以外の方法で傾けて設置しないでください。



● 傾けて使用しない

傾けてのご使用は、前後方向（前上がり）12°以内で設置してください。

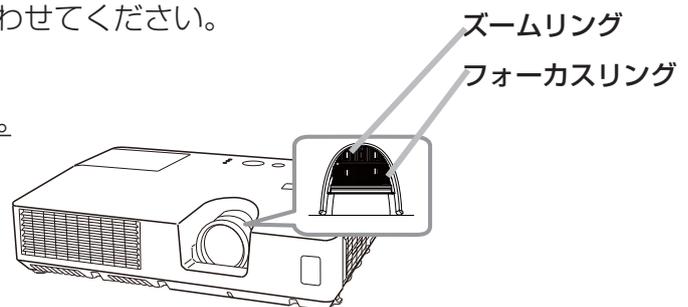
12°以上の角度に傾けた状態でのご使用は故障や寿命を縮める原因となります。

ズーム（表示倍率）、フォーカス（焦点）を調節する

投写画面を見ながら、ズームリングを左右に回して映像画面の大きさを調節してください。

フォーカスリングを左右に回して映像の焦点を合わせてください。

絶対にレンズ、投写光をのぞかないでください。



画面の自動調整機能を使う

リモコンのオートボタンを押すと、以下の自動調整が実行されます。

■ コンピュータ信号を表示しているとき

画面の垂直位置、水平位置、クロック位相が自動的に調整されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。

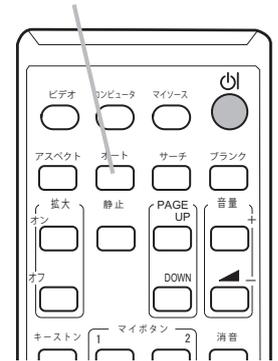
■ ビデオ信号、S-ビデオ信号を表示しているとき

入力信号のビデオフォーマットが自動的に選択されます。この機能は、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」が「オート」に設定されているとき（[図2-13](#)）のみ有効になります。画面の水平位置と垂直位置が自動的に初期設定に戻ります。

■ コンポーネントビデオ信号を表示しているとき

画面の垂直位置、水平位置、が自動的に初期設定に戻ります。クロック位相は、自動調整されません。

オートボタン

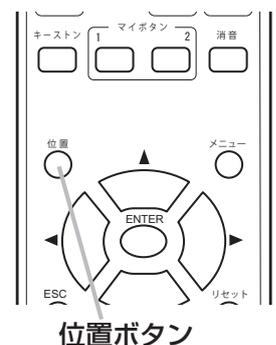


お知らせ

- 自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。
- ビデオ信号を自動調整すると、画像の外側に線などが表示されることがあります。
- コンピュータ信号を自動調整すると、コンピュータによっては、表示映像の縁に黒い枠が表示されることがあります。
- 「その他」メニューの「特別な設定」-「オートアジャスト」で、「詳細」または「無効」が設定されていると（[図2-30](#)）、自動調整される項目が変わります。

画面の位置を調節する

1. リモコンの位置ボタンを押してください。「位置」ダイアログが表示されます。
2. ダイアログが表示されている間に、カーソルボタン ▲/▼/◀/▶ で画面位置を調節してください。画面の位置調節を取り消すにはダイアログが表示されている間にリモコンのリセットボタンを押してください。画面をもとの位置に戻すことができます。終了するには、もう一度位置ボタンを押してください。なにも操作をしないと、数秒後にダイアログが自動的に消えます。



お知らせ

- ビデオ信号または S-ビデオ信号またはコンポーネントビデオ信号を受信しているときは画面の周囲に余分な線などが現れる場合があります。
- ビデオ信号、S-ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」（[図2-9](#)）の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合は、調節できません。
- メニューが表示されているときに位置ボタンを押すと、画面の位置は動かず、メニューの表示位置を調節することができます。
- この機能は HDMI、LAN、USB タイプ A、USB タイプ B の信号を受信しているときはご利用になれません。

キーストン（台形歪み）を調節する

1. リモコンのキーストン ボタンを押してください。「キーストン」メニューが表示されます。



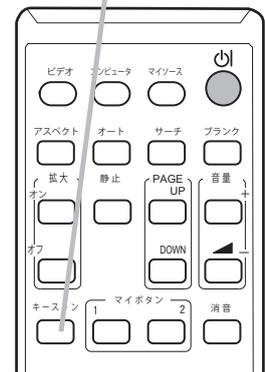
2. カーソルボタン▲/▼で「オート」または「マニュアル」を選択してください。

「オート」は垂直方向のキーストン（台形歪み）を自動補正します。カーソルボタン▶で実行してください。

「マニュアル」はキーストン（台形歪み）を手動で補正できます。カーソルボタン▶を押すと「キーストン」ダイアログが表示されますので、◀/▶で補正量を調節してください。



キーストン ボタン



数秒間なにも操作を行わないか、もう一度キーストン ボタンを押すと、ダイアログが消えてキーストンの調節を終了します。

お知らせ

- キーストン補正の調節範囲は表示信号によって異なります。また、表示信号によっては正しく動作しないことがあります。
- 設置方法(2-17)が「前面投射 / 机上」以外に設定されているときに、スクリーンが傾いていたり、本機を下向きに投映させたりすると、正しく補正できないことがあります。
- ズーム調節が TELE(小さく表示)側に調節されていると、過補正となることがあります。この機能は、できるだけズーム調節を WIDE(大きく表示)に調節してお使いください。
- 本機の傾きが(前後方向)約±4°以下に設置されているとき、オートキーストンは動作しません。
- 本機の傾きが(前後方向)約±30°以上に設置されているとき、オートキーストンは正しく動作しません。
- この機能は状態監視機能が有効のときは選択できません。(「セキュリティ」メニューの「状態監視」 2-45)

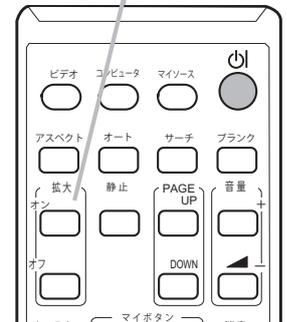
画面を拡大する

1. リモコンの**拡大-オン**ボタンを押すと、画面が 1.5 倍に拡大表示され、「拡大」ダイアログが表示されます。数秒間なにも操作をしないと表示は消えます。このダイアログに表示される三角形のマークは、拡大領域の移動できる方向を表しています。
 2. ダイアログの三角形のマークが表示されている間に、カーソルボタンの▲ / ▼ / ◀ / ▶ を使って拡大領域を移動させることができます。
 3. ダイアログの三角形のマークが表示されている間に**拡大-オン**ボタンを押すと、ダイアログ中に虫メガネのアイコンが表示されます。
- コンピュータ信号、HDMI® (RGB) 信号、LAN、USB タイプ A or USB タイプ B port からの入力信号を表示しているとき

▶ 1.5 倍 → 2 倍 → 3 倍 → 4 倍 → 1 倍 ◀

- ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号もしくは HDMI® (コンポーネント) 信号

▶ 1.5 倍 → 2 倍 → 1 倍 ◀



4. ダイアログに虫メガネのアイコンを表示している間、▲ / ▼カーソルボタンを使用して倍率を調整します。
5. 拡大表示を解除するには、リモコンの**拡大-オフ**ボタンを押してください。

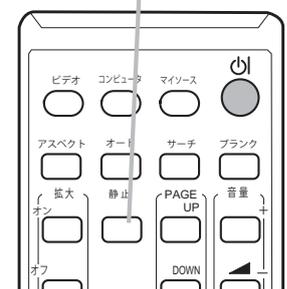
お知らせ

- 拡大ダイアログを表示している間に拡大領域の移動 (三角形がある) と倍率調整 (虫メガネのアイコンがある) を切り換えるためには、**拡大-オン**ボタンを押してください。
- 入力信号が変化したときや表示状態を変更する操作 (自動調整やアスペクトの切替えなど) を実行したときにも画面の拡大は終了します。
- 拡大機能を有効にすると、キーストン補正の状態が正しく表示されないことがありますが、拡大表示を解除すると、もとの状態に戻ります。
- 拡大していると水平な縞が画面上に現れることがあります。

映像を静止させる

リモコンの**静止**ボタンを押すと「静止」ダイアログが表示され、映像が静止します。「スクリーン」メニューの「メッセージ」(2-22)を「表示しない」に設定していると、「静止」ダイアログは表示されません。映像の静止を解除するには、もう一度**静止**ボタンを押してください。

静止ボタン



お知らせ

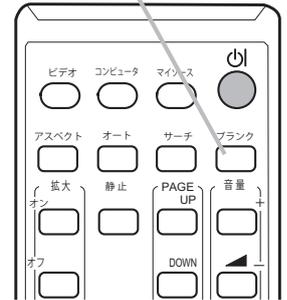
- 操作パネルのボタンを押したときにも、映像の静止を終了します。
- 本機は同じ映像を長時間表示し続けると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがあります。映像を静止させたまま放置したり、終了するのを忘れてたりしないようご注意ください。
- 静止している映像が劣化してみえるかもしれませんが、故障ではありません。

映像を一時的に消す（ブランク）

リモコンまたは操作パネルの**ブランクボタン** を押すと、映像が消えてブランク画面が表示されます。ブランク画面は「スクリーン」メニューの「ブランク」(📖2-20)で設定できます。

もう一度**ブランクボタン** を押すともとの映像表示に戻ります。

ブランクボタン



お知らせ

- 操作パネルのボタンを押したときにもブランク画面の表示を終了します。また、リモコンの他のボタンを押した時にもブランク画面の表示を終了することがあります。
- 映像をブランク画面を表示しても音声は消えません。あらかじめ音量を調節するか、音声を消してからブランク画面の表示を実行してください。
- ブランク機能と音声の消音機能を同時にお使いになりたい場合は、「その他」メニューの「マイボタン」機能に AV ミュートを割り当ててご使用いただけます (📖2-28)。

お守りください

- レンズに何かを張り付けたり、密着させて置いたりしないでください。
高温となってレンズ面が融け、映像不良の原因となることがあります。本機のランプを点灯させたまま、投写映像を消したい場合は、上記の「ブランク」機能をご使用ください。

点検とお手入れ

ランプを交換する

ランプについてのご注意



警告



感電注意



高温注意



破裂注意

本機のランプは、ガラス製で内部圧力の高い水銀ランプです

このランプは、衝撃や傷、高温状態での取扱い、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になって寿命を終える特性があります。寿命の長さはランプによって大きな差があり、使用後まもなく破裂したり不点灯になったりすることもあります。

ランプが破裂すると、本機の内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部の水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが本機の通風口から出たりすることがあります。ご使用のまえに、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。

● **ランプが破裂したら、使用を中止して電源プラグを抜き、販売店に連絡する**

飛び散ったガラス片によってけがや本機の内部を傷つける原因となることがあります。

▶ ランプが破裂した、または破裂したおそれのある場合は、必ず電源を切って電源プラグを抜き、ランプカバーを開けずに販売店へご連絡ください。

▶ ランプの破裂によって水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが排出されることがあります。排気を十分にして、目や鼻、口から入らないようご注意ください。万一、入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

● **ランプの交換は、電源プラグを抜き、十分冷ましてから行う**

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。また、高温状態でランプを取り扱っていると、やけどやランプが破裂する原因となります。

▶ ランプの交換は、初めに本機の電源を切り、電源プラグを抜いて放置し、ランプや本機内部を十分冷ましてください。

● **天井設置や高所設置では、ランプの交換は販売店にご依頼ください。**

万一、ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。また高所での作業には転落などの危険が伴います。

▶ ランプが破裂していない場合でも、ランプの交換は必ず販売店にご依頼ください。ランプカバーは開けないでください。

● **ランプは指定品を使用する**

ランプを交換するときは、本書に指定された型名とご使用になるランプの型名が一致することを事前にご確認ください。本機の仕様と合わないランプを使用すると、火災や故障の原因となったり、本機の寿命を縮める原因となることがあります。

● **ランプやランプカバーは正しく取り付け使用する。**

正しく取り付けられていなかったりネジがゆるんでいたりとすると、ランプカバーやランプが外れて、けがや故障の原因となることがあります。

▶ ランプを交換した後は、固定用のネジがしっかり締められ、ランプカバーがきちんと閉じられていることを確認してください。

● **ランプは取扱いに注意し、正しく使用してください。**

ランプは衝撃を加えたり傷つけたり、寿命を超えてご使用になったりすると、破裂したり、不点灯となることがあります。ランプは丁寧に取扱ってください。

▶ 古いランプ（中古品）は破裂し易いのでご使用にならないでください。

▶ 映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりしたら、お早めに交換してください。

● **使用済みのランプは正しく廃棄してください。**

本機は水銀ランプを使用しています。廃棄は、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従って正しく行ってください。

ランプを交換する (つづき)

ランプの交換方法

ランプは使用時間の経過にともない、徐々に映像が暗くなったり、色合いが悪くなったりすることがあります。また、ランプの寿命にはばらつきがあり、ご使用開始から比較的短時間で破裂したり、不点灯となったりすることがあります。あらかじめ交換用のランプをご用意いただき、お早めに交換いただくことをお勧めします。

交換用のランプは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

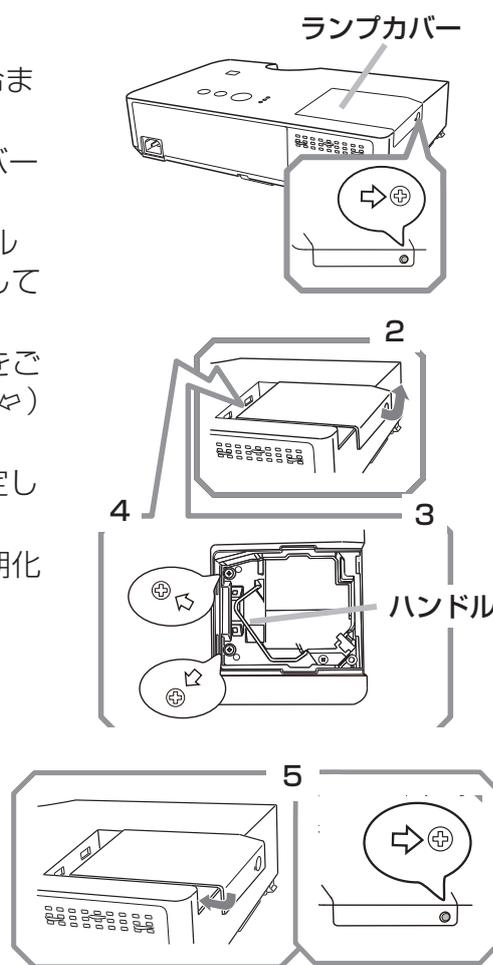
型名： CPX10WNJ 001 (DT01196)

次のような場合は、ランプユニットの交換を必ず販売店へご依頼ください。

- ・ランプが破裂した、あるいは破裂したおそれがある場合
- ・プロジェクターが天井（天吊り）や高所に設置されている場合

■ランプを交換する

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、45分以上放置して冷ましてください。
2. 右図を参考に、ランプカバーのネジ（⇐）を緩め、ランプカバーを外してください。
3. ランプを固定している2つのネジ（↖, ↗）を緩め、ハンドルを持って、ランプをまっすぐにゆっくりと引き上げて取り出してください。絶対に他のネジは緩めないでください。
4. 用意した新しいランプの型名が、上記の型名と一致することをご確認のうえ、前のランプと同じように入れ、2つのネジ（↖, ↗）をもとのように締めて固定してください。
5. ランプカバーを閉じて、もとのようにネジ（⇐）を締めて固定してください。
6. 以下の手順に従い、本機のメニューを使ってランプ時間を初期化してください。
 - (1) 本機の電源を入れ、「詳細メニュー」(☰2-3)を表示させてください。
 - (2) カーソルボタン▼/▲で「その他」メニューを選択し、カーソルボタン▶を押してください。
 - (3) カーソルボタン▼/▲で「ランプ時間」を選択し、カーソルボタン▶を押すと、ランプ時間を初期化するダイアログが現れます。
 - (4) ダイアログの「OK」を選んでカーソルボタン▶を押すと、ランプ時間が初期化されます。



お守りください

- ランプを取り出ししたり取り付けたりする際、本機の内部に触れないでください。故障、映像不良の原因となることがあります。
- ランプ時間の初期化は正しく行ってください。ランプユニットを交換したら必ずランプ時間を初期化してください。ランプを交換せずにランプ時間を初期化しないでください。ランプ時間は、初期または前回ランプ時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を1時間単位で表示します。ランプ時間の初期化を正しく行わないと実際のランプの使用時間とランプ時間の値が一致しません。
- ランプ交換の際は、エアフィルターも交換してください(☰1-40)。本機の交換用ランプに付属のエアフィルターをご使用いただけます。

エアフィルターを掃除／交換する

本機のフィルターユニットは、フィルターカバーと2種類のエアフィルターから構成されています。

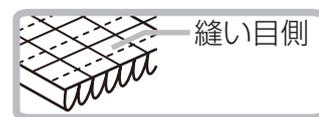
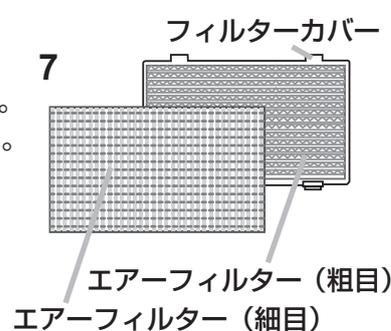
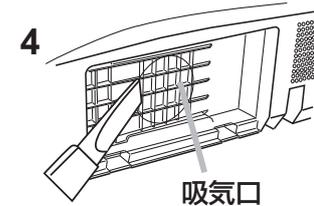
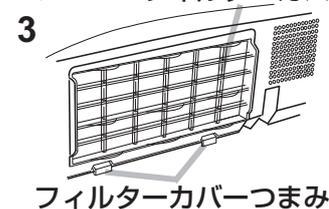
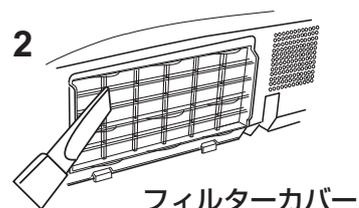
この二重のエアフィルターは頻繁なお手入れの手間を省き、かつ長くご使用いただけますが、本機内部の換気と正常な動作を維持するため、定期的な確認とお手入れをお願いいたします。「エアフィルターの掃除をお願いします」などのメッセージが現われたときや、インジケータが点灯した場合は、できるだけ早くお手入れしてください。

エアフィルターが破損したり、汚れがひどくて掃除しきれない場合はエアフィルターを取り替えてください。交換用のエアフィルターは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

型名：CPX8J 002 (UX36761)

ランプを交換するときは、エアフィルターも交換してください。本機の交換用ランプには、本機用のエアフィルターが付属しています。以下の手順に従って交換してください。

1. 本機の電源を切って (1-28) 電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2. 掃除機を使って、フィルターカバーとその周辺をお掃除してください。
3. フィルターカバーつまみを引き上げてフィルターカバーを取り外してください。
4. 掃除機を使って、本機の吸気口 (エアフィルターが取り付けられていた奥) とエアフィルターの外側をお掃除してください。
5. フィルターユニットは、フィルターカバーとフィルターカバーにセットされた2種類のエアフィルターから構成されています。フィルターカバーを持って細目のエアフィルターを取り出します。粗目のエアフィルターは、フィルターカバーに残すようにします。
6. 細目のエアフィルターが吸い込まれないように持って、両面を掃除機で清掃します。エアフィルターが痛んでいたり汚れがひどい場合は新しいものに取り替えてください。
7. 縫い目側が上になるようにして細目のエアフィルターを粗目のエアフィルターの上にセットしてください。
8. フィルターユニットを元のように本体に取り付けてください。
9. 本機の電源を入れ、「簡単メニュー」 (2-5) の「フィルター時間」をメニュー表示に従って操作し、フィルター時間を初期化してください。
 - (1) **メニュー** ボタンを押して、メニューを表示させてください。
 - (2) ▼ / ▲ ボタンを押して「フィルター時間」のところで ► ボタンを押すと、ダイアログが現れます。
 - (3) ダイアログの「OK」を選んで ► ボタンを押すと、フィルター時間が初期化されます。



エアフィルターを掃除／交換する（つづき）



警告



●**エアフィルターをお手入れする前に、電源プラグを抜き、十分冷ます**

エアフィルターをお手入れする前に、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機内部を十分に冷ましてください。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因になります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。



●**エアフィルターは正しく使用し、定期的にお手入れする**

エアフィルターがほこりや汚れで詰まったり、正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

- ▶ フィルターカバーやエアフィルターを外した状態では使用しないでください。
- ▶ エアフィルターが痛んでいたり汚れがひどい場合は新しいエアフィルターに交換してください。その際、必ず指定のエアフィルターを正しくご使用ください。

お守りください

- フィルター時間の初期化は正しく行ってください。エアフィルターをお掃除または交換したら必ずフィルター時間を初期化してください。エアフィルターをお掃除または交換せずにフィルター時間を初期化しないでください。フィルター時間は、初期または前回フィルター時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。フィルター時間の初期化を正しく行わないと実際のエアフィルターの使用時間とフィルター時間の値が一致しません。

お知らせ

- 「フィルター掃除通知」機能（2-30）をご使用になると、お掃除または交換時期をお知らせするメッセージを表示させることもできます。
- 本機が「吸気口をチェックしてください」メッセージを表示した時は、本機の電源をオフにして、内部の温度が上昇するのを防いでください。

その他のお手入れ

内部の点検とお手入れ

内部にほこりがたまった状態で本機を使用し続けると、火災や感電、故障や映像不良の原因となることがあります。安全なご使用のため、1年に1度を目安に、販売店に内部の清掃・点検をご依頼ください。内部のお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。お手入れの費用などについては販売店にご相談ください。

レンズのお手入れ

レンズが傷ついたり、くもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となります。

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく放置して冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）でレンズを軽く拭いてください。レンズを傷つけないように、また、素手で触らないようにご注意ください。

キャビネットとリモコンのお手入れ

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく放置して冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、ガーゼなどのやわらかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞ったやわらかい布で軽く拭いた後、別の乾いたやわらかい布で軽く拭いて仕上げてください。

その他のお手入れ (つづき)

警告



●**お手入れの前に、電源プラグを抜き、十分冷ます**

お手入れのまえに、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機を十分に冷ましてください。使用中や使用後しばらくは、レンズやその周辺は高温になります。電源プラグを接続したままお手入れすると、火災や感電の原因となります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。



●**ランプ点灯中はレンズをのぞかない**

ランプの点灯中はレンズから強い光が出ます。視力障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

注意



●**レンズのクリーニングに掃除機を使わない**

レンズのクリーニングに掃除機を使うと故障の原因となる場合がありますので使用しないでください。



●**本書に指定されているもの以外の洗剤、薬品は使用しない**

表面が変質したり、塗装がはがれることがあります。水、または水で薄めた中性洗剤はキャビネットとリモコンのお手入れ以外には使用しないでください。

▶スプレーはご使用にならないでください。ガスや霧が本機の内部に入って、故障などの原因となることがあります。

▶化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。



●**本機内部に水や洗剤を入れない**

万一、水や洗剤が入ってしまったら、販売店にご連絡ください。



●**本機（キャビネット、レンズ）およびリモコンを傷つけない**

硬いものを当てたり、こすったりして傷つけないようにご注意ください。破損や故障、映像不良の原因となることがあります。



●**内部の点検とお手入れは、販売店に依頼する**

お客様による内部のお手入れは危険ですので、絶対におやめください。

取扱説明書 - 詳細版 -

液晶プロジェクター

CPX10WNJ / CPX11WNJ / CPWX12WNJ

(形名: CPX10WN / CPX11WN / CPWX12WN)

応用編

【応用編】

応用編では、詳細な設定や調節を行うメニュー等について説明します。



ご使用前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ



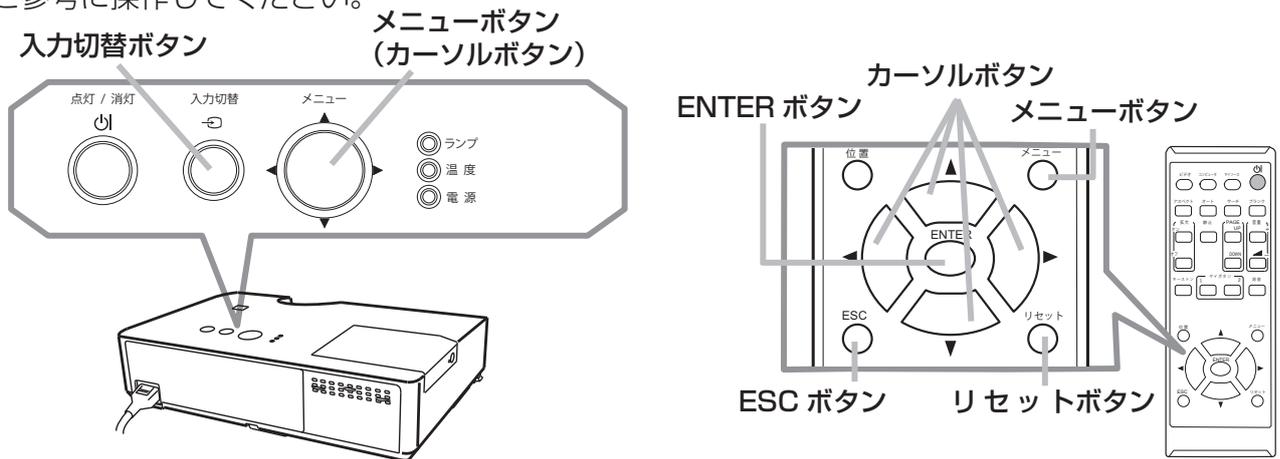
設定・調節	2 - 2
メニュー機能の使い方.....	2 - 2
簡単メニュー.....	2 - 4
映像メニュー.....	2 - 6
表示メニュー.....	2 - 9
入力メニュー.....	2 - 12
設置メニュー.....	2 - 16
オーディオメニュー.....	2 - 19
スクリーンメニュー.....	2 - 20
その他メニュー.....	2 - 25
ネットワークメニュー.....	2 - 34
セキュリティメニュー.....	2 - 45
プレゼンテーションツール	2 - 52
PC レスプレゼンテーション.....	2 - 52
USB ディスプレイ.....	2 - 60

設定・調節

メニュー機能の使いかた

詳細な設定や複雑な調節には、メニュー機能をご使用ください。

本機には、よく使われる機能をまとめた「**簡単メニュー**」と、「**詳細メニュー**」があります。詳細メニューは、「映像」「表示」「入力」「設置」「オーディオ」「スクリーン」「その他」「ネットワーク」「セキュリティ」「**簡単メニュー**」の9つの機能別メニューに分かれています。どのメニューも基本操作は同様です。下記をご参考に操作してください。



メニューの表示と操作ボタン

本機のメニュー操作には、主に上図のボタンを使用します。操作パネルの**メニューボタン** (▲ / ▼ / ◀ / ▶) は、各々カーソルボタンとしてご使用いただけます。また、**入力切替ボタン**は多くの場合に **ENTER** ボタンと同様にご使用いただけます。

はじめに操作パネルの**メニューボタン**のいずれか、またはリモコンの**メニューボタン**を押してください。「簡単メニュー」または「詳細メニュー」のどちらか、前回ご使用になっていたほうのメニューが表示されます。電源を入れた後は必ず「簡単メニュー」が表示されます。メニューでは、現在選択されている項目が橙色の反転表示 (または枠) でカーソル表示されます。

メニュー操作を終了するには、もう一度リモコンの**メニューボタン**を押すか、「終了」を選んでカーソルボタン◀または **ENTER** ボタンを押します。また、なにも操作しない状態が約 30秒間続くと、自動的に終了します。

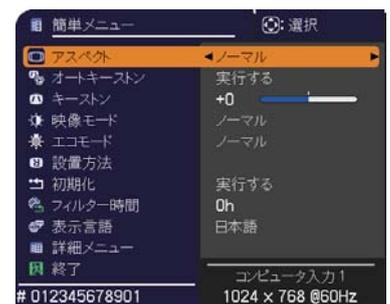
お知らせ

- メニュー表示中に**位置**ボタンを押すと、カーソルボタン◀ / ▶ / ▲ / ▼でメニューの表示位置を調節することができます。

メニューの操作

■簡単メニューの操作

1. カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選んでください。「詳細メニュー」に切り替えたいときは、「詳細メニュー」を選びます。
2. カーソルボタン◀ / ▶で、選択した項目の設定、調節および実行することができます。



簡単メニュー

■詳細メニューの操作

1. カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選んでください。
「簡単メニュー」に切り替えたいときは、「簡単メニュー」を選びます。
2. カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択カーソルが右側に移ります。操作したい項目をカーソルボタン▲ / ▼で選択してください。
3. カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択した項目を実行、もしくは操作するためのダイアログやサブメニューが表示されます。画面表示に従って操作してください。



詳細メニュー

応用編

お知らせ

- 受信信号によっては、いくつか実行できない機能があります。
- 詳細メニューを操作中に前の表示に戻りたいときには、カーソルボタン◀または **ESC** ボタンを押してください。ただし、いくつかの項目（例：言語、音量）はリセットできません。
- 詳細メニューを操作中に前の表示に戻りたいときには、カーソルボタン◀または **ESC** ボタンを押してください。

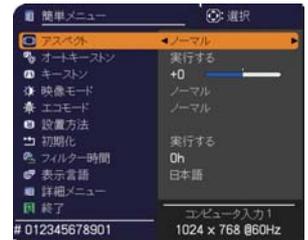
■メニューやダイアログなどのオンスクリーン表示の単語について



表示	意味
終了	これを選択すると、メニュー操作を終了します。メニューボタンを押すことと同じになります。
戻る	これを選択すると、前のメニューに戻ります。
初期化しない/いいえ	これを選択すると、現在の操作をキャンセルして、前のメニューに戻ります。
OK / はい	これを選択すると、用意された機能を実行するか、次のメニューに移行します。

簡単メニュー

「メニュー機能の使い方」(図2-2,3)に従い、簡単メニューを表示してください。簡単メニューでは、下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容																																
アスペクト (画面の縦横比)	カーソルボタン◀/▶で、アスペクト(画面の縦横比)を選択できます。「表示」メニュー(図2-9)の「アスペクト」をご参照ください。																																
オート キーストン	カーソルボタン▶またはENTERボタンを押すと、垂直キーストン(▽)方向の台形歪み補正を自動調整します。「設置」メニュー(図2-16)の「オートキーストン」をご参照ください。																																
キーストン	カーソルボタン◀/▶で、垂直キーストンの補正量を調節できます。「設置」メニューの「キーストン」(図2-16)をご参照ください。																																
映像モード	カーソルボタン◀/▶で、映像モードを選択できます。 映像モードは、ガンマモードと色温度モードの組み合わせです。下表をご参考に、映像に合わせてお選びください。																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>映像モード</th> <th>ガンマ</th> <th>色温度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノーマル</td> <td>デフォルト-1</td> <td>中</td> <td>標準的な画質で、幅広くお楽しみ頂けます。</td> </tr> <tr> <td>シネマ</td> <td>デフォルト-2</td> <td>低</td> <td>フィルムライクな階調表現を重視した映像、映画コンテンツをご覧になる場合に適切です。</td> </tr> <tr> <td>ダイナミック</td> <td>デフォルト-3</td> <td>高</td> <td>明るさを重視した映像です。</td> </tr> <tr> <td>黒板(黒)</td> <td>デフォルト-4</td> <td>ハイブライト-1</td> <td>黒板(黒)に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。</td> </tr> <tr> <td>黒板(緑)</td> <td>デフォルト-4</td> <td>ハイブライト-2</td> <td>黒板(緑)に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。</td> </tr> <tr> <td>ホワイトボード</td> <td>デフォルト-5</td> <td>中</td> <td>スクリーンからの光の反射を低減するため、明るさを抑えた映像です。</td> </tr> <tr> <td>デイトイム</td> <td>デフォルト-6</td> <td>ハイブライト-3</td> <td>明るい室内でのご利用に適しています。</td> </tr> </tbody> </table>	映像モード	ガンマ	色温度	内容	ノーマル	デフォルト-1	中	標準的な画質で、幅広くお楽しみ頂けます。	シネマ	デフォルト-2	低	フィルムライクな階調表現を重視した映像、映画コンテンツをご覧になる場合に適切です。	ダイナミック	デフォルト-3	高	明るさを重視した映像です。	黒板(黒)	デフォルト-4	ハイブライト-1	黒板(黒)に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。	黒板(緑)	デフォルト-4	ハイブライト-2	黒板(緑)に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。	ホワイトボード	デフォルト-5	中	スクリーンからの光の反射を低減するため、明るさを抑えた映像です。	デイトイム	デフォルト-6	ハイブライト-3	明るい室内でのご利用に適しています。
	映像モード	ガンマ	色温度	内容																													
	ノーマル	デフォルト-1	中	標準的な画質で、幅広くお楽しみ頂けます。																													
	シネマ	デフォルト-2	低	フィルムライクな階調表現を重視した映像、映画コンテンツをご覧になる場合に適切です。																													
	ダイナミック	デフォルト-3	高	明るさを重視した映像です。																													
	黒板(黒)	デフォルト-4	ハイブライト-1	黒板(黒)に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。																													
	黒板(緑)	デフォルト-4	ハイブライト-2	黒板(緑)に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。																													
	ホワイトボード	デフォルト-5	中	スクリーンからの光の反射を低減するため、明るさを抑えた映像です。																													
デイトイム	デフォルト-6	ハイブライト-3	明るい室内でのご利用に適しています。																														
<p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ガンマモードと色温度モードの組み合わせが上記の映像モードと異なる場合、メニュー上の表示は「カスタム」と表示されます。「映像」メニュー(図2-6,7)の「ガンマ」および「色温度」をご参照ください。 ●選択した瞬間に、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。 																																	

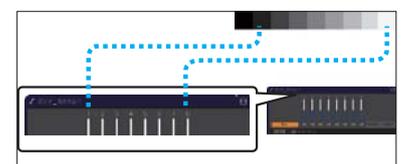
設定項目	操作内容
エコモード	カーソルボタン◀ / ▶で、本機使用中のエコモードを選択できます。「設置」メニュー (図2-17) の「エコモード」をご参照ください。
設置方法	カーソルボタン◀ / ▶で、映像を上下左右に反転させることができます。「設置」メニューの「設置方法」 (図2-17) をご参照ください。
初期化	<p>「簡単メニュー」の設定を一括して初期化できます。</p> <p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、確認のためのダイアログが表示されます。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>初期化を実行するときは、カーソルボタン▶を押して「OK」を選択してください。</p> <p>お知らせ</p> <p>● 「フィルター時間」と「表示言語」は初期化されません。</p>
フィルター時間	<p>メニューに表示されている数字は、エアーフィルターの使用時間です。</p> <p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、フィルター時間初期化確認のためのダイアログが表示されます。</p> <p>フィルター時間の初期化については、「その他」メニューの「フィルター時間」 (図2-27) をご参照ください。</p>
表示言語	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、メニューなどのオンスクリーン表示の表示言語を選択できます。</p> <p>「スクリーン」メニューの「表示言語」 (図2-20) をご参照ください。</p>
詳細メニュー	<p>この機能は、「詳細メニュー」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。</p> <p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「簡単メニュー」を「詳細メニュー」（「映像」、「表示」、「入力」、「設置」、「オーディオ」、「スクリーン」、「その他」、「セキュリティ」メニュー）に切り替えられます。</p> <p>「詳細メニュー」には、より多彩な機能を備えております。お好みに合わせた調節や設定にして、ご活用ください。(図2-6 ~ 51)</p>
終了	カーソルボタン◀または ENTER ボタンを押すと、操作を終了し、メニューを閉じます。

映像メニュー

「映像」メニューでは下表の項目を操作することができます。
 カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または
ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。
 下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
明るさ	カーソルボタン◀/▶で、映像の明るさを調節できます。 暗く ↔ 明るく
コントラスト	カーソルボタン◀/▶で、コントラストを調節できます。 弱く ↔ 強く
ガンマ	<p>カーソルボタン▲/▼で、ガンマモードを選択できます。 デフォルト-1 ↔ カスタム-1 ↔ デフォルト-2 ↔ カスタム-2 ↔ デフォルト-3 ↓ ↓ カスタム-6 カスタム-3 ↓ ↓ デフォルト-6 ↔ カスタム-5 ↔ デフォルト-5 ↔ カスタム-4 ↔ デフォルト-4</p> <p>ガンマのカスタムモード調節手順 カスタムモード（“カスタム”のつくモード）を選択し、カーソルボタン▶またはENTERボタンを押すと、調節メニューが表示されます。この機能を使うと、特定の階調の明るさを変更できます。カーソルボタン◀/▶で調節したい項目を選択し、カーソルボタン▲/▼でレベルを調節してください。カスタムモード調整メニューを表示している間にENTERボタンまたは入力切替ボタンを押すと、右図のようなテストパターンが表示されます。テストパターンはENTERボタンを押すたび以下のように変更できます。</p> <p>パターンなし → グレイスケール (9 ステップ) ↘ ↙ ランプ波形 ← グレイスケール (15 ステップ)</p> <p>お好みのパターンをお選びになり、これを参考に調節してください。 8つの調節バーは、テストパターン (9 ステップ) の最も暗い階調 (左端) を除く 8つの階調に対応しています。例えばテストパターン上の左から2番目の階調を調節したい場合、それに対応する「1」の調節バーを使用します。テストパターン左端の最も暗い階調は調節できません。</p> <p>お知らせ ●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。</p>



表示メニュー

「表示」メニューでは下表の項目を操作することができます。
 カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または
ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



応用編

設定項目	操作内容
アスペクト (画面の縦横比)	<p>カーソルボタン▲/▼で、アスペクト(画面の縦横比)を選択できます。</p> <p style="text-align: center;">-----<CPX10WNJ, CPX11WNJ>-----</p> <p>■コンピュータ信号を受信時 ノーマル↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10</p> <p>■HDMI信号を受信時 ノーマル↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ↔ 14:9</p> <p>■ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を受信時 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ↔ 14:9</p> <p>■信号の入力がないとき、もしくはLAN、USBタイプA、USBタイプBの信号を表示しているとき 4:3 (固定)</p> <p style="text-align: center;">-----<CPWX12WNJ>-----</p> <p>■コンピュータ信号を受信時 ノーマル↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ↔リアル</p> <p>■HDMI信号を受信時 ノーマル↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ↔ 14:9 ↔リアル</p> <p>■ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を受信時 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ↔ 14:9 ↔リアル</p> <p>■信号の入力がないとき、もしくはLAN、USBタイプA、USBタイプBの信号を表示しているとき 16:10 (固定)</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ノーマル」は入力信号そのままの縦横比です。
オーバースキャン	<p>カーソルボタン◀/▶で、オーバースキャン(表示率)を調節できます。 小さく(画像は大きくなります) ↔ 大きく(画像は小さくなります)</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この項目はビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号で選択できます。 ● HDMI信号は「入力」メニューの「HDMIフォーマット」(2-13)を「ビデオ」に設定している場合に有効となります。もしくはHDMIフォーマットを「オート」に設定し、本機がフォーマットを「ビデオ」と認識した場合に有効となります。 ● 表示率を大きくしすぎると、画面のふちにノイズが現れる場合があります。この場合には表示率を小さくしてください。

表示メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
垂直位置	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を上下に調節できます。 下へ ↔ 上へ</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 位置を動かしすぎると、画像のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、リセットボタンを押して、「垂直位置」を初期設定に戻してください。 ● ビデオ信号、S-ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(□2-9)の設定に依存します。「オーバースキャン」が10に設定されている場合は、調節できません。 ● LAN 信号、USB タイプ A 信号、USB タイプ B 信号、HDMI 信号を受信している時は、調節できません。
水平位置	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を左右に調節できます。 右へ ↔ 左へ</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 位置を動かしすぎると画面のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、リセットボタンを押して、「水平位置」を初期設定に戻してください。 ● ビデオ信号、S-ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(□2-9)の設定に依存します。「オーバースキャン」が10に設定されている場合、調節できません。 ● LAN 信号、USB タイプ A 信号、USB タイプ B 信号、HDMI 信号を受信している時は、調節できません。
クロック位相	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、クロック位相を調節し、画面のちらつきを低減できます。 右へ ↔ 左へ</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ、調節が可能です。 ● LAN 信号、USB タイプ A 信号、USB タイプ B 信号、HDMI 信号を受信している時は、調節できません。
水平サイズ	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の横幅を調節できます。 小さく ↔ 大きく</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータ信号を受信しているときのみ調節が可能です。 ● 大きくしすぎたり小さくしすぎたりすると、映像が正しく表示されない場合があります。このような場合には、リセットボタンを押して「水平サイズ」を初期設定に戻してください。 ● 調整時に映像が劣化してみえる場合がありますが、故障ではありません。 ● LAN 信号、USB タイプ A 信号、USB タイプ B 信号、HDMI 信号を受信している時は、調節できません。

設定項目	操作内容
オートアジャスト 実行	<p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、画面の自動調整を実行できます。</p> <p>■コンピュータ信号を受信している場合 「垂直位置」(M2-10)、「水平位置」(M2-10)、「クロック位相」(M2-10)が自動的に調整されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。</p> <p>■ビデオ信号、S-ビデオ信号を受信している場合 「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(M2-13)が「オート」に設定されていると、受信している信号に最適な信号方式が自動的に選択されます。「垂直位置」「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。</p> <p>■コンポーネントビデオ信号を受信している場合 「垂直位置」、「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。「クロック位相」が自動的に調節されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。 ●ビデオ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、画面の端に線などが映る場合があります。 ●コンピュータ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、コンピュータのモデルによっては画面の縁に黒いフレームが映る場合があります。 ●「その他」メニュー (M2-25) の「特別な設定」—「オートアジャスト」(M2-30) で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調整される項目が変わります。

入力メニュー

「入力」メニューでは、下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶またはENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
プログレッシブ	<p>カーソルボタン▲/▼で、プログレッシブモードを選択できます。</p> <p>TV ↔ フィルム ↔ オフ</p> <p>↑ ↑</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この機能は、ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネント信号または HDMI 信号のうち 480i@60、576i@50、または 1080i@50/60 を受信している場合に動作します。 ●「TV」、「フィルム」を選択すると、より鮮明な映像になります。「フィルム」は 2-3 プルダウン変換システムに適応しますが、物体がすばやく移動するシーンで線がギザギザになるなど、表示に不具合があることがあります。このような場合には「オフ」を選択してください。
ビデオ NR	<p>カーソルボタン▲/▼で、映像ノイズの低減レベルを選択できます。</p> <p>強 ↔ 中 ↔ 弱</p> <p>↑ ↑</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この機能は、ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネント信号または HDMI 信号のうち 480i@60、576i@50、または 1080i@50/60 を受信している場合に動作します。 ●この機能により画質が劣化することがあります。その場合は「中」、「弱」を選択してください。
色空間	<p>カーソルボタン▲/▼で、色空間モードを選択できます。</p> <p>オート ↔ RGB ↔ SMPTE240 ↔ REC709 ↔ REC601</p> <p>↑ ↑</p> <p>色空間モードは、色を表す方式を設定するためのモードです。「オート」を選択すると適切な色空間モードが自動的に設定されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この機能は、コンピュータ信号（LAN 端子、USB タイプ A と USB タイプ B 端子からの信号を除く）、またはコンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ、選択が可能です。 ●「オート」を選択すると適切なモードが自動的に選択されます。 ●信号によっては「オート」が正しく動作しない場合があります。このような場合には、「オート」以外で入力信号に合う設定を選択してください。

設定項目	操作内容
<p>ビデオフォーマット</p>	<p>S-ビデオ端子とビデオ端子から受信する映像信号の、ビデオフォーマット（信号方式）を設定できます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で、設定する入力端子を選択します。</p>  <p>(2) カーソルボタン◀/▶で、選択した端子から受信する映像信号のビデオフォーマットを選択してください。</p> <p>オート ↔ NTSC ↔ PAL ↔ SECAM ↓ ↓ N-PAL ↔ M-PAL ↔ NTSC 4.43</p> <p>「オート」を選択すると、入力信号のビデオフォーマットが自動的に選択されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この機能は、ビデオ端子、S-ビデオ端子からの映像信号を受信しているときのみ動作します。 ●入力信号によっては正しく機能しない場合があります。画像が不安定な場合（画像が乱れる、色がつかないなど）には、オート以外で、入力信号に合った信号モードを選択してください。 ●「オート」の実行には 10 秒程度の時間がかかる場合があります。
<p>HDMIフォーマット</p>	<p>HDMI 端子から受信する映像信号のデジタルフォーマットが設定できます。 カーソルボタン▲/▼で、選択した端子から受信する映像信号のビデオフォーマットを選択してください。</p> <p>オート ↔ ビデオ ↔ コンピュータ ↑ ↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ■オート：自動的にフォーマット判定 ■ビデオ：DVD 信号として映像処理を行います。 ■コンピュータ：コンピュータ信号として映像処理を行います。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「コンピュータ」を選択しているときは「色の濃さ」、「色合い」、「オーバースキャン」の調節はできません。
<p>HDMIレンジ</p>	<p>HDMI 端子から受信する映像信号のデジタル信号モードを選択できます。 カーソルボタン▲/▼で、デジタル信号モードを選択します。</p> <p>オート ↔ ノーマル ↔ 拡張 ↑ ↑</p> <p>映像のコントラストが強すぎたり弱すぎたりするときに、この設定を切り替えると改善される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「オート」：自動的に入力信号レベルに合わせます。 ■「ノーマル」：DVD 信号レベル（16-235）に合わせます。 ■「拡張」：コンピュータ信号レベル（0-255）に合わせます。

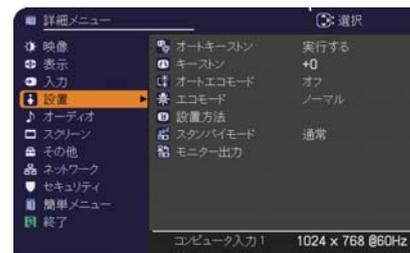
入力メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>コンピュータ入力</p>	<p>コンピュータ入力 1 とコンピュータ入力 2 端子から入力される映像信号（コンピュータ信号）の、信号受信モードを設定できます。</p> <p>((1) カーソルボタン▲ / ▼で、コンピュータ入力端子を選択します。 (2) カーソルボタン◀ / ▶で、映像信号を選択してください。</p> <p>オート ↔ SYNC ON G オフ</p>  <p>「オート」モードに設定すると、その端子からの SYNC. ON G 信号、およびコンポーネントビデオ信号を受信できるようになります。コンピュータ入力端子へのコンポーネントビデオ信号入力の接続については、(4-8)を参照してください。</p> <p>「オート」モードで映像が正しく表示されない、または正常な入力信号が検出されない場合には、「SYNC ON G オフ」モードに設定してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●正常な入力信号が検出されないときに「SYNC ON G オフ」モードに設定する場合は、一旦信号ケーブルを外して無信号の状態にし、「SYNC ON G オフ」に設定してから、信号を再入力してください。
<p>フレームロック</p>	<p>各端子から入力される映像信号の、フレームロック機能の有効 / 無効が設定できます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する入力端子を選択します。 (2)カーソルボタン◀ / ▶で、フレームロック機能の有効 / 無効を選択してください。</p> <p>有効 ↔ 無効</p>  <p>フレームロック機能は、動画をよりスムーズに表示する為の機能です。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この機能は、垂直周波数が 49 ~ 51Hz と 59 ~ 61Hz の信号を受信しているときのみ有効です。 ●この機能により画質が劣化することがあります。この場合には「無効」にしてください。

設定項目	操作内容
<p>解像度</p>	<p>コンピュータ入力 1 とコンピュータ入力 2 端子から入力される映像信号の解像度を設定できます。</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で設定したい解像度を選択します。</p> <p>■「オート」： 入力信号に適切な解像度が自動的に設定されます。</p> <p>■「標準」： 設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。</p> <p>■「カスタム」： 「カスタム」を選択すると、「解像度_カスタム」設定ダイアログが表示されます。カーソルボタンの◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で、「水平」と「垂直」の解像度を入力してください。</p> <p>入力が終わりましたら、カーソルを「OK」に置き、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押してください。「解像度設定を変更しますか？」というメッセージが表示されます。変更した設定を保存するには、▶ボタンを押してください。設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。</p> <p>設定を保存せずに以前の解像度に戻る場合は、カーソルを「取消」に置き、カーソルボタン◀または ENTER ボタンを押してください。設定は変更されず、「解像度」メニューに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <p>●すべての解像度が保証されているわけではありません、信号によっては正しく動作しない場合があります。</p> <div data-bbox="1098 421 1465 694" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1152 748 1420 869" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1098 949 1474 1066" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1158 1205 1417 1285" data-label="Image"> </div>

設置メニュー

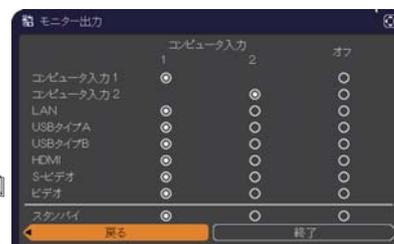
「設置」メニューでは、下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
オートキーストン	<p>この機能は、「オートキーストン」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。</p> <p>カーソルボタン▶を押すと、垂直キーストン（垂直方向の台形歪み）補正の自動調整が一回動作します。本機の傾きを変えた場合は、再度「オートキーストン」を実行してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調整範囲は入力信号によって異なります。また、入力信号によっては正しく動作しないことがあります。 ●「設置方法」(図2-17)が「前面投射/机上」以外に設定されているときなど、スクリーンが傾いていたり、本機を下向きに投映させたりしている場合は正しく補正できないことがあります。 ●この機能は、できるだけズーム調節を WIDE(大きく表示)に調節してお使いください。ズーム調節が TELE(小さく表示)側に調節されていると、過補正となることがあります。 ●本機がほぼ水平(前後方向に約±4°以下)に設置されているときには、この機能は動作しません。 ●本機が約±30°以上に傾いて設置されているときには、この機能は動作しません。 ●この項目は、「セキュリティ」メニュー(図2-45)「状態監視」(図2-48)を「有効」に設定しているときは選択できません。
キーストン	<p>カーソルボタン◀/▶で、垂直キーストン(垂直方向の台形歪み)の補正量を調節できます。</p> <p>画像の下側を小さく ↔ 画像の上側を小さく</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キーストン補正の調節範囲は、入力信号によって異なります。また、入力信号によっては正しく動作しないことがあります。 ●この項目は、「セキュリティ」メニュー(図2-45)「状態監視」(図2-48)を「有効」に設定しているときは選択できません。
オートエコモード	<p>カーソルボタン▲/▼で、オートエコモードを切り替えられます。</p> <p>オン ↔ オフ</p> <p>「オン」を選択すると、「エコモード」の設定にかかわらず起動時は「エコ」モードに設定され、起動時に数十秒間「オートエコモード」と画面に表示します。</p>

設置メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
スタンバイモード	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、本機がスタンバイ状態のときの消費電力モードを選択できます。</p> <p>通常 ↔ 省電力</p> <p>「省電力」を選択すると、消費電力を下げることはできますが、スタンバイ時の機能が以下のように制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● モニター出力端子から信号は出力されません。 ● RS-232C 通信はパワーオンおよびスタンバイモード切替以外は無効になります。 ● 「オーディオ」メニュー (☰2-19) の「音声入力設定」の設定に関わらず、音声出力端子から信号が出力されなくなります。
モニター出力	<p>本機の画面に表示する映像信号とモニター出力端子から出力される映像信号の組み合わせを設定できます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、表示中の出力信号を設定する、映像信号の入力端子を選択してください。本機がスタンバイ状態であるときに出力される映像信号を設定するには、「スタンバイ」を選択してください。「スタンバイ」は、「スタンバイモード」(☰上記)の設定別(「通常」と「省電力」)に設定できます。</p> <p>(2) カーソルボタン◀ / ▶で、コンピュータ入力端子を選択してください。</p> <p>コンピュータ入力 ↔ オフ</p> <p>「オフ」を設定すると、その端子からの映像信号を表示中は、モニター出力端子から映像信号が出力されません。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● モニター出力端子から出力される信号は、コンピュータ入力端子に入力された映像信号のみです。



オーディオメニュー

「オーディオ」メニューでは下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



応用編

設定項目	操作内容
音量	カーソルボタン◀ / ▶で、音量を調節できます。 小さく (-側) ↔ 大きく (+側)
スピーカー	カーソルボタン▲ / ▼で、内蔵スピーカーの有効 / 無効を選択できます。 オン ↔ オフ 無効が選択されているときは、内蔵スピーカーから音声が出力されません。
音声入力設定	<p>音声信号の入力端子と映像信号の入力端子の組み合わせを設定します。 (1) カーソルボタン▲ / ▼で、選択する映像信号の入力端子を選択してください。</p> <p>本機がスタンバイ状態にのときに音声出力端子の出力 / 消音を設定するには、「音声出力スタンバイ」を選択してください。戻るを選んでカーソルボタン◀または ENTER ボタンを押すと前のメニューに戻ります。</p>  <p>(2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した映像信号の入力端子に組み合わせる音声信号の入力端子を設定してください。 アイコンは以下を示します。</p> <p>No.1: 音声入力 1 端子 No.2: 音声入力 2 端子 No.3: LAN 端子 No.4: USB タイプ B 端子 No.5: HDMI 端子 ✕: 消音</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● No.3 から 5 の端子 (からの音声) は、各 (映像) 端子にのみ選択できます。 ● 消音「✕」を選んだ場合は、自動的に C.C. 機能が有効となり、C.C. の入力信号を受信します。なお、この機能は、NTSC 方式のビデオ信号、S - ビデオ信号またはコンピュータ入力 1、コンピュータ入力 2 に入力される 480 @ 60 を受信すると、自動的に C.C. 機能が有効になります。
HDMI AUDIO	カーソルボタン▲ / ▼で、HDMI AUDIO の設定を選択できます。 1 ↔ 2 HDMI AUDIO は、初期値は「1」に設定されています。もし音声が出ないときは「2」に切り替えてみてください。

スクリーンメニュー

「スクリーン」メニューでは下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶またはENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
表示言語	カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、メニュー表示言語を選択できます。選択した表示言語を適用するには、ENTER または入力切替ボタンを押してください。
メニュー位置	カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、メニュー位置を調節できます。操作を終了するには、リモコンのメニューボタンを押すか、約 10 秒間操作しないと終了します。
ブランク	<p>カーソルボタン▲/▼で、ブランク画面を選択できます。</p> <p>「ブランク画面」はリモコンのブランクボタンを押したときに投映される映像です。</p> <p style="text-align: center;"> マイスクリーン ↔ オリジナル ↔ 青 ↔ 白 ↔ 黒 </p> <p style="text-align: center;"> ↑ ↑ </p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「マイスクリーン」: 「マイスクリーン」(2-21) で登録したお好みの映像が表示されます。 ■ 「オリジナル」: 本機の標準映像が表示されます。投映してご確認ください。 ■ 「青、白、黒」: 各色の無地画面が表示されます。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分で無地の画面に変わります。
初期画面	<p>カーソルボタン▲/▼で、初期画面を選択できます。「初期画面」は起動時の信号が安定するまでの間や、正常な信号が見つからない(入力信号が無い、入力信号が本機の仕様に合わない、など)ときに投映される映像です。</p> <p style="text-align: center;"> マイスクリーン ↔ オリジナル ↔ 表示しない </p> <p style="text-align: center;"> ↑ ↑ </p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「マイスクリーン」: 「マイスクリーン」(2-21) で登録したお好みの映像が表示されます。 ■ 「オリジナル」: 本機の標準映像が表示されます。投映してご確認ください。 ■ 「表示しない」: 黒の無地画面が表示されます。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分でブランク画面に変わります。「ブランク」(上記) で「マイスクリーン」または「オリジナル」が選択されている場合は、黒の無地画面に変わります。 ● 「セキュリティ」メニューで、マイスクリーンパスワード機能が有効に設定(2-46) されているときは、初期画面は「マイスクリーン」に固定されます。

設定項目	操作内容
<p>マイスクリーン</p>	<p>ブランク画面や初期画面用に、お好みの画像（マイスクリーン）を登録することができます。あらかじめ、登録したい映像信号を入力・選択してください。</p> <p>(1) 「マイスクリーン」を選択してダイアログを表示させ、「マイスクリーン」に登録したい映像が画面に表示されるのを待って ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押してください。画面が静止し、登録する画像の位置を指定する為の枠が表示されます。タイミングを間違えた、他の画面を登録したい、という場合はリモコンのリセットボタンを押してください。枠が消えて画面の静止が解除されます。ENTER ボタンで映像を静止させる画面に戻ります。</p> <p>(2) カーソルボタン▲/▼/◀/▶で登録する画像の位置を調節してください。（受信中の信号によっては、位置調節ができない場合があります。）位置調節が終わったら、ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押して画像の登録を開始してください。画像の位置を元に戻したい、または前のダイアログに戻りたい場合はリセットボタンを押してください。登録には数分ほどかかります。登録が完了すると、登録した画像と「マイスクリーンの画像登録が完了しました」のメッセージが数秒間表示され、通常画面に戻ります。登録に失敗すると、「画像の取り込みエラーです。もう一度やり直してください。」のメッセージが数秒間表示されて通常画面に戻りますので、最初からやり直してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目は、「マイスクリーンロック」（📖 下記）が「有効」に設定されているときは選択できません。 ●この項目は、「セキュリティ」メニューのマイスクリーンパスワード機能（📖 2-46）が有効に設定されているときは選択できません。 ●この項目は、HDMI 端子からの映像信号を受信している時は設定できません。
<p>マイスクリーン ロック</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、マイスクリーンの上書き防止機能を設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、「マイスクリーン」の登録操作を禁止し、登録済みの映像を保護することができます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目は、「セキュリティ」メニュー（📖 2-45）－「マイスクリーンパスワード」（📖 2-46）が有効に設定されているときは選択できません。

スクリーンメニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>メッセージ</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、メッセージモードを選択できます。</p> <p>表示する ↔ 表示しない</p> <p>「表示する」を選択すると、以下のメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「オート実行中」 ・「信号が入力されていません」 ・「信号は同期範囲外です」 ・「入力信号が不安定です」 ・「検索中…」 ・「信号検出中…」 ・「エコモード」 ・「オート エコモード」 ・「操作できないボタンが入力されました」 ・「入力切替による入力信号表示」 ・「アスペクト」の変更による縦横比の表示 ・「マイメモリー」の変更による表示 ・「映像モード」の変更による表示 ・静止ボタンを押したときの「静止」 ・「テンプレート」の変更による表示 <p>お知らせ</p> <p>● 「表示しない」に設定したときは、静止ボタンを押して映像を静止させても「静止」のメッセージが表示されません。映像の静止を解除するには、もう一度静止ボタンを押す必要があります。静止ボタンを押して映像を静止させていることを忘れないようご注意ください。</p>
<p>入力 チャンネル名</p>	<p>本機の入力端子に名前（チャンネル名）を割り当てることができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) カーソルボタン▲ / ▼で、チャンネル名を付けたい端子を選択してください。 (2) カーソルボタン▶を押すと、「入力チャンネル名」ダイアログが表示されます。以下の手順にしたがって、チャンネル名を登録してください。 (3) 入力チャンネル名ダイアログで端子に割り当てたいアイコンを選択します。アイコンを選択するとそのアイコンに応じて端子の名称は自動的に切り換えられます。カーソルボタン▶またはENTERボタンを押すと設定されます。 (4) 端子のアイコンにつける番号を選択します。空白（番号未設定）、1、2、3、4から選択できます。 (5) チャンネル名を決定するには、「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶またはENTERボタン（または入力切替ボタン）を押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀またはENTERボタン（または入力切替ボタン）を押します。端子の名称を変更したい場合は、「名称変更」を選択して、ENTERボタン（または入力切替ボタン）を押してください。チャンネル名入力ダイアログが表示されます。 

設定項目	操作内容
<p>入力 チャンネル名 (つづき)</p>	<p>(6) チャンネル名を入力する 最初の行（下線付き）に現在のチャンネル名が表示されます。名前をまだ指定していないときは、最初の行は空白です。 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押して入力してください。リセットボタン（またはカーソルボタン◀と入力切替ボタンの同時押し）で1文字削除することができます。また、「全消去」でENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押すと表示されている文字を全て削除することができます。チャンネル名は最大 16 文字入力できます。</p> <p>(7) チャンネル名を編集する カーソルボタン▲ / ◀ / ▶で、チャンネル名が表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押して選択します。選択した文字を、チャンネル名を入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>(8) チャンネル名を保存する チャンネル名の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）、または操作パネルの入力切替ボタンを押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀（または ENTER ボタン）、または入力切替ボタンを押します。</p> 
<p>テンプレート</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、テンプレート画面のパターンを選択できます。</p> <p> ↓ → テストパターン ↔ 点線 1 ↔ 点線 2 ↔ 点線 3 地図 2 ↔ 地図 1 ↔ 円 2 ↔ 円 1 ↔ 点線 4 ← ↑ </p> <p>選択したテンプレート画面を表示させるには、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押してください。</p> <p>カーソルボタン◀で表示画面からパターン選択画面に戻ります。</p> <p>テンプレート画面は、テンプレート機能を割り当てられたマイボタン (☑2-28) を押すことによっても表示できます。表示はマイボタンを押す直前に選択していたテンプレート画面となります。</p> <p>「地図 1」および「地図 2」では、地図を水平にスクロールしたり、上下をさかさまにすることができます。「地図 1」または「地図 2」を表示中にリセットボタンを 3 秒間以上押してください。操作のガイダンスが表示されます。ガイダンスには、地図表示の以下の機能のボタン操作を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 北半球を上にして表示 カーソルボタン▲を押してから ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押す。 ■ 南半球を上にして表示 カーソルボタン▼を押してから ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押す。 ■ 表示した地図を水平にスクロールする カーソルボタン◀ / ▶を押してから ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押す。

その他メニュー

「その他」メニューでは下表の項目を操作することができます。
 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または
ENTER ボタンを押すと操作を開始または実行できます。下表および
 メニュー表示に従って操作してください。



応用編

設定項目	操作内容
オートサーチ	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号の自動検索機能の有効 / 無効を設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」を選択すると、信号を受信できなくなったとき、本機は自動的に他の端子からの入力信号を検索し始めます。正常な入力信号が見つかり、検索をやめ、その映像が表示されます。</p> <p>検索は、オートサーチ実行前に選択されていた入力端子から、正常な入力信号を検出するまで、次の順序で繰り返し行われます。</p> <p style="text-align: center;"> コンピュータ入力 1 → コンピュータ入力 2 → LAN → USB タイプ A ↑ ↓ ビデオ ← S-ビデオ ← HDMI ← USB タイプ B </p>
オートキーストン	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、オートキーストン（台形ひずみ自動補正）機能の有効 / 無効を設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>■「有効」: 本機の傾きを変更した際に、キーストンの補正量を自動的に調整します。</p> <p>■「無効」: オートキーストンは、機能しません。</p> <p>キーストンの自動調整を実行するには、「設置」メニューの「オートキーストン」（図2-16）を使用してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●天吊りのように、本機を固定して使用する場合はこの機能は「無効」を選択することを推奨します。 ●この機能は「セキュリティ」メニュー（図2-45）－「状態監視」（図2-48）を「有効」に設定しているときは選択できません。
ダイレクトパワーオン	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、ダイレクトパワーオン機能の有効 / 無効を設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、本機の使用（ランプ点灯中）に、テーブルタップのスイッチやブレーカーをご使用になって電源を切ったあと、再度電源に接続したときに、点灯 / 消灯 ボタンの操作無しで電源が入り、ランプが自動的に点灯します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●以下のいずれかの手順で電源を切った場合は、電源を接続しても、ランプは自動的に点灯しません。点灯 / 消灯 ボタンを押して点灯してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・点灯 / 消灯 ボタンでランプを消灯したとき。 ・オートパワーオフ機能でランプが消灯したとき（図2-26）。 ●ダイレクトパワーオン機能で電源が入ってから約 30 分間、何も信号が入力されなかったり、何も操作をされなかった場合は、オートパワーオフ機能が無効設定になっていても、自動的にランプが消灯します。

その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>オートパワーオフ</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号が検出されなくなってから自動的に電源を切る（ランプを消灯し、冷却動作を始める）までの待ち時間を設定できます。</p> <p style="text-align: center;">長く（最長 99 分） ↔ 短く（最短 1 分、0 分：無効）</p> <p>例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>オートパワーオフ機能は 1 ～ 99 分に設定されているときのみ有効です。0 に設定すると無効になります。</p> <p>有効に設定（待ち時間を設定）すると、入力信号が検出されない場合、設定時間経過後に自動的にランプが消灯します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンまたは操作パネルのボタンを押すか、または、Get コマンド以外のコマンドを送受信すると、その時点から再び設定時間が経過するまでオートパワーオフ機能は動作しません。 ● 手動で電源を切る方法については「電源を切る」（1-28）をお読みください。
<p>USB タイプ B</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、USB タイプ B 端子の用途を切り替えられます。</p> <p style="text-align: center;">マウス → USB ディスプレイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「マウス」：リモコンをコンピュータの簡易マウス／キーボードとしてご使用いただけます（1-15）。 ■ 「USB ディスプレイ」：USB タイプ B 端子はコンピュータからの映像信号入力端子として機能します。 <p>本機の USB タイプ B 端子は、コンピュータの USB(A) 端子と接続してください（1-20）。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● USB タイプ B 端子からの映像を表示するには数秒かかる場合があります。 ● 以下の場合には、USB タイプ B 端子が映像入力端子として使用できないことを通知するメッセージが、ダイアログとともに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - USB タイプ B 端子に映像信号が入力されているのに、「マウス」に切り替えようとしている場合。 - この項目が「マウス」に設定されているのに、USB タイプ B 端子を映像信号の入力端子として使用しようとしている場合

設定項目	操作内容
ランプ時間	<p>「その他」メニューに表示されている「ランプ時間」の右側の値は、ランプの使用時間です。初期、または前回ランプ時間を初期化した時から現在までのランプの点灯時間を1時間単位で表示します。</p> <p>「ランプ時間」を選択してカーソルボタン▶またはリセットボタンを押すと、ランプ時間初期化確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、ランプ時間を初期化することができます。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>ランプ時間を初期化した後は、メニューの「ランプ時間」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ランプを交換したときは必ずランプ時間を初期化してください。ランプの交換に合わせて初期化しないと、実際のランプの使用時間とランプ時間の値が一致しません。 ●ランプ交換の際は必ず「ランプを交換する」(☞1-38,39)をお読みください。
フィルター時間	<p>「その他」メニューに表示されている「フィルター時間」の右側の値は、エアーフィルターの使用時間です。初期、または前回フィルター時間を初期化した時からの現在までの本機の稼働時間を1時間単位で表示します。</p> <p>「フィルター時間」を選択してカーソルボタン▶またはリセットボタンを押すと、フィルター時間初期化確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、フィルター時間を初期化することができます。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>フィルター時間を初期化した後は、メニューの「フィルター時間」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エアーフィルターを掃除または交換したときは必ずフィルター時間を初期化してください。エアーフィルターの掃除または交換に合わせて初期化しないと、実際の稼働時間とフィルター時間の値が一致せず、また、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージ(☞2-30)が正しく表示されません。 ●エアーフィルターの掃除または交換については、「エアーフィルターを掃除／交換する」(☞1-40)をお読みください。

その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
マイボタン	<p>操作パネルのブランクボタン及びリモコン上の2つのマイボタン 1/2 に機能を割り当てることができます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で、設定するボタン（ブランク、マイボタン 1、マイボタン 2）を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンでマイボタンセッ トアップダイアログを表示します。</p> <p>(2) カーソルボタン▲/▼/◀/▶でブランク、マイボタン 1、マイボタン 2 に割 り当てる機能を選択し、ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押してください。</p> <p>◎コンピュータ入力 1：コンピュータ入力 1 端子からの信号を選択します。 ◎コンピュータ入力 2：コンピュータ入力 2 端子からの信号を選択します。 ◎LAN：LAN 端子からの信号を選択します。 ◎USB タイプ A：USB タイプ A 端子からの信号を選択します。 ◎USB タイプ B：USB タイプ B 端子からの信号を選択します。 ◎HDMI：HDMI 端子からの信号を選択します。 ◎S-ビデオ：S-ビデオ端子からの信号を選択します。 ◎ビデオ：ビデオ端子からの信号を選択します。 ◎スライドショー：USB タイプ A からの信号入力を選択され、スライドショーを表示します。 ◎メッセージャー：メッセージャー表示のオン/オフを切替えます。 ◎インフォメーション：マイボタンを押すたびに、「システム _ インフォメーション」 ダイアログ（ランプ、エアフィルターの使用時間）、「入力 _ インフォメーション」 ダイアログ（受信中の入力信号情報）(☞2-33)、「無線 LAN インフォメーション」 ダイアログ（無線 LAN の設定情報）(☞2-38)、「有線 LAN インフォメーション」 ダイアログ（有線 LAN の設定情報）(☞2-40) を表示します。 ◎オートキーストン：キーストンの自動調整を実行します。(☞2-16) ◎マイメモリー：「マイメモリー」で記憶した設定のロード操作を行います。(☞2-8)</p> <p>■マイメモリーを設定したときのマイボタン動作</p> <p>設定データがメモリに保存されていれば、操作パネルのマイボタンを押すたびに、順次設定データを読み出し適用します。メモリに設定データが保存されていないときは「保存データ無し」のダイアログが表示されます。操作パネルのマイボタンを押したときの「映像」メニューの設定とロードしようとする設定が異なると、右のようなダイアログが現れます。</p>  <p>現在の設定を変えたくない場合はカーソルボタン▶を押してください。データをロードすると、現在の設定が上書きされます。</p> <p>◎映像モード：映像モードを変更します。(☞2-4) ◎フィルターリセット：フィルター時間の初期化確認ダイアログを表示します。(☞2-27) ◎テンプレート：テンプレート選択画面の表示/非表示を切り替えます。(☞2-23) ◎AV ミュート：映像と音声のオン/オフを切り替えます。 ◎解像度：解像度のメニューの表示/非表示を切り替えます。 ◎エコモード：エコモード設定画面の表示/非表示を切り替えます。 ◀以下は操作パネルのエコボタンにのみ設定できます。▶ ◎ブランク：ブランク画面のオン/オフを切り替えます。 ◎静止：静止画面のオン/オフを切り替えます。 ◎音量：音量設定画面の表示/非表示を切り替えます。 ◎オート：自動調整機能を実行します。</p>

その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>特別な設定 (つづき)</p> <p>通信設定</p>	<p>シリアル設定</p> <p>ネットワークブリッジでの、RS-232C 端子の通信状態を選択することができます。 カーソルボタン▲/▼で設定する項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押してください。カーソルボタン▲/▼で、各項目を設定してください。</p> <p>■ボーレート</p> <p>4800 bps ↔ 9600 bps ↔ 19200 bps ↔ 38400 bps</p> <p>↑ ↑ ↑ ↑</p> <p>■パリティ</p> <p>なし ↔ 奇数 ↔ 偶数</p> <p>↑ ↑</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「通信タイプ」(☞ 上記) が「オフ」に設定されているときは、ボーレートは「19200bps」パリティは「なし」に固定されます。
	<p>通信方式</p> <p>このメニューは、「通信タイプ」で「ネットワークブリッジ」が選択されている時のみ設定できます。 カーソルボタン▲/▼で、ネットワークブリッジでの、RS-232C 端子からの伝達用の通信方式を選んでください。</p> <p>半二重通信 ↔ 全二重通信</p> <p>■「半二重通信」：データの送信、受信を交互に行います。</p> <p>■「全二重通信」：データの送受信を同時に行います。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工場出荷時は、「半二重通信」に設定されています。 ● 「半二重通信」を選択する時は、「応答データ受信期間」(☞ 下記)をご確認ください。
	<p>応答データ受信期間</p> <p>この項目は、「通信タイプ」に「ネットワークブリッジ」、「通信方式」に「半二重通信」が設定されている時のみ設定できます。 カーソルボタン▲/▼で、外部機器からの応答待機時間を選択してください。</p> <p>オフ ↔ 1s ↔ 2s ↔ 3s</p> <p>↑ ↑ ↑</p> <p>■「オフ」：コンピュータから連続してデータを送信することができます。送信先の外部機器からの応答データを確認しなくてもよい場合に選択してください。</p> <p>■ 1s/2s/3s：データ送信先の外部機器からの応答待機時間を設定します。設定された時間は、RS-232C 端子からデータは送信されません。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工場出荷時は、「オフ」に設定されています。 ● このメニューは「通信タイプ」にて「ネットワークブリッジ」が選択されていて、かつ「通信方式」で「半二重通信」が選択されていることで、有効となります。

設定項目	操作内容
<p>特別な設定 (つづき)</p>	<p>インフォメーション この項目を選択すると「入力_インフォメーション」のダイアログが表示されます。このダイアログには現在受信中の映像信号についての情報が表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “フレームロック” と表示されている場合は、フレームロック機能（2-14）が動作していることを示します。 ● 無信号と同期外れ状態では、この項目は選択できません。 ● 「セキュリティ」（2-45）— 「マイテキスト表示」（2-51）が「有効」に設定されていると、「入力_インフォメーション」ダイアログには、登録したマイテキストも一緒に表示されます。
	<p>工場出荷設定 カーソルボタン▶を押して、「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定の再設定の際は、「高地モード」も設定を必ずしてください。

ネットワークメニュー

本機をネットワークに接続するには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

「メニュー機能の使い方」(2-2, 3) に従い、「ネットワーク」メニューを表示してください。「ネットワーク」メニューでは、下表の項目を操作することができます。

カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

ネットワーク機能の詳細については、【ネットワーク編】をご参照ください。



お知らせ

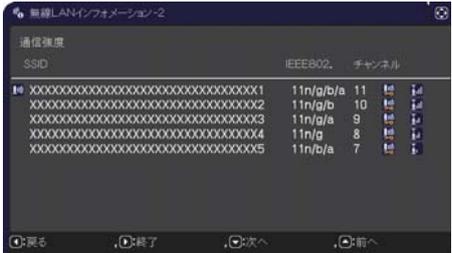
- ご利用のネットワークが SNTP に非対応の場合、日時を設定する必要があります (2-36)。
- 「設置」メニューの「スタンバイモード」が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときネットワークの通信はできません。スタンバイモードを「通常」に設定してから本機をネットワークに接続してください。

設定項目	操作内容
無線 LAN 設定	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、無線 LAN 設定メニューを表示します。無線 LAN 設定メニューでは、本機を無線ネットワークに接続する際に必要な、本機の設定を行います。本機に接続するコンピュータやアクセスポイントなどの設定は、【ネットワーク編】をご参照ください。カーソルボタン▲ / ▼で設定したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のダイアログが表示されます。</p> 
	<p>モード</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で、ネットワーク通信システムのモードを選択します。コンピュータの設定に基づいて選択してください。</p> <p>ADHOC ↔ INFRASTRUCTURE</p> <p>設定を保存するには、▶ボタンを押してください。暗号設定で WPA-PSK か WPA2-PSK のどれかを選択しているときに、ADHOC を設定すると、(暗号設定が)自動的に OFF に切り替わります。</p>

設定項目	操作内容
無線 LAN 設定 (つづき)	<p>DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) カーソルボタン▲ / ▼で、DHCP のオン / オフを切り替えることができます。 オン ↔ オフ DHCP に対応していないネットワークに接続する場合は「オフ」を選択してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「DHCP」を「オン」に設定したときには、DHCP サーバから IP アドレスを取得するのに少々時間がかかります。 ● 「DHCP」が「オン」に設定されているのに DHCP サーバから IP アドレスを取得できなかった場合には、自動的に IP アドレスが割り当てられます。
	<p>IP ADDRESS カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、IP アドレスを入力します。 この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● IP アドレスは、ネットワーク上で本機を識別するための数字です。同じネットワーク上で 2 台以上の装置が同じ IP アドレスを持つことはできません。 ● IP アドレスに“0.0.0.0”は設定できません。
	<p>SUBNET MASK カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、ご利用のコンピュータと同じサブネットマスクを入力します。 この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サブネットマスクに“0.0.0.0”は設定できません。
	<p>DEFAULT GATEWAY カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、デフォルトゲートウェイを入力します。 デフォルトゲートウェイは、ネットワークへのアクセスポイントとして機能するネットワーク上のノードです。 この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p>
	<p>DNS SERVER カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、DNS サーバーのアドレスを入力します。 DNS サーバーはネットワーク上のドメイン名と IP アドレスを対応させるシステムです。</p>
	<p>時差 カーソルボタン▲ / ▼で、時差を入力します。 ご利用のコンピュータと同じ時差を設定してください。不確かな場合は IT 管理者にお尋ねください。 時差を設定し終わったら、カーソルボタン▶を押すと、「無線 LAN 設定」メニューに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この項目を設定すると有線 LAN 設定メニューの同項目が同じ設定に上書きされます。

設定項目	操作内容
無線 LAN 設定 (つづき)	<p>日付と時刻の設定</p> <p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、年（西暦下 2 桁）、月、日、時、分を入力します。接続したネットワークが SNTP 対応の場合は、タイムサーバーから日付と時刻を受信すると設定が上書きされます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目を設定すると有線設定メニューの同項目が同じ設定に上書きされます。 ●本機は、SNTP が有効に設定されているとき、日付と時刻を時間サーバーから取得します。 ●この設定は、設置メニューのスタンバイモードを省電力に設定して本機の電源を切るか、AC 電源を切ると、初期化されます。
	<p>チャンネル</p> <p>カーソルボタン▲/▼、モードが ADHOC に設定されている場合に使用する無線 LAN のチャンネルを選択してください。コンピュータの設定に基づいて選択してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目は、ADHOC モードが選択されているときにのみ選択可能です。 ●INFRASTRUCTURE に設定されている場合は、自動的にチャンネルが割り当てられます。
	<p>暗号方式</p> <p>カーソルボタン▲/▼で、暗号方式を選択してください。</p> <p>WPA2-PSK(AES) ←————→ WPA2-PSK(TKIP)</p> <p>↓ ↓</p> <p>OFF WPA-PSK(AES)</p> <p>↓ ↓</p> <p>WEP 64bit ↔ WEP 128bit ↔ WPA-PSK(TKIP)</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モードが INFRASTRUCTURE に設定されているときに IEEE802.11 n(で通信)を使用する場合は、TKIP と WEP は設定できません。

設定項目	操作内容
無線 LAN 設定 (つづき)	<p>SSID カーソルボタン▲ / ▼で、SSID を選択し、SSID メニューを表示させます。</p> <p>デフォルト 1 ↔ デフォルト 2 ↔ デフォルト 3 ↓ ↓ カスタム 5 ← → デフォルト 4</p>  <p>デフォルトを一つ選択し、▶ボタンまたは ENTER ボタンを押します。</p> <p>■ カスタム設定 カスタムを選択し、▶ボタンもしくは ENTER ボタンを押します。 カスタム SSID メニューが表示されます。</p> <p>(1) 最初の 2 行 (下線付き) に現在のカスタム SSID 名が表示されます。カスタム SSID の初期値は “wireless” です。 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、各文字を選択し、ENTER ボタン (または入力切替ボタン) を押して入力してください。リセットボタン、またはカーソルボタン◀と入力切替ボタンを同時に押して、1 文字削除することができます。また、カーソルを画面上の「消去」または「全消去」に移動させ、ENTER ボタン (または入力切替ボタン) を押すと、1 文字または表示されている文字を全て削除することができます。 SSID 名は最大 32 文字まで入力できます。</p> <p>(2) 文字の変更は、カーソルボタン ▲ / ▼ 使用し、上二行にカーソルを移動させます。そして、カーソルボタン◀ / ▶で変更したい文字にカーソルを合わせ、ENTER ボタン (または入力切替ボタン) を押して選択します。選択した文字を、プロジェクター名を入力するときと同じ手順で編集してください。 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、SSID 名が表示されている行の、変更 / 削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタン (または入力切替ボタン) を押して選択します。選択した文字を、SSID 名を入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>(3) SSID 名の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶か、ENTER ボタン (または入力切替ボタン) を押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀か、ENTER ボタン (または入力切替ボタン) を押します。</p>   

設定項目	操作内容
<p>無線 LAN インフォメーション</p>	<p>この項目を選択すると、無線 LAN の設定を確認（表示）する、無線 LAN インフォメーションダイアログが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼でページに切替ができます。</p> <p>最初のページは、無線 LAN の設定を表示します。 2 ページ目以降は、無線 (LAN) 接続機器からの信号の情報を表示します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● パスコードの詳細は、付属品 CD-ROM 「Wireless & Network software」内の「LiveViewer」をご参照ください。 ● プロジェクター名および SSID は設定されていない場合、空白で表示されます。プロジェクター名は先頭から 16 文字が表示されます。 ● IP アドレス、サブネットマスクそしてデフォルトゲートウェイは、以下の条件で“0.0.0.0”と表記されます。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 本機に USB 無線アダプターが刺されていない。 (2) DHCP が「オン」になっており、本機が DHCP アドレスを取得できない。 ● USB アダプターが刺されていない場合は、チャンネルと通信速度は空白のままとなります。 ● 無線設定メニューで設定した値ではなく、チャンネル項目に表示される実際の値で動作しています。 ● プロジェクタに接続している機器の SSID の左には、（接続を示す）アイコンが表示されます。

設定項目	操作内容
有線 LAN 設定	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、有線 LAN 設定メニューを表示します。有線 LAN 設定メニューでは、本機を有線ネットワークに接続する際に必要な、本機の設定を行います。本機に接続するコンピュータやアクセスポイントなどの設定は、【ネットワーク編】をご参照ください。カーソルボタン▲/▼で設定したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のダイアログが表示されます。</p> 
	<p>DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) カーソルボタン▲/▼で、DHCP のオン/オフを切り替えることができます。 オン ↔ オフ</p>
	<p>DHCP に対応していないネットワークに接続する場合は「オフ」を選択してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「DHCP」を「オン」に設定したときには、DHCP サーバから IP アドレスを取得するのに少々時間がかかります。 ● 「DHCP」が「オン」に設定されているのに DHCP サーバから IP アドレスを取得できなかった場合には、自動的に IP アドレスが割り当てられます。
	<p>IP ADDRESS カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、IP アドレスを入力します。この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● IP アドレスは、ネットワーク上で本機を識別するための数字です。同じネットワーク上で 2 台以上の装置が同じ IP アドレスを持つことはできません。 ● IP アドレスに“0.0.0.0”は設定できません。
	<p>SUBNET MASK カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、ご利用のコンピュータと同じサブネットマスクを入力します。この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サブネットマスクに“0.0.0.0”は設定できません。
	<p>DEFAULT GATEWAY カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、デフォルトゲートウェイを入力します。デフォルトゲートウェイは、ネットワークへのアクセスポイントとして機能するネットワーク上のノードです。この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> <p>DNS SERVER カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、DNS サーバーのアドレスを入力します。DNS サーバーはネットワーク上のドメイン名と IP アドレスを対応させるシステムです。</p>

設定項目	操作内容
<p>有線 LAN 設定 (つづき)</p>	<p>時差</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で、時差を入力します。 ご利用のコンピュータと同じ時差を設定してください。不確かな場合は IT 管理者にお尋ねください。 時差を設定し終わったら、カーソルボタン▶を押すと、「有線 LAN 設定」メニューに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目を設定すると無線 LAN 設定メニューの同項目が同じ設定に上書きされます。 <p>日付と時刻の設定</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、年（西暦下 2 桁）、月、日、時、分を入力します。 接続したネットワークが SNTP 対応の場合は、タイムサーバーから日付と時刻を受信すると設定が上書きされます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目を設定すると有線設定メニューの同項目が同じ設定に上書きされます。 ●本機は、SNTP が有効に設定されているとき、日付と時刻を時間サーバーから取得します。 ●この設定は、設置メニューのスタンバイモードを省電力に設定して本機の電源を切るか、AC 電源を切ると、初期化されます。
<p>有線 LAN インフォメーション</p>	<p>この項目を選択すると、有線 LAN の設定を確認（表示）する、有線 LAN インフォメーションダイアログが表示されます。</p> <div data-bbox="963 1104 1409 1346" data-label="Image"> </div> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●パスコードの詳細は、付属品 CD-ROM 「Wireless & Network Software」内の「LiveViewer」のマニュアルをご参照ください。 ●プロジェクター名および SSID は設定されていない場合、空白で表示されます。プロジェクター名は先頭から 16 文字が表示されます。 ●IPアドレス、サブネットマスクそしてデフォルトゲートウェイは、DHCPが「オン」になっており、本機が DHCP アドレスを取得できない場合は、「0.0.0.0」と表記されます。

設定項目	操作内容
<p>プロジェクト名</p>	<p>本機の名前（プロジェクト名）を登録することができます。</p> <p>■ プロジェクト名を入力する 最初の3行（下線付き）に現在のプロジェクト名が表示されます。プロジェクト名は、初期値として特定の名前が設定されています。カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押して入力してください。… リセットボタン、またはカーソルボタン◀と入力切替ボタンを同時に押して、1文字削除することができます。また、カーソルを画面上の「消去」または「全消去」に移動させ、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押すと、1文字または表示されている文字を全て削除することができます。</p> <p>プロジェクト名は最大64文字まで入力できます。</p> <p>■ プロジェクト名を編集する カーソルボタン▲ / ◀ / ▶で、プロジェクト名が表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押して選択します。選択した文字を、プロジェクト名を入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>■ プロジェクト名を保存する プロジェクト名の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶か、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀か、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押します。</p>   

設定項目	操作内容
<p>プレゼンテーション</p>	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「プレゼンテーション」メニューを表示します。</p> <div data-bbox="986 315 1465 427" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>プレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ プレゼンターモード解除 実行する マルチPCモード ユーザー名表示 戻る </div> <p>お知らせ</p> <p>ネットワークプレゼンテーションには、専用のアプリケーション、"LiveViewer" が必要です。付属品 CD-ROM 「Wireless & Network Software」 からインストールしてください。また、日立のウェブサイト (http://www.hitachi.co.jp/proj/) から最新のバージョンと情報をダウンロードすることができます。ネットワークプレゼンテーションの詳細と "LiveViewer" のインストール方法は、付属品 CD-ROM 「Wireless & Network Software」 内の 「LiveViewer」 のマニュアルをご参照ください。</p>
	<p>プレゼンターモード解除</p> <p>本機をプレゼンターモードで使用し、1 台で占有しているコンピュータがある場合に、本機から強制的にプレゼンターモードを解除し、他のコンピュータからアクセスできるようにします。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、プレゼンターモードを解除し、メッセージを表示します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プレゼンターモードは、"LiveViewer" のオプションメニューで設定してください (図3-27)。
	<p>マルチ PC モード</p> <p>ネットワークプレゼンテーションで、複数のコンピュータから本機に映像を送信している場合、シングル PC モードとマルチ PC モードの、2 通りの表示モードを選択することができます。表示モードの詳細については、【ネットワーク編】「2 ネットワークプレゼンテーション」 (図3-13) をご参照ください。</p> <p>表示モードを変更するには、以下の手順にしたがってください。表示されるダイアログは、本機に設定された表示モードによって異なります。</p> <p>■ マルチ PC モードからシングル PC モードに切り替える カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、ダイアログ左の 4 分割画面から使用するコンピュータの映像を選択し、ENTER ボタン (または入力切替ボタン) を押してください。カーソルボタン▶で「OK」を選択し、ENTER ボタンを押すと、選択したコンピュータの画面がフル画面で表示されます。</p> <p>■ シングル PC モードからマルチ PC モードに切り替える カーソルボタン▶で「OK」を選択し、ENTER ボタン (または入力切替ボタン) を押してください。マルチ PC モードに切り替ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 表示モードをシングル PC モードに変更すると、選択されたコンピュータでのプレゼンターモード設定が有効になります。また、表示モードがマルチ PC モードに変更されると、プレゼンターモードの設定は、コンピュータの設定にかかわらず無効になります。 <div data-bbox="1106 1339 1465 1570" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>マルチPCモード</p>  </div> <div data-bbox="1106 1585 1465 1816" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>マルチPCモード</p>  </div>

ネットワークメニュー (つづき)

設定項目	操作内容
<p>プレゼンテーション (つづき)</p>	<p>ユーザー名表示</p> <p>この機能は、「ユーザー名表示」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。</p> <p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「ユーザー名」ダイアログが表示されます。このダイアログには、表示されている映像ごとにユーザー名が表示されます。表示されるダイアログは、本機に設定された表示モードによって異なります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザー名は、「LiveViewer」のオプションメニューで登録してください (☞3-27)。
<p>特別な設定</p>	<p>リスタート</p> <p>ネットワーク設定を初期化して、再起動することができます。</p> <p>ネットワークの動作が止まったとき、操作ができなくなったときなどに実行してください。</p> <p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、リスタート確認ダイアログが表示されます。</p> <p>カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、ネットワークをリスタートします。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リスタートを実行すると、ネットワークが一時切断されます。 ● 「DHCP」 (☞2-35) が「オン」に設定されていると、IP アドレスが変更される場合があります。 ● ネットワークリスタート実行後、「ネットワーク」メニューは約 30 秒間操作できなくなります。  

セキュリティメニュー

本機はセキュリティ機能を備えています。

「セキュリティ」では、下表の項目を操作することができます。
パスワード、暗証コードのお問い合わせの際に必要となりますので、
保証書はかならず大切に保管してください。

1. 「パスワードを入力してください」を選びカーソルボタン▶を押してください。「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されます。
2. カーソルボタンの▲/▼/◀/▶で登録されているセキュリティパスワードを入力してください。工場出荷時には、パスワードは

< CPX10WNJ, CPX11WNJ > : 3692 < CPWX12WNJ > : 2092

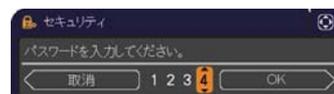
に設定されています。セキュリティパスワードは変更できます (📖 下記)。

カーソルを「パスワードを入力してください」ダイアログの右端に移動して、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押し、「セキュリティ」メニューを表示します。

3. 下表の項目を操作することができます。

セキュリティパスワードを忘れた場合

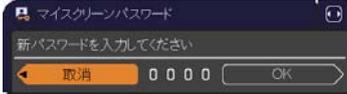
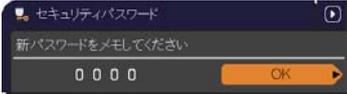
1. 「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されている間に、リセットボタン、または操作パネルのカーソルボタン◀と入力切替ボタンを同時に3秒間押しと、「セキュリティパスワード/照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには10桁のセキュリティパスワード照合コードが表示されています。
2. 10桁のセキュリティパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせてお客様ご相談窓口 (家電ビジネス情報センター) TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後パスワードをご連絡いたします。



お知らせ

- 間違ったパスワードを3回入力すると、電源が切れます。これ以降は、パスワードの入力を間違えるたびに電源が切れます。
- 「セキュリティパスワード/照合コード」ダイアログが表示されているときに55秒間何も入力しないと、ダイアログが閉じます。必要な場合は上記の操作をくりかえしてください。
- 工場出荷時のパスワードはできるだけ早めに変更してください。

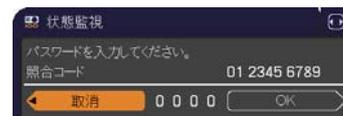
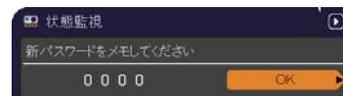
設定項目	操作内容
セキュリティパスワード変更	<p>セキュリティパスワードを変更することができます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で、「セキュリティ」メニューのセキュリティパスワード変更を選び▶を押してください。新パスワードを入力するダイアログが表示されます。</p> <p>(2) カーソルボタンの▲/▼/◀/▶で、新パスワードを入力してください。</p> <p>(3) カーソルを「新パスワードを入力してください」ダイアログの右端に移動します。カーソルボタン▶を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されますので、同じパスワードを入力してください。</p> <p>(4) カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動して、カーソルボタン▶を押すと、新しいセキュリティパスワードが設定され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約30秒間表示されます。この間に新しいパスワードをメモしてください。</p> <p>ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「セキュリティ」メニューに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● セキュリティパスワードを忘れないようにしてください。

設定項目	操作内容
<p>マイスクリーンパスワード</p>	<p>マイスクリーンパスワード機能で、マイスクリーンへのアクセスを禁止し、登録されている映像の上書きを防ぐことができます。</p> <p>1 マイスクリーンパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）</p> <p>1-1 カーソルボタン▲/▼で「セキュリティ」メニューのマイスクリーンパスワードを選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押してください。マイスクリーンパスワード有効/無効メニューが表示されます。</p> <p>1-2 カーソルボタン▲/▼で有効を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。</p> <p>1-3 カーソルボタン▲/▼/◀/▶でパスワードを入力してください。カーソルを「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されるので、同じパスワードを再度入力してください。</p> <p>1-4 カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。この間にパスワードをメモしてください。ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「マイスクリーンパスワード」ダイアログに戻ります。</p> <p>マイスクリーンパスワードを設定すると、「スクリーン」メニュー（ 2-20）の「マイスクリーン」（ 2-21）、および「マイスクリーンロック」を操作できなくなり、「初期画面」が「マイスクリーン」に固定されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マイスクリーンパスワードを忘れないようにしてください。 <p>2 マイスクリーンパスワード機能を無効にする</p> <p>マイスクリーンパスワード機能を無効にすると、通常の操作が可能になります。</p> <p>2-1 1-1 の手順に従って「マイスクリーンパスワード有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>2-2 「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。登録されたマイスクリーンパスワードを入力すると画面は「マイスクリーンパスワード有効/無効」メニューに戻ります。</p> <p>3 マイスクリーンパスワードを忘れた場合</p> <p>3-1 1-1 の手順に従って「マイスクリーン有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>3-2 「無効」を選択し、「マイスクリーンパスワードを入力してください」（大）ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードが表示されています。</p> <p>3-3 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて</p> <p>お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、マイスクリーンパスワードをご連絡いたします。</p>   <p>新パスワード入力 （小）ダイアログ</p>    <p>パスワード入力 （大）ダイアログ</p>

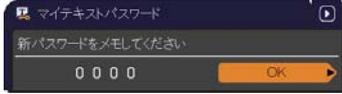
設定項目	操作内容
<p>暗証コードロック</p>	<p>暗証コードロックは、登録された暗証コードが入力されない場合に本機が使用されることを防ぐ機能です。</p> <p>1 暗証コードロック機能を有効にする（暗証コードを設定・登録する）</p> <p>1-1 カーソルボタン▲/▼で「セキュリティ」メニューの暗証コードロックを選び、▶ボタンまたは ENTER ボタンで「暗証コード有効/無効」メニューを表示します。</p> <p>1-2 カーソルボタン▲/▼で有効を選択すると「暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。</p> <p>1-3 カーソルボタン▲/▼/◀/▶、コンピュータおよび入力切替ボタンで4つのパートからなる暗証コードを入力してください。「暗証コードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じ暗証コードを再入力して、暗証コードの登録が完了します。</p> <p>「暗証コードを入力してください」ダイアログまたは「暗証コードを再入力してください」ダイアログが表示されているときに、約55秒何も入力しないと、ダイアログが閉じます。必要ならば1-1から手順を繰り返してください。</p> <p>暗証コードロック機能を有効にすると、本機を電源につなぎ、最初に電源を入れるたびに暗証コードを確認するダイアログが表示され、登録された暗証コードを入力しない限り、本機を使用できなくなります。間違った暗証コードが入力されると「暗証コードを入力してください」ダイアログが再度表示されます。間違った暗証コードを3回入力すると、ランプが消灯します。その後は、暗証コードの入力を間違えるたびにランプが消灯します。また、ダイアログが表示されてから正しい暗証コードを約5分間以内に入力しない場合も、ランプが消灯します。ただし、この機能は、一度本機の電源を完全に切った後で、再度電源を入れないと有効になりません。</p> <p>お知らせ</p> <p>●暗証コードを忘れないようにしてください。</p> <p>2 暗証コードロック機能を無効にする</p> <p>暗証コードロック機能を無効にすると、本機は通常どおりに起動します。</p> <p>2-1 1-1の手順に従って、「暗証コードロック有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>2-2 カーソルボタン▲/▼で「無効」を選択すると、「暗証コードロックを入力してください」ダイアログが表示されます。登録された暗証コードを入力すると、「暗証コードロック」は「無効」に設定されます。</p> <p>間違った暗証コードを3回入力すると、「暗証コードを入力してください。」ダイアログが閉じます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>

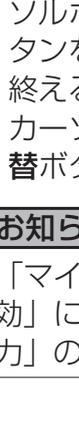
設定項目	操作内容
<p>暗証コード ロック (つづき)</p>	<p>3 暗証コードを忘れた場合</p> <p>3-1 1-1 の手順に従って「マイスクリーン有効 / 無効」メニューを表示してください。</p> <p>3-2 「無効」を選択し、「暗証コードを入力してください」(大) ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードが表示されています。</p> <div data-bbox="1082 353 1469 461" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「暗証コードメニュー」ダイアログが表示されているときに約5分間何も入力しないと、ランプが消灯します。 <p>3-3 10 桁の暗証コード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、暗証コードをご連絡いたします。</p>
<p>状態監視</p>	<p>本機の設置状態が変更されたときに、状態監視のアラームを表示し、本機を記録されている元の状態に戻すか、あるいはこの機能を無効にしない限り本機を使用できなくすることができます。</p> <div data-bbox="1141 869 1465 1070" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 約5分間状態監視オンの警告を表示した後、ランプが消灯します。 ● 状態監視機能が有効である限り、キーストン補正の調節状態を変更できなくなります。 <p>1 状態監視機能を有効にする</p> <p>状態監視機能を有効にすると、本機の電源を入れたときの角度（前後の傾き）、設置方法 (☑2-17) が、記録されている設定と異なると、状態監視のアラームが表示され、本機は入力信号を表示しなくなります。また、キーストン補正が調節できなくなります。</p> <p>1-1 カーソルボタン▲ / ▼で「セキュリティ」メニューの監視状態を選択し、▶または ENTER ボタンを押すと「監視状態 有効 / 無効」メニューが表示されます。</p> <p>1-2 カーソルボタン▲ / ▼で「状態監視 有効 / 無効」メニューの「有効」を選択してください。「有効」を選択すると、現在の角度（前後の傾き）、設置方法設定が記録されます。「新パスワードを入力してください」(小) ダイアログが表示されます。</p> <div data-bbox="1161 1572 1417 1664" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <p>1-3 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶でパスワードを入力してください。カーソルを「新パスワードを入力してください」(小) ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードをもう一度入力してください。</p> <div data-bbox="1120 1697 1465 1792" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <p style="text-align: center;">新パスワード入力 (小) ダイアログ</p> <div data-bbox="1120 1908 1465 2000" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div>

設定項目	操作内容
<p>状態監視 (つづき)</p>	<p>1-4 カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、状態監視パスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。リモコンの ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「状態監視 有効 / 無効」メニューに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●状態監視のパスワードを忘れないようにしてください。 ●この機能は、AC 電源を切った後に本機を起動した時にのみ作動します。 ●「状態監視」ダイアログで「有効」を選択したときに、本機が安定した状態で設置されていないと、この機能は正常に動作しません。
	<p>2 状態監視機能を無効にする</p> <p>2-1 1-1 の手順にしたがって「状態監視 有効 / 無効」メニューを表示してください。</p> <p>2-2 「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」(大) ダイアログが表示されます。登録された状態監視パスワードを入力すると、「状態監視」は「無効」に設定され、「状態監視 有効 / 無効」メニューに戻ります。</p> <p>間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。必要ならば 2-1 から手順を繰り返してください。</p> <p>3 状態監視パスワードを忘れた場合</p> <p>3-1 1-1 の手順に従って「状態監視 有効 / 無効」メニューを表示してください。</p> <p>3-2 「無効」を選択し、「パスワードを入力してください」(大) ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁の状態監視パスワード照合コードが表示されています。</p> <p>3-3 10 桁のパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、状態監視パスワードをご連絡いたします。</p>



パスワード入力
(大) ダイアログ

設定項目	操作内容
<p>マイテキストパスワード</p>	<p>「マイテキスト入力」(2-50)で登録した、マイテキストの上書きを防止することができます。マイテキストパスワード機能を有効にすると、「マイテキスト表示」、「マイテキスト入力」の操作ができなくなり、マイテキストの登録・変更、および表示の設定を変更できなくなります。</p> <p>1 マイテキストパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）</p> <p>1-1 カーソルボタン▲/▼で「セキュリティ」メニューの「マイテキストパスワード」を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押して「マイテキストパスワード有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>1-2 カーソルボタン▲/▼で「マイテキストパスワード」メニューの「有効」を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。</p> <p>1-3 カーソルボタン▲/▼/◀/▶を使ってパスワードを入力してください。カーソルを「新パスワードを入力してください。」（小）ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードをもう一度入力してください。</p> <p>1-4 カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、マイテキストパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。この間にパスワードをメモしてください。</p> <p>リモコンの ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「マイテキストパスワード 有効/無効」メニューに戻ります。</p> <p>2 マイテキストパスワード機能を無効にする</p> <p>2-1 1-1 の手順に従って、「マイテキストパスワード 有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>2-2 「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください。」（大）ダイアログが表示されます。登録されたマイテキストパスワードを入力すると「マイテキストパスワード 有効/無効」メニューに戻ります。</p> <p>間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。必要ならば 2-1 から手順を繰り返してください。</p> <p>3 マイテキストパスワードを忘れた場合</p> <p>3-1 1-1 の手順に従って「マイテキストパスワード 有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>3-2 「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。このダイアログには、10桁のマイテキストパスワード照合コードが表示されています。</p> <p>3-3 10桁のマイテキストパスワード照合コードをお客様のお名前、電話番号と合わせて</p> <p>お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、マイテキストパスワードをご連絡いたします。</p>
	 <p>マイテキストパスワード有効/無効メニュー</p>  <p>新パスワード入力（小）ダイアログ</p>  <p>新パスワードを再入力してください</p>  <p>新パスワードをメモしてください</p>  <p>パスワード入力（大）ダイアログ</p>

設定項目	操作内容
<p>マイテキスト表示</p>	<p>(1) カーソルボタン▲/▼で「セキュリティ」メニューの「マイテキスト表示」を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押して「マイテキスト表示 有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>(2) カーソルボタン▲/▼で「マイテキスト表示 有効/無効」メニューの「有効」または「無効」を選択してください。</p> <p style="text-align: center;">有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、初期画面（2-20）と「入力_インフォメーション」ダイアログ（2-33）に、登録したマイテキストが表示されます。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <p>お知らせ</p> <p>● 「マイテキストパスワード」（2-50）が「無効」に設定されているときのみ、「マイテキスト表示」の設定を変更できます。</p> </div>   
<p>マイテキスト入力</p>	<p>(1) カーソルボタン▲/▼で「セキュリティ」メニューの「マイテキスト入力」を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押して「マイテキスト入力」ダイアログを表示してください。</p> <p>(2) 最初の3行（下線付き）に現在のマイテキストが表示されます。マイテキストをまだ登録していないときは、最初の3行は空白です。カーソルボタン▲/▼/◀/▶で各文字を選択し、リモコンの ENTER または入力切替 ボタンを押して入力してください。リセット ボタンもしくはカーソルボタン◀と入力切替 ボタンを同時に押すことで1文字削除することができます。また、カーソルを「消去」または「全消去」に移動させて、ENTER または入力切替 ボタンを押すことで、1文字または全ての文字を削除することができます。マイテキストは1行につき最大24文字入力できます。</p> <p>(3) マイテキストを編集するには、カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、マイテキストが表示されている行の、変更/削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタンまたは入力切替 ボタンを押して選択します。選択した文字を、マイテキストを入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>(4) テキストの入力・編集が終わったら、1番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶、ENTER または入力切替 ボタンを押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀、ENTER または入力切替 ボタンを押します。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <p>お知らせ</p> <p>● 「マイテキストパスワード」（2-50）が「無効」になっているときのみ、「マイテキスト入力」の操作が行えます。</p> </div>   

応用編

プレゼンテーションツール

本機では、プレゼンテーションを簡単に、すばやく行うための3つの便利なツールをご利用頂けます。

■ PC レス プレゼンテーション (📖 下記)

■ USB ディスプレイ (📖 2-60)

■ ネットワークプレゼンテーション (📖 3-13)

ネットワークプレゼンテーションをご利用いただくには、本機をネットワークに接続する必要があります。詳細は【ネットワーク編】をご参照ください。

PC レス プレゼンテーション

USB タイプ A 端子からの映像信号を選択すると、PC レス プレゼンテーションを開始します。

PC レス プレゼンテーションでは、本機の USB タイプ A 端子に挿入された USB メモリの画像データを、以下の3つの表示モードで表示させることができます。

■ サムネイルモード (📖 2-53)

メモリに保存された画像ファイル、フォルダを並べて縮小表示します。
PC レス プレゼンテーション開始時は、サムネイルモードで表示します。

■ フルスクリーンモード (📖 2-57)

1つの画像を画面にいっぱいに表示します。

■ スライドショーモード (📖 2-58)

フォルダ内の画像を順繰りに表示します。

対応記録メディアとファイル形式

■ 対応記録媒体

－ USB メモリ (USB フラッシュメモリ、USB ハードディスク、USB メモリカードリーダー)

■ 対応記録媒体フォーマット

－ FAT12 / FAT16(FAT) / FAT32 (NTFS フォーマットには対応していません。)

■ 対応ファイル形式

- － JPEG (.jpeg, .jpg) : プロGRESSIVEエンコード JPEG には対応していません。
- － Bitmap (.bmp) : 16bit、および圧縮形式の BMP には対応していません。
- － PNG (.png) : インターレース PNG には対応していません。
- － GIF (.gif) : 動画ファイルは再生できません。

お知らせ

- 複数のドライブとして認識される USB リーダー (アダプタ) は、正常に動作しない場合があります。
- USB ハブは正常に動作しない場合があります。
- セキュリティ USB メモリは正常に動作しない場合があります。
- USB メモリを挿入したり取外すときにはご注意ください。
- 解像度が下記より大きい、または 36 × 36 より小さいファイルは表示されません。
また、解像度が 100 × 100 より小さいファイルは表示されない場合があります。
CPX10WN, CPX11WN: 1024 × 768
CPWX12WN: 1280 × 800
- 対応しているファイル形式でも、一部のファイルは表示できない場合があります。
- サムネイルモードで画像データの内容 (サムネイル画像) を表示できない場合は、枠のみ表示されます。

サムネイルモード

サムネイルモードでは、USB メモリに保存された画像をサムネイル表示し、画面の上下にサムネイルメニューが表示されます。1 画面に最大 20 の画像ファイルまたはフォルダを表示します。

PC レス プレゼンテーションは、サムネイルモードで開始されます。サムネイルモードからは、フルスクリーンモード、およびスライドショーモードに移ることができます。



サムネイル画面

サムネイルモード

■スライドショーアイコン

画像番号の下に表示されているアイコンは、以下のようにスライドショーモードでの画像の設定を示しています。

アイコン	表示内容
	スライドショーで表示されます。
	スライドショーで最初に表示されます。
	スライドショーで最後に表示されます。
	スライドショーでは表示されません。
	スライドショーでは、この画像のみが表示されます。

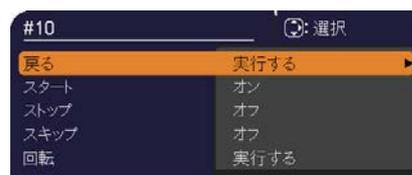
■サムネイルモードの操作

サムネイルモードでは、操作パネル、リモコン、WEB コントロールのリモートコントロールの各ボタンで以下の操作が可能です。

操作ボタン			機能
リモコン	操作パネル	Web コントロール	
▲ / ▼ / ◀ / ▶	▲ / ▼ / ◀ / ▶	▲ / ▼ / ◀ / ▶	カーソルを移動します
PAGE UP PAGE DOWN	—	PAGE UP PAGE DOWN	ページを切り替えます
ENTER	入力切替	ENTER	<ul style="list-style-type: none"> ・フォルダを選択していた場合は、フォルダを開き、フォルダ内のファイルやフォルダをサムネイル表示します。 ・サムネイル画像を選択していた場合は、画像をフルスクリーンモードで表示します。 ・画像番号を選択していた場合は、画像の設定メニューを表示します (📖 下記)。

■画像の設定メニュー

画像番号を選択して **ENTER** ボタン (または**入力切替**ボタン) を押すと、選択されていた画像の設定メニューが表示されます。画像の設定メニューでは、選択された画像の、スライドショーモードなどの表示を設定できます。



設定項目	操作内容
戻る	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。
スタート	カーソルボタン◀ / ▶でオンに設定すると、選択した画像がスライドショーの最初の画像になります。
ストップ	カーソルボタン◀ / ▶でオンに設定すると、選択した画像がスライドショーの最後の画像になります。
スキップ	カーソルボタン◀ / ▶でオンにすると、選択した画像はスライドショーモードでは表示されなくなります。
回転	カーソルボタン▶または ENTER ボタン を押すと、選択された画像が 90 度時計回りに回転します。

お知らせ

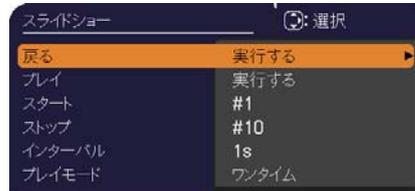
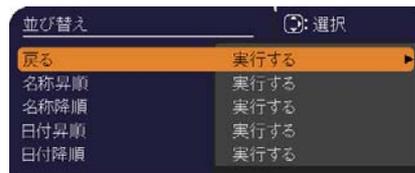
- ボタン操作、および画像の設定メニューの操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- 「スタート」、「ストップ」、「スキップ」、「回転」の設定は、プレイリスト (📖2-59) に保存されます。ただし、USB メモリが保護されているか、プレイリストが読み取り専用設定されている場合は変更できません。
- PC レス プレゼンテーション中は、**入力切替**ボタンで入力端子を切り替えることはできません。一旦本機のメニューを表示させるか、サムネイルメニュー (📖2-55) の「入力」を使用してください。

サムネイルメニュー

サムネイル画面の上下に表示される、サムネイルメニューから、PC レス プレゼンテーションを操作することができます。

カーソルボタンで各項目を選択し、**ENTER** ボタン (または**入力切替**ボタン) を押してください。

設定項目	操作内容
	上位のフォルダに移動します。
並び替え	ファイルやフォルダを並び替えます。
戻る	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。
名称昇順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、名称の昇順に並べ替えます。
名称降順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、ファイル名称の降順に並べ替えます。
日付昇順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、ファイルの日付の昇順に並べ替えます。
日付降順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、ファイルの日付の降順に並べ替えます。
▲ / ▼	ページを切り替えます。
スライドショー	スライドショーを設定、または開始します。
戻る	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すとサムネイル画面に戻ります。
プレイ	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すとスライドショーを開始します。
スタート	カーソルボタン◀ / ▶で、スライドショーを開始する画像番号を設定します。
ストップ	カーソルボタン◀ / ▶で、スライドショーを終了する画像番号を設定します。
インターバル	カーソルボタン◀ / ▶で、スライドショーでの画像 1 枚あたりの表示期間 (1s ~ 999s) を設定します。
プレイモード	カーソルボタン◀ / ▶でスライドショーの再生モードを設定します。 ■ 「ワンタイム」 : スライドショーを 1 回再生します。 ■ 「エンドレス」 : スライドショーの終了の画像を表示すると再び最初に戻り、繰り返して再生を続けます。
入力	PC レス プレゼンテーションを終了し、映像信号の入力端子を USB タイプ B 端子に切り替えます。
メニュー	本機のメニューを表示します。
USB メモリ取外し	本機から USB メモリを取り外すときに使用します。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、安全に USB メモリを取り外せるようになります。一旦「USB メモリ取外し」を実行すると、再度 USB タイプ A 端子に USB メモリを挿入するまで、本機は、USB メモリを認識しなくなります。



お守りください

- USBメモリを取り外す時は、データ保護のため、必ず先にサムネイルメニューから「USBメモリを取外し」を実行するか、本機の電源を切ってください。

お知らせ

- 「スライドショー」の、「スタート」、「ストップ」、「インターバル」、「プレイモード」の設定は、プレイリスト (図2-59) に保存されます。ただし、USBメモリが保護されているか、プレイリストが読み取り専用設定されている場合は変更できません。
- 「インターバル」を数秒間と短く設定すると、画像ファイルのサイズが大きい、画像の保存されているフォルダが深い、同じフォルダに保存された画像ファイルが多いなどの場合、ファイルの読み込みに、設定した時間より長くなる場合があります。
- ファイルに問題があり、画像が読み込めないなどの問題が発生した場合、サムネイル画像の代わりに、以下のエラーアイコンを表示します。



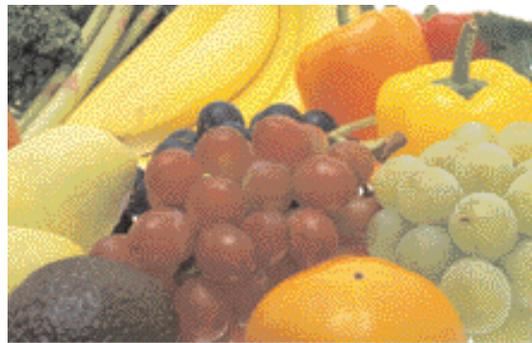
_____ ファイルが破損しているか、対応していない形式が使われています。



サムネイル画像を表示することができないファイルは、ファイル形式アイコンで表示します。

フルスクリーンモード

フルスクリーンモードでは、本機の画面いっぱいに 1 つの画像を表示します。
 フルスクリーンで表示するには、サムネイル画面で画像を選択し、**入力切替**ボタンか **ENTER** ボタンを押すか、Web コントロールのリモートコントロールで ENTER をクリックしてください



フルスクリーン表示

フルスクリーンモード

■フルスクリーンモードの操作

フルスクリーンモードでは、操作パネル、リモコン、WEB コントロールのリモートコントロールの各ボタンで以下の操作が可能です。

操作ボタン			機能
リモコン	操作パネル	Web コントロール	
▼ / ▶ / PAGE DOWN	▼ / ▶	▼ / ▶ / PAGE DOWN	次の画像を表示します。
▲ / ◀ / PAGE UP	▲ / ◀	▲ / ◀ / PAGE UP	前の画像を表示します。
ENTER	入力切替	ENTER	サムネイルモードに戻ります

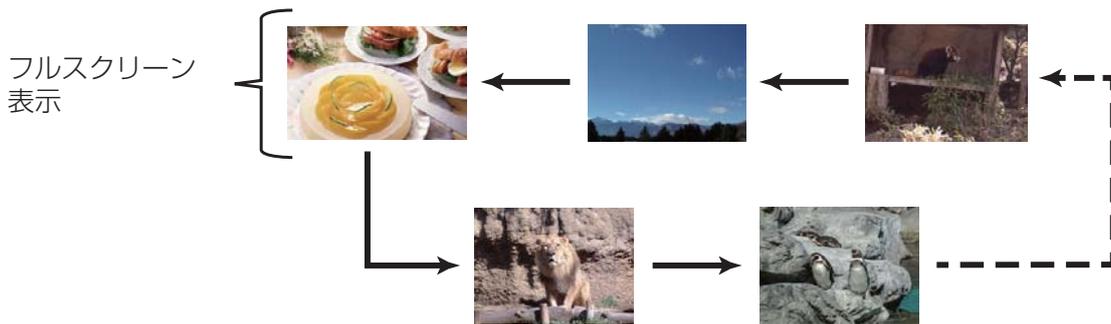
お知らせ

- 上記の操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- PC レス プレゼンテーション中は、**入力切替**ボタンで入力端子を切り替えることはできません。
一旦本機のメニューを表示させるか、サムネイルメニュー (☐2-55) の「入力」を使用してください。

スライドショーモード

スライドショーモードでは、1つのフォルダに保存された一連の画像を、フルスクリーン表示で、順ぐりに表示します。スライドショーでは、サムネイル画面で表示される、画像番号の順に画像が表示されます。スライドショーの表示設定は、サムネイルモードでの画像の設定メニュー (図2-54) またはサムネイルメニュー (図2-55)、およびプレイリスト (図2-59) から変更できます。設定は、プレイリストに保存されます。

スライドショーを開始するには、サムネイルメニューの「スライドショー」から「プレイ」を選択し、**ENTER** ボタン (または**入力切替**ボタン) を押してください。



スライドショーモード

■スライドショーモードの操作

スライドショーモードでは、操作パネル、リモコン、WEBコントロールのリモートコントロールの各ボタンで以下の操作が可能です。

操作ボタン			機能
リモコン	操作パネル	Web コントロール	
ENTER	入力切替	ENTER	サムネイルモードに戻ります

お知らせ

- 上記の操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- スライドショーは、「プレゼンテーション」メニュー (図2-43)、**マイボタン 1 / 2** (図2-28)、および Web コントロールのリモートコントロール (図3-36) から開始できます。
- PC レス プレゼンテーション中は、**入力切替**ボタンで入力端子を切り替えることはできません。一旦本機のメニューを表示させるか、サムネイルメニュー (図2-55) の「入力」を使用してください。
- 「プレイモード」 (図2-55) が「ワнтаイム」に設定されていると、スライドショーが終了すると、**ENTER** ボタン、または**入力切替**ボタンが押されるまで、最後の画像を表示し続けます。
- USB メモリが保護されているか、プレイリストが読み取り専用設定されている場合は、スライドショーの各設定は変更できません。

プレイリストについて

プレイリストは、表示される画像ファイルとその表示設定を決める、DOS 形式のテキストファイルです。プレイリストのファイル名は "playlist.txt" です。プレイリストは、PC レス プレゼンテーションを開始したとき、またはスライドショーを設定したときに選択していた画像ファイルがあるフォルダに自動的に作成されます。

プレイリスト、およびそのファイル名はコンピュータ上で編集することができます。

プレイリストの記述の順番、内容は、以下の通りです。

それぞれの情報は「:」で区切られます。また、各行の最後にも「:」が必要です。二行目以降は、1 ファイルにつき 1 行で記述します。

```

1 行目      START * :STOP * :INTERVAL * :MODE * :
2 行目      [ファイル名] : [表示期間] : [回転設定] : [スキップ] :
      :           :           :           :           :

```

START (「スタート」)、STOP (「ストップ」)、INTERVAL (「インターバル」)、MODE (「プレイモード」)、回転設定 (「回転」)、スキップ (「スキップ」) は、画像の設定メニュー (☐2-55)、またはサムネイルメニュー (☐2-55) で設定できます。

START * : スライドショーで最初に表示する画像番号を指定します。

STOP * : スライドショーで最後に表示する画像番号を指定します。

INTERVAL * : スライドショーでの画像 1 枚あたりの表示期間を、1 ~ 999(秒) の範囲で指定します。

MODE * : スライドショーの再生モードを指定します。

0 = ワンタイム 1 = エンドレス

[表示期間] : スライドショーでの表示期間を個別に指定します。

0 ~ 999900(ミリ秒) の範囲で、100 ミリ秒単位で指定します。

[回転設定] : 画像の回転を設定します。

rot1 = 時計方向に 90 度回転 rot2 = 180 度回転

rot3 = 時計方向に 270 度回転

[スキップ] : SKIP を設定すると、スライドショーで表示されません。

(プレイリストの記述例)

```
START 2: STOP 5: INTERVAL 3: MODE 0:
```

```
001.jpg : :rot1 : :    ←時計方向に 90 度回転、スライドショーでは表示されません
```

```
002.jpg :600 : : :    ←スライドショーで最初に 0.6 秒間表示されます。
```

```
003.jpg :700 :rot1 : : ←時計方向に 90 度回転、スライドショーでは 0.7 秒間表示されます。
```

```
004.jpg : : :SKIP :    ←スライドショーでは表示されません
```

```
005.jpg : :rot2 : :    ←180 度回転、スライドショーで最後に 3 秒間表示され、002.jpg に戻ります。
```

```
006.jpg :100 :rot2 : : ←スライドショーでは表示されません。
```

お知らせ

- プレイリストの 1 行に書ける文字数は、改行コードを含めて 255 文字までです。これを超えるとプレイリストは無効になり、プレイリストのエラーで表示できなくなります。
- プレイリストに登録できる画像ファイルは最大で 999 個です。999 を超える場合は、先頭から 999 個のファイルに登録します。フォルダ内にフォルダがある場合は、最大ファイル数はフォルダの数の分少なくなります。
- USB メモリが保護されているか、十分な空き容量が無い場合はプレイリストを作成できません。

USB ディスプレイ

本機は USB ケーブルを介してコンピュータの画面を本機に転送、表示することができます。

コンピュータに必要なハードおよびソフトの必要条件

USB ケーブルを介して本機に画面を送信するための最小要件は以下の通りです。

- OS : Windows® XP Home Edition / Professional Edition (32bit 版のみ)
Windows Vista® Home Basic / Home Premium / Business / Ultimate /
Enterprise (32bit 版のみ)
Windows® 7 Starter / Home Basic / Home Premium / Professional /
Ultimate / Enterprise (32bit 版のみ)
- CPU : Pentium® 4 (2.8GHz 以上)
- メモリ : 512MB 以上
- ハードディスク空き容量 : 30MB 以上
- グラフィックインタフェース: 16bit、XGA 以上
- USB(A) 端子

USB ディスプレイの開始手順

1. 本機の **USB タイプ B** 端子とコンピュータの USB(A) 端子を USB ケーブルで接続します。
2. 「その他」メニュー(☰2-25)の「USB タイプ B」(☰2-26)を「USB ディスプレイ」に設定します。
3. **USB タイプ B** 端子からの映像信号を選択してください。コンピュータが本機を CD-ROM ドライブとして認識し、本機内のアプリケーション、「LiveViewer Lite for USB」が自動的に起動してコンピュータ画面の送信を開始します。
"LiveViewer Lite for USB" が起動すると、コンピュータのタスクトレイに右のようなアイコンが表示されます。



お知らせ

- "LiveViewer Lite for USB" が自動的に起動しない場合は、以下の手順に従ってください。
 - 1) [スタート]メニューから、[ファイル名を指定して実行]を選択します。
 - 2) F: ¥LiveViewerLiteUSB.exe と入力し、[OK]をクリックします。
↑ コンピュータで CD-ROM ドライブが F ドライブでない場合は、F の代わりに CD-ROM ドライブに割り当てられているドライブ文字を入力してください。
- スクリーンセーバー動作中は、「LiveViewer lite for USB」が自動的に起動しません。
- パスワード保護のかかったスクリーンセーバーが働くと、本機へのコンピュータ画面の送信は停止します。送信を再開するには、スクリーンセーバーを終了させてください。
- "LiveViewer Lite for USB" は、日立のホームページで最新版を入手してください。
日立ホームページ URL: <http://www.hitachi.co.jp/proj/>
ホームページ内のアップデートに関する指示に従って、インストールしてください。
- "LiveViewer Lite for USB" は、「LiveViewer」実行中は起動できません。「LiveViewer」実行中に USB ディスプレイを開始しようとすると、コンピュータ画面に右のメッセージが表示されます。
- USB ケーブルが接続されているにもかかわらず「接続待ち状態です。」表示が続く場合には、USB ケーブルを一度抜いて、しばらくしてから再度接続し直して下さい。



お知らせ

- 右クリックメニュー以外でも、以下の方法で "LiveViewer Lite for USB" を終了することができます。
 - ・ USB ケーブルを外す。
 - ・ 映像入力端子を切り替える。
 - ・ 「その他」メニュー (☐2-25) の 「USB タイプ B」 (☐2-26) を 「マウス」 に設定する。
- "LiveViewer Lite for USB" を再起動するには、USB ケーブルを外して再度接続するか、映像入力端子を一度切り替えて再度 **USB タイプ B** 端子を選択してください。
- ご使用のコンピュータにインストールされているソフトウェアによっては、"LiveViewer Lite for USB" でコンピュータ画面を転送できないことがあります。
- ファイアウォール機能を備えたアプリケーションをインストールされている場合は、アプリケーションソフトウェアの説明書に従ってファイアウォールの設定を解除してください。
- セキュリティソフトの種類によっては、画面の送信がブロックされることがあります。その場合は、"LiveViewer Lite for USB" の使用を許可するよう、セキュリティソフトの設定を変更してください。
- **USB タイプ B** 端子から音声信号を選択しているときに、プロジェクターで音量 (設定) を最大まで上げてはまだ音量が小さい場合は、ご使用のコンピュータから音声が出力されているか確認したうえで、コンピュータの音量を上げてください。
- **HDMI** 端子の搭載されたコンピュータをご使用の場合、USB ディスプレイ表示中に HDMI ケーブルの挿入 / 抜去を行うと、コンピュータのオーディオ設定が変更され、音声の乱れや途切れが発生する場合があります。その場合は USB ディスプレイを再起動してください。
- USB ディスプレイ表示中に LAN (無線もしくは有線) に LiveViewer 接続を行うと画像や音声の途切れが発生することがあります。特に複数台のコンピュータを LiveViewer 接続する場合には、上記のパフォーマンス低下が目立つことがあります。

右クリックメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると右のようなメニューが表示されます。

表示 : フローティングメニューを表示します。タスクトレイのアイコンは表示されなくなります。

終了 : "LiveViewer Lite for USB" を終了します。



お知らせ

- 右クリックメニュー以外でも、以下の方法で"LiveViewer Lite for USB"を終了することができます。
 - ・USB ケーブルを外す。
 - ・映像入力端子を切り替える。
 - ・「その他」メニュー (☞2-25) の「USB タイプ B」 (☞2-26) を「マウス」に設定する。

フローティングメニュー

右クリックメニューで「表示」を選択すると、右のようなフローティングメニューが表示されます。

(1) キャプチャ開始ボタン

本機へのコンピュータ画面の送信を開始します。
画面の送信を開始すると、停止ボタンに変化します。

(2) 停止ボタン

コンピュータ画面の送信を停止します。画面の送信を停止すると、キャプチャ開始ボタンに変化します。

(3) 一時停止ボタン

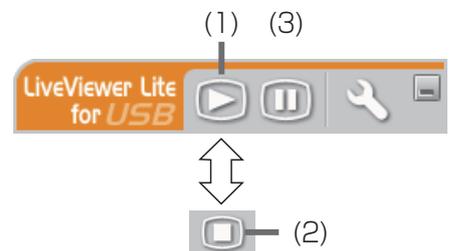
コンピュータ画面の送信を一時停止し、本機の投写画面を静止させます。
コンピュータ上での作業を、本機の画面に表示させたくない場合などに便利です。

(4) オプションボタン

オプションメニューを表示します。(☞2-63)

(5) 最小化ボタン

フローティングメニューを閉じ、コンピュータのタスクトレイにアイコンで表示します。



お知らせ

- キャプチャ開始ボタンと停止ボタンを頻繁にクリックすると、画面が正常に表示されなくなることがありますので、おやめください。

オプションメニュー

フローティングメニューのオプションボタンをクリックすると、オプションメニューが表示されます。

(1) “画質優先モード設定”

“LiveViewer Lite for USB” は、キャプチャしたコンピュータ画面を JPEG データとして本機に送信しています。

JPEG データの圧縮率が異なる以下の2つのモードを切り替えて、画質、あるいは画面の更新スピードのどちらを優先するかを選択することができます。

“スピード優先”：

JPEG データの圧縮率を高く設定します。

画面の更新間隔を短くできますが、画質は劣化します。

“画質優先”：

JPEG データの圧縮率を低く設定します。画質を良くできますが、画面の更新間隔が長くなります。

(2) 解像度変更しない

チェックボックスを外すと、コンピュータの画面の解像度は以下のように変更され、画面の転送速度が速くなります。

<CPX10WNJ, CPX11WNJ> : 1024 × 768 (XGA)

<CPWX12WNJ> : 1280 × 800 (WXGA)

なお、上記の解像度をサポートしていないコンピュータをご使用の場合は、サポートしている解像度のうちで上記に近い解像度に変更されます。

(3) サウンド

音声のオン/オフを切り替えます。映像と一緒に転送されてくる音声を再生すると、画質が落ちることがあります。画質を優先する場合は、チェックボックスのチェックを外し、音声を切ってください。

(4) LiveViewer Lite for USB の表示

LiveViewer のアプリケーションウィンドウを表示したい場合は、ボックスをチェックしてください。



お知らせ

- このオプションがオフの時は、注釈レイヤーはプロジェクター画像に表示されません。

(5) バージョン情報

“LiveViewer Lite for USB” のバージョン情報を表示します。

お知らせ

- コンピュータの解像度を変えるとデスクトップのアイコンの配置が変わることがあります。

取扱説明書 - 詳細版 -

液晶プロジェクター

CPX10WNJ / CPX11WNJ / CPWX12WNJ

(形名: CPX10WN / CPX11WN / CPWX12WN)

【ネットワーク編】

このネットワーク編では、本製品のネットワーク機能について説明します。



警告

ご使用前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ



1. 主な機能	3 - 2	4.1.13 ネットワークリスタート	3 - 38
2. ネットワークへの接続	3 - 3	4.2 Crestron e-Control [®]	3 - 39
2.1 必要なシステム環境について	3 - 3	4.2.1 Main 画面	3 - 40
2.2 必要ハードウェアおよび ソフトウェアについて	3 - 3	4.2.2 Tools	3 - 42
2.3 ネットワーク接続の設定 - 有線 LAN	3 - 4	4.2.3 Info 画面	3 - 44
2.3.1 機器を接続する	3 - 4	4.2.4 Help Desk 画面	3 - 45
2.3.2 ネットワーク設定方法	3 - 4	4.2.5 緊急障害	3 - 46
2.3.3 インターネットオプションの設定	3 - 7	5. マイイメージ	3 - 47
2.4 ネットワーク接続の設定 - 無線 LAN	3 - 8	6. メッセンジャー	3 - 48
2.4.1 機器を接続する	3 - 8	7. ネットワークブリッジ	3 - 49
2.4.2 無線 LAN の接続設定	3 - 9	7.1 機器の接続	3 - 49
3. ネットワークプレゼンテーション	3 - 13	7.2 通信設定	3 - 50
4. Web コントロール	3 - 14	7.3 通信ポート	3 - 50
4.1 プロジェクター Web コントロール	3 - 15	7.4 通信方式	3 - 51
4.1.1 ログオン	3 - 15	7.4.1 半二重通信	3 - 51
4.1.2 ネットワークインフォメーション	3 - 16	7.4.2 全二重通信	3 - 52
4.1.3 ネットワーク設定	3 - 17	8. その他の機能	3 - 53
4.1.4 ポート設定	3 - 20	8.1 電子メール機能による自動通知	3 - 53
4.1.5 メール設定	3 - 22	8.2 SNMP による自動通知	3 - 54
4.1.6 障害通知設定	3 - 23	8.3 スケジュール機能	3 - 55
4.1.7 スケジュール設定	3 - 25	8.4 ネットワークによるコマンド制御	3 - 57
4.1.8 日付 / 時刻設定	3 - 27	8.5 Crestron RoomView [®]	3 - 61
4.1.9 セキュリティ設定	3 - 29	9. トラブルシューティング	3 - 62
4.1.10 プロジェクター制御	3 - 30		
4.1.11 リモートコントロール	3 - 36		
4.1.12 プロジェクター状態	3 - 37		

1. 主な機能

■ネットワークプレゼンテーション

本機をネットワークに接続すると、わずらわしい映像信号のケーブルを使わずに、プレゼンテーションが可能です。"LiveViewer" を使用して、コンピュータの画面をキャプチャし、ネットワークを介して本機に送信、表示することができます。(図3-13)。

■Web コントロール

ネットワークで接続したコンピュータの Web ブラウザを使用して、本機を制御したり、各種設定の確認や変更をすることが出来ます (図3-14)。

■マイ イメージ

静止画像をネットワーク経由で本機に4つまで転送、マイ イメージとして登録し、1つずつ表示させることができます (図3-47)。

■メッセージャー

テキストデータをネットワーク経由で本機に転送し、表示させることができます。また、あらかじめ本機に転送・登録された最大 12 のテキストデータから、選択して1つずつ表示させることもできます (図3-48)。

■ネットワークブリッジ

本機は、ネットワークプロトコルとシリアルインタフェースの相互変換を行う、ネットワークブリッジ機能に対応しています。本機とイーサネットに接続したコンピュータから、本機を経由して、本機と RS-232C に接続した外部機器をネットワーク端末と同様に制御することができます (図3-49)。

お知らせ

- 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複製、転載しないでください。

2. ネットワークへの接続

2.1 必要なシステム環境について

本機をネットワークに接続するには、以下のものがが必要です。

■液晶プロジェクター（本機）：1台

■コンピュータ：最低1台

■ネットワークの接続方法により、必要な機器が異なります。以下の説明に従って必要な機器をご用意ください。

1) 有線接続の場合 *1

LAN ケーブル (CAT-5 以上) : 1 つ

2) 無線接続の場合 *2

– プロジェクター側

IEEE802.11b/g/n USB 無線アダプター (オプション品 : USB-WL-11N) : 1 つ

– コンピュータ側

IEEE802.11 b/g/n 無線 LAN 機器 : 各コンピュータに 1 台 *3

*1: プロジェクターのネットワーク機能を使用するためには、100Base-TX または 10Base-T に準拠した通信環境が必要です。

*2: 無線 LAN 接続をインフラストラクチャモードで使用するには、無線 LAN アクセスポイントが必要です。

*3: コンピュータに無線 LAN 機能が搭載されていても、本機と、一部の無線 LAN モジュールやコンピュータとの間で正常に通信できない場合があります。通信問題の発生を防ぐために、Wi-Fi 認定の無線 LAN モジュール/アダプタをご使用ください。

2.2 必要ハードウェアおよびソフトウェアについて

プロジェクタにご使用のコンピュータを接続し、ネットワーク機能を使用するには、コンピュータに以下の条件が必要です。

- OS : Windows® XP Home / Professional Edition
Windows Vista® Home Basic / Home premium / Business / Ultimate / Enterprise / Windows® 7 Starter / Home Basic / Home Premium / Professional / Ultimate / Enterprise
- CPU : Pentium® 4 (2.8GHz 以上)
- グラフィックインタフェース : 16bit、XGA 以上

"LiveViewer" を使用する際には、コンピュータ画面の解像度を 1024 x 768 に設定することをお勧めします。

- メモリ : 512MB 以上
- ハードディスク空き容量 : 100MB 以上
- Web ブラウザ : Internet Explorer® 6.0 以降
- CD-ROM ドライブ
- LAN インタフェース : 100Base-TX または、10Base-T 対応

お知らせ

- プロジェクターの「スタンバイモード」の設定が「省電力」に設定されていると、プロジェクターがスタンバイ状態の間はネットワークの通信制御ができなくなります。「スタンバイモード」の設定を「通常」に設定した後で、ネットワークの接続を行ってください。

2.3 ネットワーク接続の設定 - 有線 LAN-

2.3.1 機器を接続する

この項では、有線 LAN 接続を手動で設定する方法について説明します。

有線 LAN の接続手順

1. 本機の LAN 端子とコンピュータを LAN ケーブルで接続してください (図 1-20)。
2. 次項の「ネットワーク設定方法」、および「インターネット オプションの設定」にしたがって、コンピュータのネットワーク設定を行ってください。
3. 最後に、本機の電源を入れ (図 1-27)、「接続の確認」にしたがって、ネットワークの接続確認をしてください。

お知らせ

- 既存のネットワークに接続する際は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

2.3.2 ネットワーク設定方法

Windows[®] 7 を使用した場合のネットワーク接続の設定方法について説明します。

- 1) 管理者権限で Windows[®] 7 にログオンします。管理者権限とは、コンピュータのすべての機能にアクセスできる権限のことをいいます。
- 2) [スタート] メニューから“コントロールパネル”を開きます。
- 3) ネットワークとインターネットの [ネットワークの状態とタスクの表示] を開きます。“コントロールパネル”をアイコンで表示している場合は、“ネットワークと共有センター”をクリックしてください。

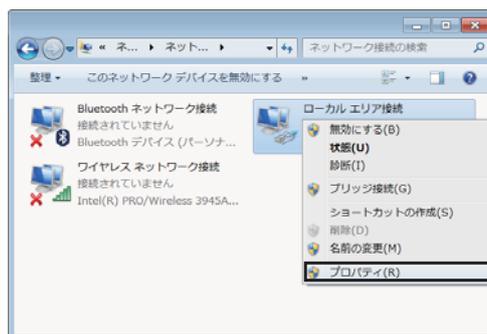


- 4) “ネットワークと共有センター” ウィンドウの左側にあるメニューから、“アダプターの設定と変更”を選択してください。

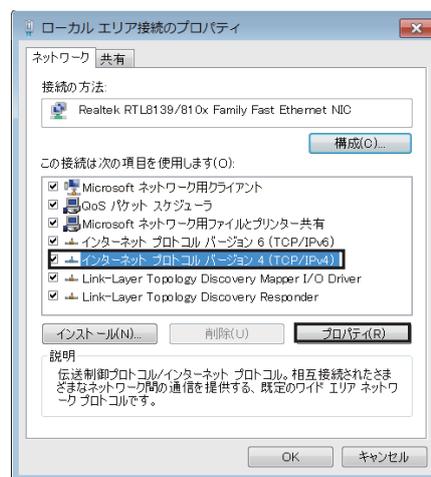


2.3 ネットワーク接続の設定 - 有線 LAN- (つづき)

- 5) "ローカルエリア接続" を右クリックして、右クリックメニューを開き、"プロパティ" を選択してください。

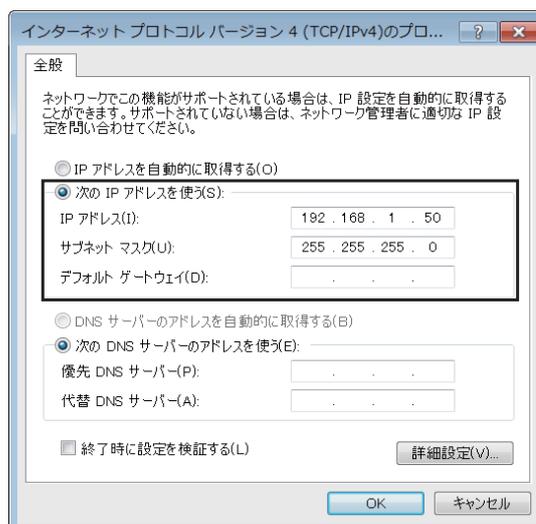


- 6) "インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)" を選択し、[プロパティ] をクリックします。



ネットワーク編

- 7) "次の IP アドレスを使う" を選択し、コンピュータの "IP アドレス"、"サブネットマスク"、"デフォルトゲートウェイ" を設定してください。ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合は、"IP アドレスを自動的に取得する" を選択することで、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。設定し終わったら、[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



2.3 ネットワーク接続の設定 - 有線 LAN- (つづき)

[IP アドレスについて]

■手動設定

コンピュータに設定する IP アドレスのネットワークアドレス部分、およびサブネットマスクは、本機と同じとなるようにしてください。ただし、コンピュータの IP アドレス全体が、本機を含む他のネットワーク機器と同じになるようには設定しないでください。

たとえば、本機の有線 LAN 設定が次のようになっている場合。

IP アドレス : 192.168.1.254 サブネットマスク : 255.255.255.0

このときのネットワークアドレスは、IP アドレスの下線部分、“192.168.1”です。

コンピュータの IP アドレスのネットワークアドレス部分とサブネットマスクは、本機と同じになるよう、次のように指定します。

IP アドレス : 192.168.1.xxx サブネットマスク : 255.255.255.0

IP アドレスの“xxx”部分には、本機を含め、他のネットワーク機器と重複しない 1 ~ 253 の数値 (10 進数) を指定します。

お知らせ

- 既存のネットワークに接続する際は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。
- IP アドレスに "0.0.0.0" は設定できません。
- 本機の有線 LAN IP アドレスは、「ネットワーク」メニューの「有線 LAN インフォメーション」(☞2-40) から確認できます。また、「ネットワーク」メニューの「有線 LAN 設定」 - 「IP ADDRESS」(☞2-39, 40)、あるいは Web ブラウザを使用して変更することができます (☞3-14)。
- 本機とコンピュータが異なるネットワーク上にある場合は、デフォルト ゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

■自動設定

接続しているネットワーク内に DHCP サーバが存在する場合は、コンピュータとプロジェクターに、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。

※ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバーは、機器に対して、IP アドレスなどの必要なネットワーク設定を行います。

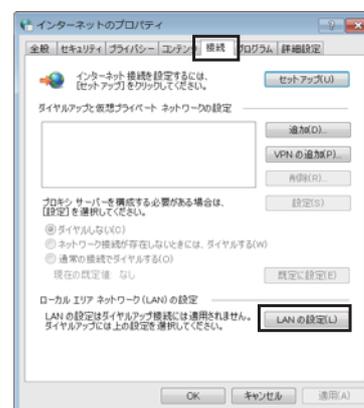
2.3 ネットワーク接続の設定 - 有線 LAN- (つづき)

2.3.3 インターネットオプションの設定

- 1) "ネットワークと共有センター"のウィンドウで,"インターネット オプション"を選択し,"インターネットのプロパティ"ウィンドウを開きます。

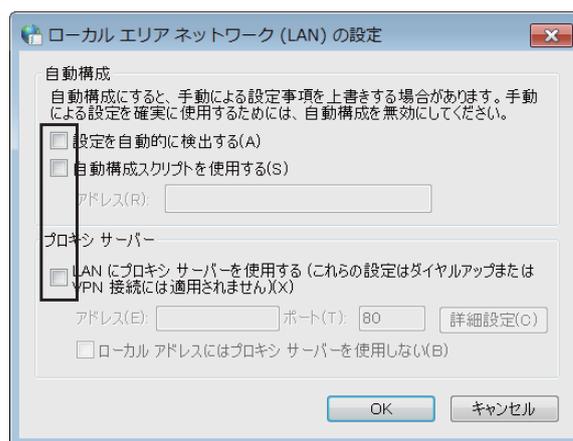


- 2) "接続"タブで,[LAN の設定] をクリックし,"ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定"のウィンドウを開きます。



ネットワーク編

- 3) "ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定"のウィンドウで、すべてのボックスのチェックを外します。設定し終わったら、[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



2.4 ネットワーク接続の設定 - 無線 LAN-

2.4.1 機器を接続する

この項では無線 LAN を手動で設定してネットワークに接続する方法を説明します。指定の USB 無線アダプターを使用して、プロジェクターとコンピュータ間を Ad-Hoc、および Infrastructure の各モードで通信することができます。

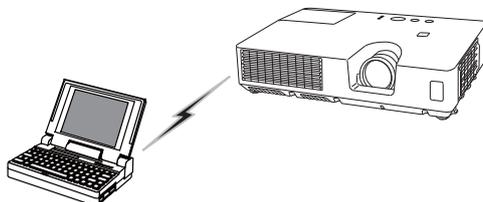


図 1.4.1a アクセスポイントを使用しない通信 (Ad-Hoc)

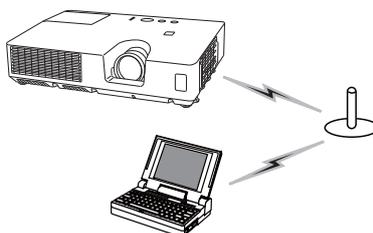


図 1.4.1.b アクセスポイントを使用した通信 (Infrastructure)

Ad-Hoc モードは、通信用のアクセスポイントを必要としない無線 LAN の接続制御方式です。Infrastructure モードは、通信用のアクセスポイントを必要とする無線 LAN の接続制御方式で、このモードのほうが多数の機器を接続する場合に便利です。

お知らせ

- 既存のネットワークに接続する際は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

はじめに、USB 無線アダプターをプロジェクターの USB タイプ A 端子に挿入してください。そのあと、コンピュータの無線接続の設定を行います。

IEEE802.11 b/g/n の無線 LAN モジュール / アダプターがコンピュータに搭載されている場合は、これを有効にし、他のネットワークデバイス無効にします。無線 LAN モジュール / アダプターがご使用のコンピュータには搭載されていない場合は、IEEE802.11 b/g/n の無線 LAN モジュール / アダプターを接続し、デバイスドライバをインストールしてください。

詳細は、ご使用のコンピュータと無線 LAN モジュール / アダプターのマニュアルをご参照ください。

2.4 ネットワーク接続の設定 - 無線 LAN- (つづき)

2.4.2 無線 LAN の接続設定

Windows® 7 を使用する場合の、無線 LAN 接続の設定方法について説明します。ここでは、本機が初期設定である場合を説明します。アクセスポイントやデータ暗号化を使用する場合は、設定方法が異なります。詳細は、コンピュータと無線 LAN モジュール/アダプターの取扱説明書を参照してください。本機の無線 LAN 初期設定は次のようになっています。

接続制御：Ad-Hoc

SSID：wireless

チャンネル：1ch

データの暗号化：無効

通信速度：オート

IP アドレス：192.168.10.254

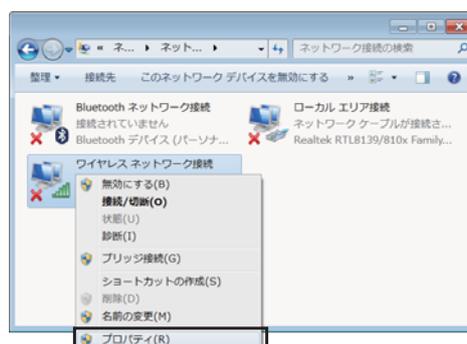
お知らせ

- この設定は、「ネットワーク」メニューの「無線 LAN 設定」、あるいは Web ブラウザを使用して変更することができます。(P2-34 ~ 37)

- 1) "ネットワークと共有センター" のウィンドウで、"インターネット オプション" を選択し、"インターネットのプロパティ" ウィンドウを開きます。

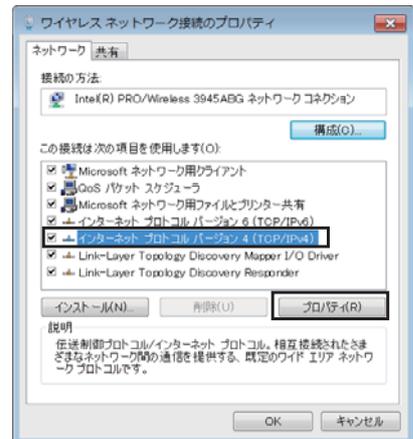


- 2) "ワイヤレスネットワーク接続" を右クリックして右メニューを開き、プロパティを選択してください。

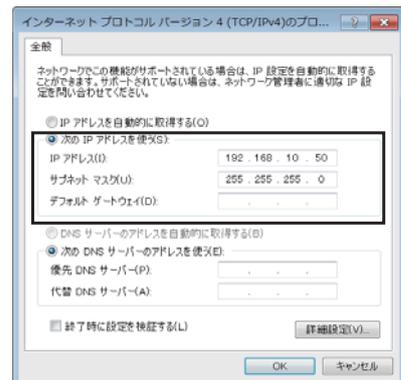


2.4 ネットワーク接続の設定 - 無線 LAN- (つづき)

3) "インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)"を選択し、[プロパティ]をクリックします。



4) " 次の IP アドレスを使う " を選択し、コンピュータの "IP アドレス"、" サブネットマスク "、" デフォルトゲートウェイ " を設定してください。ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合は、"IP アドレスを自動的に取得する" を選択することで、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。設定し終わったら、[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



[IP アドレスについて]

■手動設定

コンピュータに設定する IP アドレスのネットワークアドレス部分、およびサブネットマスクは、本機と同じとなるようにしてください。ただし、コンピュータの IP アドレス全体が、本機を含む他のネットワーク機器と同じになるようには設定しないでください。

たとえば、本機の無線 LAN 設定が次のようになっている場合。

IP アドレス : 192.168.10.254 サブネットマスク : 255.255.255.0

このときのネットワークアドレスは、IP アドレスの下線部分、“192.168.10”です。コンピュータの IP アドレスのネットワークアドレス部分とサブネットマスクは、本機と同じになるよう、次のように指定します。

IP アドレス : 192.168.10.xxx サブネットマスク : 255.255.255.0

IP アドレスの“xxx”部分には、本機を含め、他のネットワーク機器と重複しない 1 ~ 253 の数値 (10 進数) を指定します。

お知らせ

- 既存のネットワークに接続する際は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。
- IP アドレスに "0.0.0.0" は設定できません。
- 本機の無線 LAN IP アドレスは、「ネットワーク」メニューの「無線 LAN インフォメーション」(☞2-38) から確認できます。また、「ネットワーク」メニューの「無線 LAN 設定」 - 「IP ADDRESS」(☞2-34 ~ 37)、あるいは Web ブラウザを使用して変更することができます (☞3-14)。
- 本機とコンピュータが異なるネットワーク上にある場合は、デフォルト ゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

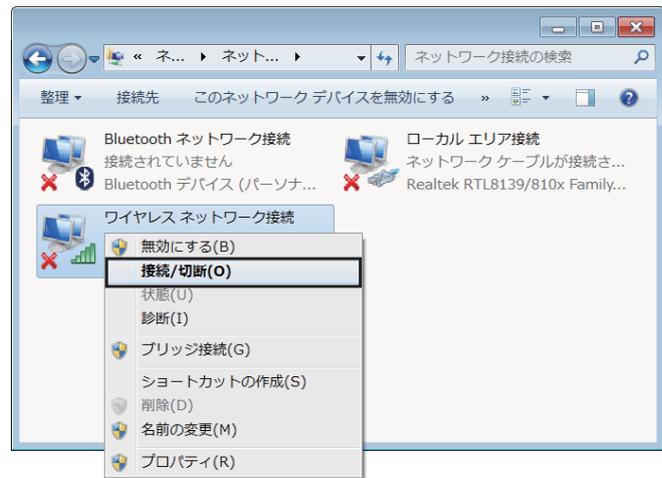
■自動設定

接続しているネットワーク内に DHCP サーバが存在する場合は、コンピュータとプロジェクターに、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。

※ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバーは、機器に対して、IP アドレスなどの必要なネットワーク設定を行います。

2.4 ネットワーク接続の設定 - 無線 LAN- (つづき)

5) "ワイヤレスネットワーク接続" を右クリックし、接続 / 切断を選択します。



6) 接続可能なネットワークからプロジェクターの SSID(デフォルト "wireless")を選択してください。暗号方式が有効の場合は、暗号キーの入力を求めるウィンドウが表示されます。設定した暗号キーを入力してください。

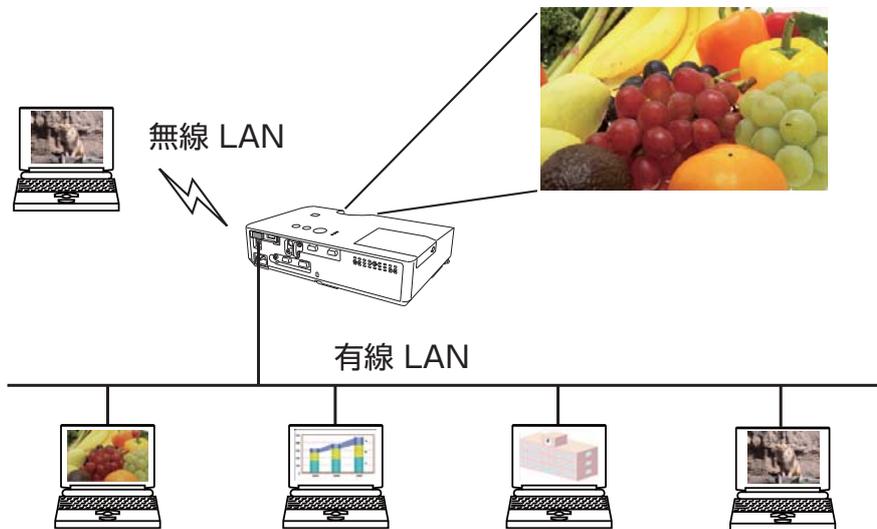


7) 接続が成功すると、SSID の横に "接続" と表示されます。



3. ネットワークプレゼンテーション

ネットワーク経由で転送されたコンピュータ画面と音声をプロジェクターで表示再生することができます。このネットワークプレゼンテーション機能は、プレゼンテーションおよび会議を円滑にするのに有効です。



ネットワークプレゼンテーションには、専用のアプリケーション、「LiveViewer」が必要です。付属品 CD-ROM「Wireless & Network Software」からインストールしてください。また、最新バージョンの「LiveViewer」は、日立のホームページからダウンロードできます。

日立ホームページ URL: <http://www.hitachi.co.jp/proj/>

ネットワークプレゼンテーションの詳細と「LiveViewer」のインストール方法は、付属品 CD-ROM「Wireless & Network Software」内の「LiveViewer」のマニュアルをご参照ください。

4. Web コントロール

ネットワークで接続したコンピュータから、Web ブラウザを使用して本機の状態確認、設定、制御を行うことができます。

お知らせ

- Internet Explorer® 6.0 以降のバージョンが必要です。
- Web ブラウザの設定で、JavaScript® を有効にしてください。JavaScript® が無効になっていると、Web コントロールの画面が正しく表示されないことがあります。JavaScript® を有効にする方法については、Web ブラウザのヘルプをご覧ください。
- Web ブラウザの更新プログラムは、すべて適用してください。
- 無線 LAN と有線 LAN から同時にデータが送信された場合、プロジェクターがデータを正常に処理削除できないことがあります。

Web ブラウザを使用してプロジェクターの制御あるいは設定を行う場合は、以下の説明に従って操作してください。

コンピュータとプロジェクターがネットワークで接続されていることを確認し、Web ブラウザを起動してください。以下の例のように、プロジェクターの IP アドレスを Web ブラウザの URL 入力ボックスに入力し、ENTER キーを押すか、あるいは  をクリックしてください。

例：本機の IP アドレスが "192.168.1.10" の場合、

Web ブラウザの URL 入力ボックスに

URL: `http://192.168.1.10/` を入力し、ENTER キーを押すか、あるいは  をクリックしてください。

正しい URL が入力され、プロジェクターと

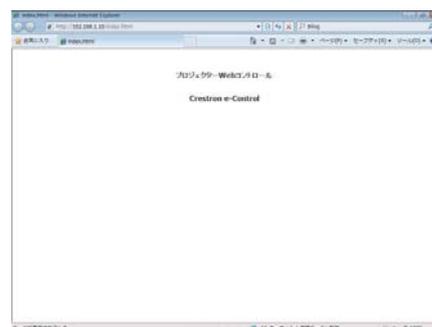
ご使用のコンピュータが正しくネットワークで

接続されていれば、右図のような選択画面が表示されます。

プロジェクター制御用ツールとして、

プロジェクター WEB コントロールと、

Crestron e-Control® のどちらかを選択してご使用になれます。



詳細は、4.1 プロジェクター Web コントロール (📖3-15) もしくは
4.2 Crestron e-Control® (📖3-39) を参照してください。

お知らせ

- プロジェクター Web コントロールで Crestron e-Control の設定が無効に設定されていると、上図のような選択画面は表示されず、プロジェクター Web コントロールのログオン画面が表示されます。
- Crestron e-Control® は、Flash® が使われています。Crestron e-Control® を使用するには、お使いのコンピュータに Adobe® Flash® Player がインストールされている必要があります。

4.1 プロジェクター Web コントロール

4.1.1 ログオン

プロジェクター Web コントロールを使用するには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

パスワードの初期設定は下表の通りです。

ユーザー名	パスワード
Administrator	(工場出荷時は設定されていません)



ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。
ログオンが成功すると、下図の画面が表示されます。



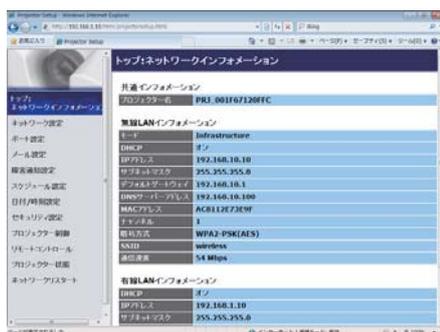
画面左側のメインメニューから 設定・操作したいメニュー項目を選んでください。

お知らせ

- プロジェクター Web コントロールの画面は、本機の言語設定と同じ言語で表示されます。プロジェクター Web コントロール画面の表示言語を変更するには、本機の「簡単」メニュー (P.2-4) または「詳細」メニューの「スクリーン」メニュー (P.2-20) から「表示言語」を変更するか、プロジェクター Web コントロール「プロジェクター制御」 - 「スクリーン」で表示言語 (P.3-33) を変更してください。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.2 ネットワークインフォメーション



ネットワークインフォメーションでは、本機の現在のネットワークの設定を表示します。

項目	説明
共通インフォメーション	無線 LAN と有線 LAN で共通の情報を表示します。
プロジェクター名	本機に登録されたプロジェクター名です。
無線 LAN インフォメーション	本機の無線 LAN 設定を表示します。
モード	本機の無線接続モードを表示します。
DHCP	本機の DHCP 設定です。
IP アドレス	本機の IP アドレスです。
サブネットマスク	本機のサブネットマスクです。
デフォルトゲートウェイ	本機のデフォルトゲートウェイです。
DNS サーバーアドレス	DNS サーバーのアドレスです。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスです。
チャンネル	無線接続に使用するチャンネルです。
暗号方式	本機の暗号方式設定です。
SSID	本機の使用している SSID です。
通信速度	無線 LAN 通信速度を表示します。
有線 LAN インフォメーション	本機の有線 LAN 設定を表示します。
DHCP	本機の DHCP 設定です。
IP アドレス	本機の IP アドレスです。
サブネットマスク	本機のサブネットマスクです。
デフォルトゲートウェイ	本機のデフォルトゲートウェイです。
DNS サーバーアドレス	DNS サーバーのアドレスです。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスです。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.3 ネットワーク設定



本画面では、本機のネットワークの設定を行います。

項目	説明
共通設定	無線 LAN と有線 LAN で共通の機能の設定を行います。
プロジェクト名	プロジェクト名を設定します。 最大 64 文字まで設定できます。使用できるのは、英数字、スペース、および以下の記号のみで、全て半角で入力してください。 !"# \$% &'()*+,-./:;<=>?@ [¥]^_`{ }~
sysLocation (SNMP)	SNMP 使用時に参照する設置場所情報を入力します。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。
sysContact (SNMP)	SNMP 使用時に参照する連絡先情報を入力します。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。
AMX D.D. (AMX Device Discovery)	「AMX デバイスディスカバリー」の設定を行います。 この設定により「AMX コントローラ」がネットワークを介して本機を検出することができるようになります。「AMX デバイスディスカバリー」についての詳細は、AMX のホームページ URL: http://www.amx.com をご覧ください。

ネットワーク編

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.3 ネットワーク設定 (つづき)

項目	説明									
無線 LAN 設定	本機の無線 LAN 設定を行います。									
モード	“Ad-Hoc” もしくは “Infrastructure” を選択します。									
IP 設定	ネットワーク設定を行います。									
DHCP オン	DHCP を有効にします。									
DHCP オフ	DHCP を無効にします。									
IP アドレス	DHCP を無効にしたときの IP アドレスを設定します。									
サブネットマスク	DHCP を無効にしたときのサブネットマスクを設定します。									
デフォルトゲートウェイ	DHCP を無効にしたときのデフォルトゲートウェイを設定します。									
DNS サーバーアドレス	DNS サーバーのアドレスを設定します。									
チャンネル	Ad-Hoc モードで使用するチャンネルを、1～11の間で選択します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">お知らせ</p> <p>●日本国内で使用できるチャンネルは、1～11です。また、規格によってはご利用のコンピュータに、別途ワイヤレスネットワークカードが必要になる場合があります。</p> </div>									
暗号方式	暗号方式を選択します。									
WEP キー	WEP キーを設定します。 WEP キーには、ASCII 文字、または 16進数を (選択して) 使用できます。選択した暗号方式または使用する文字方式によって下表のように設定できる文字の長さが異なります。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>暗号方式</th> <th>ASCII 文字</th> <th>16進数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WEP 64bit</td> <td>5 文字</td> <td>10 文字</td> </tr> <tr> <td>WEP 128bit</td> <td>13 文字</td> <td>26 文字</td> </tr> </tbody> </table>	暗号方式	ASCII 文字	16進数	WEP 64bit	5 文字	10 文字	WEP 128bit	13 文字	26 文字
暗号方式	ASCII 文字	16進数								
WEP 64bit	5 文字	10 文字								
WEP 128bit	13 文字	26 文字								
WPA パスフレーズ	WPA パスフレーズを設定します。 8～63文字の間で設定することができます。 使用できるのは、英数字、スペース、および以下の記号のみで、全て半角で入力してください。 !"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{ }~									
SSID	リストより SSID を選択します。 独自で任意の SSID を設定する場合は “カスタム” を選択し、入力ボックスに設定する SSID を入力してください。SSID は最大 32 文字まで設定できます。使用できるのは、英数字、スペース、および以下の記号のみで、全て半角で入力してください。 !"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{ }~									

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.3 ネットワーク設定 (つづき)

項目	説明
有線 LAN 設定	本機の有線 LAN 設定を行います。
IP 設定	ネットワーク設定を行います。
DHCP オン	DHCP を有効にします。
DHCP オフ	DHCP を無効にします。
IP アドレス	DHCP を無効にしたときの IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	DHCP を無効にしたときのサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	DHCP を無効にしたときのデフォルトゲートウェイを設定します。
DNS サーバーアドレス	DNS サーバーのアドレスを設定します。
その他の設定	その他の設定を行います。
Crestron e-Control	Crestron e-Control [®] の有効 / 無効を設定します。 無効を選択すると、Web コントロールの最初に選択画面が表示されず、プロジェクター Web コントロールのログオン画面が表示されます。

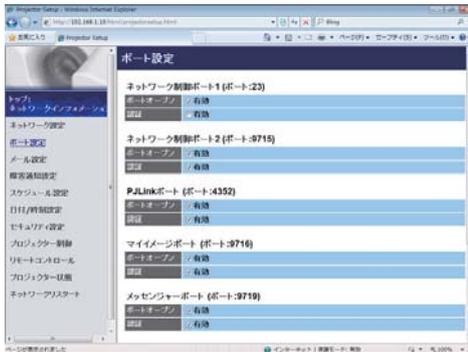
[適用] ボタンをクリックし、設定を保存してください。

お知らせ

- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (☞3-38)。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。
- WEP キー、WPA パスフレーズおよび SSID に無効な文字を使用した場合は、設定できません。
- プロジェクターは、無線 LAN と有線 LAN 両方で、同じネットワークに接続することはできません。無線 LAN と有線 LAN で、同じネットワークアドレスを設定しないでください。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.4 ポート設定



“ポート設定” では、通信ポートの設定を行います。

項目	説明
ネットワーク制御ポート1 (ポート: 23)	ネットワーク制御ポート1 (ポート:23) の設定を行います。
ポートオープン	ポート:23 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
ネットワーク制御ポート2 (ポート: 9715)	ネットワーク制御ポート2 (ポート:9715) の設定を行います。
ポートオープン	ポート:9715 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
PJLink™ ポート (ポート: 4352)	PJLink™ ポート (ポート:4352) の設定を行います。
ポートオープン	ポート:4352 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
マイイメージポート (ポート: 9716)	マイイメージポート (ポート:9716) の設定を行います。
ポートオープン	ポート:9716 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
メッセージャーポート (ポート: 9719)	メッセージャーポート (ポート:9719) の設定を行います。
ポートオープン	ポート:9719 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.4 ポート設定 (つづき)

項目	説明
SNMP ポート	SNMP ポートの設定を行います。
ポートオープン	SNMP を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
トラップアドレス	SNMP トラップ宛先の IP アドレスを設定します。 “ネットワーク設定” の画面で、DNS サーバーのアドレスを設定していれば、IP アドレスだけでなく、ドメイン名もお使い頂けます。ホストまたはドメイン名は半角英数字と “-” (ハイフン)、“.” (ピリオド) の記号で 255 文字まで入力できます。
MIB ファイルのダウンロード	本機から MIB ファイルをダウンロードすることができます。
ネットワークブリッジポート	ネットワークブリッジポートの設定を行います。
ポート番号	ネットワークブリッジポートの番号を設定します。 1024 ~ 65535 のうち、4352、5500、5900、9715、9716、9719、9720、41794 以外の番号を設定してください。 初期設定では 9717 が設定されています。

[適用] ボタンをクリックし、設定を保存してください。

お知らせ

- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (図3-38)。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.5 メール設定



"メール設定" では、"障害通知設定" で指定された、各エラー／警告の通知を行うための電子メールの設定を行います。

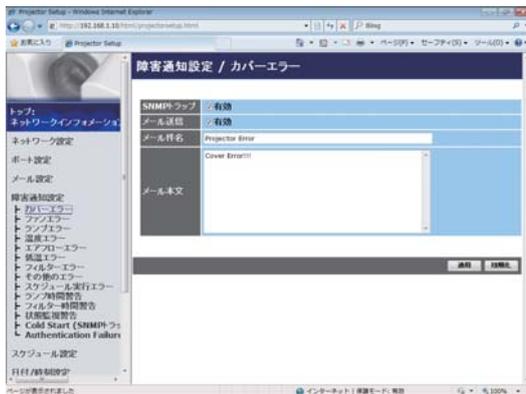
項目	説明
メール送信	電子メール機能を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。電子メールの送信条件については、“障害通知設定” の画面で設定してください。
SMTP サーバーアドレス	メールサーバーの IP アドレスを設定します。 “ネットワーク設定” の画面で、DNS サーバーのアドレスを設定していれば、IP アドレスだけでなく、ドメイン名もお使い頂けます。ホストまたはドメイン名は半角英数字と “-” (ハイフン)、“.” (ピリオド) の記号で 255 文字まで入力できます。
送信者 E-mail アドレス	送信者の電子メールアドレスを設定します。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
受信者 E-mail アドレス	受信者 (最大 5 名) の電子メールアドレスを設定します。 各アドレスの [To] または [Cc] を指定することもできます。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。

お知らせ

- メール設定が正しく機能するかどうかは、[テストメール送信] ボタンをクリックして確認できます。
[テストメール送信] ボタンをクリックする前に、“メール送信” の [有効] チェックボックスをオンにしてください。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.6 障害通知設定



各種エラー / 警告におけるメール、SNMP トラップの設定を行います。

項目	説明
カバーエラー	ランプカバーがきちんと装着されていません。
ファンエラー	冷却ファンが動作していません。
ランプエラー	ランプが点灯しません。ランプ、および本機内部が高温になっている可能性があります。
温度エラー	本機内部が高温になっている可能性があります。
エアフローエラー	内部の温度が上がっています。エアフィルターが目詰まりしている可能性があります。
低温エラー	本機の内部温度が低すぎる可能性があります。
フィルターエラー	エアフィルターの使用時間が通知設定時間を超えました。
その他のエラー	その他のエラーが発生しました。
スケジュール実行エラー	設定されたスケジュールを正常に実行できませんでした (☞3-25)。
ランプ時間警告	ランプの使用時間が“警告時間”の設定時間に達しました。
フィルター時間警告	エアフィルターの使用時間が“警告時間”の設定時間に達しました。
状態監視警告	状態監視機能が異常を検知しました。 状態監視機能については、【応用編】のセキュリティ「状態監視」(☞2-48)をご覧ください。
Cold Start	以下の条件で、本機に電源が供給されました。 ・スタンバイモードが通常に設定されている場合：AC 電源オフ → スタンバイ ・スタンバイモードが省電力に設定されている場合：スタンバイ → ランプオン (☞2-18)
Authentication Failure	未認証の SNMP コミュニティからの SNMP アクセスがありました。

[適用] ボタンをクリックし、設定を保存してください。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.6 障害通知設定 (つづき)

各々のエラー / 警告通知について、以下の項目を設定できます。

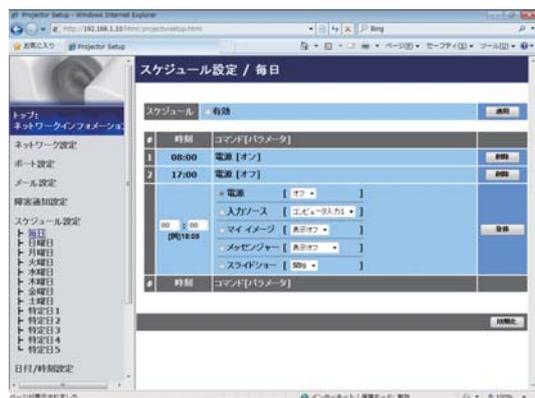
項目	説明
警告時間	“ランプ時間警告”、または“フィルター時間警告”を通知する時間を設定します。この項目は、“ランプ時間警告”と“フィルター時間警告”を選択した場合のみ表示されます。
SNMP トラップ	SNMP トラップによる自動通知を有効にするには、[有効] チェックボックスをオンにします。
メール送信	電子メール機能による自動通知を有効にするには、[有効] チェックボックスをオンにします。 本項目は、“Cold Start”と“Authentication Failure”を選択した場合は表示されません。
メール件名	送信する電子メールの件名を設定します。半角 100 文字まで設定できます。 本項目は、“Cold Start”と“Authentication Failure”を選択した場合は表示されません。
メール本文	送信する電子メールの本文を設定します。半角 1024 文字まで設定できます。 本項目は、“Cold Start”と“Authentication Failure”を選択した場合は表示されません。

お知らせ

- “フィルターエラー”のメール通知は、「その他」メニューの「特別な設定」 - 「フィルター掃除通知」の設定に依存します。フィルターの使用時間が「フィルター掃除通知」の設定時間を超えると、“フィルターエラー”のメールが送信されます。「フィルター掃除通知」が「無効」に設定されている時は、メールは送信されません。
- “ランプ時間警告”は、ランプの使用時間の通知を任意の時間で設定することができます。警告時間として設定したランプ時間を過ぎると、メールが送信されます。
- “フィルター時間警告”は、フィルターの使用時間の通知を任意の時間で設定することができます。警告時間として設定したフィルター時間を過ぎると、メールが送信されます。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.7 スケジュール設定



“スケジュール設定” では、スケジュールの設定を行います。

項目	説明
毎日	毎日実行されるスケジュールを設定します。
日曜日	毎週日曜日に実行されるスケジュールを設定します。
月曜日	毎週月曜日に実行されるスケジュールを設定します。
火曜日	毎週火曜日に実行されるスケジュールを設定します。
水曜日	毎週水曜日に実行されるスケジュールを設定します。
木曜日	毎週木曜日に実行されるスケジュールを設定します。
金曜日	毎週金曜日に実行されるスケジュールを設定します。
土曜日	毎週土曜日に実行されるスケジュールを設定します。
特定日 1	毎年、特定日 1 に実行されるスケジュールを設定します。
特定日 2	毎年、特定日 2 に実行されるスケジュールを設定します。
特定日 3	毎年、特定日 3 に実行されるスケジュールを設定します。
特定日 4	毎年、特定日 4 に実行されるスケジュールを設定します。
特定日 5	毎年、特定日 5 に実行されるスケジュールを設定します。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.7 スケジュール設定 (つづき)

各日程について、以下の項目を設定します。
設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

項目	説明
スケジュール	スケジュールを有効にするには、[有効] チェックボックスをオンにします。
日付 (月 / 日)	スケジュールの日付 (イベントを実行する日) を月 / 日の形式で設定します。 この項目は、“特定日 1 ~ 5” を選択した場合のみ表示されます。

[適用] ボタンをクリックし、設定を保存してください。

項目	説明
時刻	イベントを実行する時間を時 : 分の形式で設定します。
コマンド [パラメータ]	実行するイベントを設定します。
電源	電源 (ランプ) のオン/オフを設定します。
入力ソース	映像入力信号を選択します。
マイイメージ	マイ イメージ機能 (☞3-47) で転送した画像を表示します。
メッセージ	メッセージ機能 (☞3-48) で転送したテキストデータを表示します。
スライドショー	スライドショーの開始/停止を設定します。

新しいイベントを追加するには、[登録] ボタンをクリックします。
リストに表示されているスケジュールを削除するには [削除] ボタンを、リストに表示されたすべてのスケジュールを削除するには [初期化] ボタンをクリックします。

お知らせ

- プロジェクターの設置場所を移動した際は、スケジュールを設定する前に、プロジェクターに設定されている日時を確認してください。
- 内蔵時計の時間はずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めいたします。
- 「設置」メニュー (☞2-16) の「スタンバイモード」 (☞2-18) が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときにはスケジュールが実行されません。スケジュールを有効にする際には、「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。
- 本機のランプが点灯していない、または表示するデータが本機に登録されていないと、“マイ イメージ” と “メッセージ” のイベントは正常に実行されません。
- 本機のセキュリティ機能が働き、プロジェクターの使用が制限された状態では、“入力ソース” と “マイ イメージ” のイベントは正常に実行されません。
- 本機のランプが点灯していない、または画像データの入った USB メモリが本機に挿入されていないと、“スライドショー” のイベントは正常に実行されません。
- “スライドショー” のイベントが実行される際には、本機は自動的に入力端子を USB タイプ A 端子に切り替えます。
- “スライドショー” のイベントでは、本機に挿入された USB メモリのルートディレクトリに保存された画像ファイルが表示されます。
- 本機で、温度エラー、ランプエラーなどの何らかのエラーが発生していると、スケジュールは正常に実行されません。
- スケジュールが正しく実行されない場合は、「トラブルシューティング」 (☞3-62) および【技術情報編】「故障と間違えやすい現象について」 (☞4-35 ~ 38) をご覧ください。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.8 日付／時刻設定



“日付／時刻設定”では、日時の設定を行います。

項目	説明	
現在日付	年 / 月 / 日の形式で日付を設定します。	
現在時刻	時 : 分 : 秒の形式で現在時刻を設定します。	
サマータイム	サマータイムを有効にするには、[有効] チェックボックスをオンにします。	
開始	サマータイムを開始する日時を設定します。	
月	サマータイムを開始する月 (1 ~ 12) を設定します。	
週	サマータイムを開始する日の曜日が、その月で何週目か (最初、2、3、4、最後) を設定します。	
日	サマータイムを開始する日の曜日 (日、月、火、水、木、金、土) を設定します。	
時刻	時	サマータイムを開始する " 時 " (0 ~ 23) を設定します。
時刻	分	サマータイムを開始する " 分 " (0 ~ 59) を設定します。
終了	サマータイムを終了する日時を設定します。	
月	サマータイムを終了する月 (1 ~ 12) を設定します。	
週	サマータイムを終了する日の曜日が、その月で何週目か (最初、2、3、4、最後) を設定します。	
日	サマータイムを終了する日の曜日 (日、月、火、水、木、金、土) を設定します。	
時刻	時	サマータイムを終了する " 時 " (0 ~ 23) を設定します。
時刻	分	サマータイムを終了する " 分 " (0 ~ 59) を設定します。

ネットワーク編

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.8 日付／時刻設定 (つづき)

項目	説明
時差	グリニッジ標準時に対する時差 (時：分) を設定します。 コンピュータの設定と同じ時差を設定してください。不明な場合は、IT 管理者に問い合わせてください。
SNTP	SNTP サーバーを使って日時を自動的に設定する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
SNTP サーバーアドレス	SNTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を設定します。
周期	SNTP サーバーから日時の情報を取得する間隔 (時：分) を設定します。

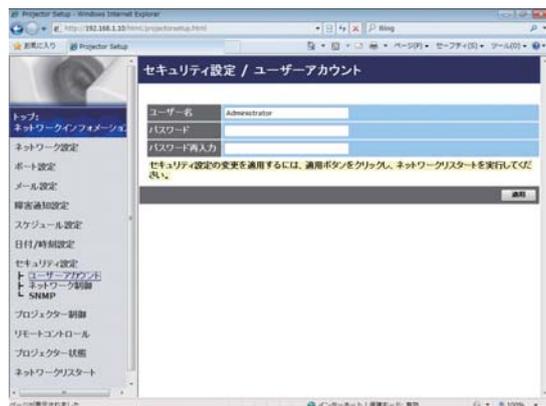
[適用] ボタンをクリックし、設定を保存してください。

お知らせ

- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (☞3-38)。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、サーバーのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。
- 「設置」メニュー (☞2-16) の「スタンバイモード」 (☞2-18) を「省電力」に設定して本機の電源を切るか、AC 電源を切ると、日付／時刻は初期化されます。
- SNTP 機能を有効にするには、時差を設定する必要があります。
- SNTP 機能が有効のときは、タイムサーバーから日時の情報を取得し、設定を上書きします。
- 内蔵時計の時間は、ずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP 機能を使用することをお勧めします。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.9 セキュリティ設定



“セキュリティ設定”では、パスワードなどの通信に関わるセキュリティの設定を行います。

項目	説明
ユーザーアカウント	ユーザー名とパスワードを設定します。
ユーザー名	ユーザー名を設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
パスワード	パスワードを設定します。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
パスワード再入力	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
ネットワーク制御	コマンド制御の認証パスワードを設定します。
認証パスワード	認証パスワードを設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
認証パスワード再入力	確認のために、上記の認証パスワードを再入力してください。
SNMP	SNMP 使用時のコミュニティ名を設定します。
コミュニティ名	コミュニティ名を設定します。 半角英数字で 64 文字まで設定できます。

[適用] ボタンをクリックし、設定を保存してください。

お知らせ

- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください (図3-38)。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.10 プロジェクター制御



“プロジェクター制御”では、本機の設定状態を表示し、また、本機を遠隔操作することができます。制御メニューを選択すると、制御メニューごとの設定画面が表示されます。

項目	説明
メイン	
電源	本機の電源（ランプ）のオン／オフを設定します。
入力ソース	映像入力信号を選択します。 設定を変更したら、[適用] ボタンをクリックしてください。
映像モード	映像モードを選択します。
ブランク オン / オフ	ブランク画面表示のオン／オフ（通常画面）を設定します。
消音	消音のオン／オフを設定します。
静止	画面静止のオン／オフを設定します。
拡大	画面を拡大します。 [-]、[+] ボタンをクリックするか、“値 :” に数値を入力し、[決定] ボタンをクリックしてください。 画面の拡大を終了するには、[オフ] ボタンをクリックしてください。
拡大位置 V 拡大位置 H	画面の拡大位置（垂直方向／水平方向）を設定します。 [上]、[下] あるいは [左]、[右] ボタンをクリックするか、“値 :” に数値を入力し、[決定] ボタンをクリックしてください。
テンプレート	テンプレート画面の表示／非表示（通常画面）を設定します。
マイ イメージ	マイ イメージの表示／非表示を設定します。表示する画像データの番号、または“表示オフ”を選択し、[適用] ボタンをクリックしてください。
マイ イメージ削除	マイ イメージの画像データを削除します。 削除する画像データを選択し、[適用] ボタンをクリックしてください。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.10 プロジェクター制御 (つづき)

項目	説明
映像	設定を変更したら、[決定] もしくは [適用] ボタンをクリックしてください。
明るさ	明るさを調節します。
コントラスト	コントラストを調節します。
ガンマ	画面のガンマ設定を調節します。 [編集] ボタンをクリックすると、カスタム設定画面を表示します。
色温度	画面の色温度設定を調節します。 [編集] ボタンをクリックすると、カスタム設定画面を表示します。
色の濃さ	色の濃さを調節します。
色合い	色あいを調節します。
画質	画質を調節します。
マイメモリー保存	現在の設定をマイメモリー (1 ~ 4) に保存します。
マイメモリー読み出し	マイメモリー (1 ~ 4) に保存された設定を読み出します。
表示	設定を変更したら、[決定] もしくは [適用] ボタンをクリックしてください。
アスペクト	アスペクト (画面の縦横比) を選択します。
オーバースキャン	画面のオーバースキャンを調節します。
垂直位置	画面の垂直位置を調節します。
水平位置	画面の水平位置を調節します。
クロック位相	画面のクロック位相を調節します。
水平サイズ	画面の水平サイズを調節します。
オートアジャスト実行	ボタンをクリックすると、画面の自動調整を実行します。
入力	設定を変更したら、[適用] ボタンをクリックしてください。
プログレッシブ	プログレッシブモードを選択します。
VIDEO NR	映像ノイズの低減レベルを選択します。
色空間	色空間モードを選択します。
ビデオフォーマット - S-ビデオ	S-ビデオ 信号のフォーマットを選択します。
ビデオフォーマット - ビデオ	ビデオ 信号のフォーマットを選択します。
HDMI フォーマット	HDMI 信号のフォーマットを選択します。
HDMI レンジ	HDMI 信号モードを選択します。
COMPUTER - イン - コンピュータ入力 1	コンピュータ入力 1 の SYNC ON G モードを選択します。
COMPUTER - イン - コンピュータ入力 2	コンピュータ入力 2 の SYNC ON G モードを選択します。
フレームロック - コンピュータ入力 1	コンピュータ入力 1 のフレームロックを有効/無効にします。
フレームロック - コンピュータ入力 2	コンピュータ入力 2 のフレームロックを有効/無効にします。
フレームロック - HDMI	HDMI のフレームロックを有効/無効にします。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.10 プロジェクター制御 (つづき)

項目	説明
設置	設定を変更したら、[決定] もしくは [適用] ボタンをクリックしてください。
オートキーストン実行	ボタンをクリックすると、垂直方向のキーストン (台形歪み) の自動調整を実行します。
キーストン V	垂直方向のキーストン (台形歪み) を調節します。[-]、[+] ボタンをクリックするか、" 値:" に数値を入力し、[決定] ボタンをクリックしてください。
オートエコモード	オートエコモードのオン/オフを設定します。
エコモード	エコモードを選択します。
設置方法	設置方法を選択します。
スタンバイモード	本機のスタンバイ時の省電力モードを選択します。
モニタ出力 - コンピュータ入力 1	コンピュータ入力 1 端子選択時にモニタ出力端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニタ出力 - コンピュータ入力 2	コンピュータ入力 2 端子選択時にモニタ出力端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニタ出力 - LAN	LAN 端子選択時にモニタ出力端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニタ出力 - USB タイプ A	USB タイプ A 端子選択時にモニタ出力端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニタ出力 - USB タイプ B	USB タイプ B 端子選択時にモニタ出力端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニタ出力 - HDMI	HDMI 端子選択時にモニタ出力端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニタ出力 - S-ビデオ	S-ビデオ端子選択時にモニタ出力端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニタ出力 - ビデオ	ビデオ端子選択時にモニタ出力端子から出力される信号の入力端子を設定します。
モニタ出力 - スタンバイ	スタンバイ時にモニタ出力端子から出力される信号の入力端子を設定します。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.10 プロジェクター制御 (つづき)

項目	説明
オーディオ	設定を変更したら、[決定] もしくは [適用] ボタンをクリックしてください。
音量	音量を調節します。 [-]、[+] ボタンをクリックするか、" 値 : " に数値を入力してください。
スピーカー	内蔵スピーカーのオン/オフを設定します。
音声入力設定 - コンピュータ入力 1	コンピュータ入力 1 端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - コンピュータ入力 2	コンピュータ入力 2 端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - LAN	LAN 端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - USB タイプ A	USB タイプ A 端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - USB タイプ B	USB タイプ B 端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - HDMI	HDMI 端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - S-ビデオ	S-ビデオ端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - ビデオ	ビデオ端子選択時の音声入力端子を設定します。
音声入力設定 - スタンバイ	スタンバイ時の音声入力端子を設定します。
HDMI AUDIO	HDMI [®] AUDIO 設定を選択します。
スクリーン	設定を変更したら、[決定] もしくは [適用] ボタンをクリックしてください。
表示言語	本機のメニューなど、本機の画面の表示言語、およびプロジェクター Web コントロール画面の表示言語を選択します。
メニュー位置 V メニュー位置 H	メニューの垂直/水平位置を調節します。 [上]、[下]あるいは[左]、[右] ボタンをクリックするか、" 値 : " に数値を入力し、[決定] ボタンをクリックしてください。
ブランク	ブランク画面を選択します。
初期画面	初期画面を選択します。
マイスクリーン ロック	マイスクリーンロックの有効/無効を設定します。
メッセージ	メッセージ表示のオン/オフを設定します。
テンプレート	テンプレート画面を選択します。
C.C. - ディスプレイ	クローズド・キャプションの表示設定を選択します。
C.C. - モード	クローズド・キャプションのモードを選択します。
C.C. - チャンネル	クローズド・キャプションのチャンネルを選択します。

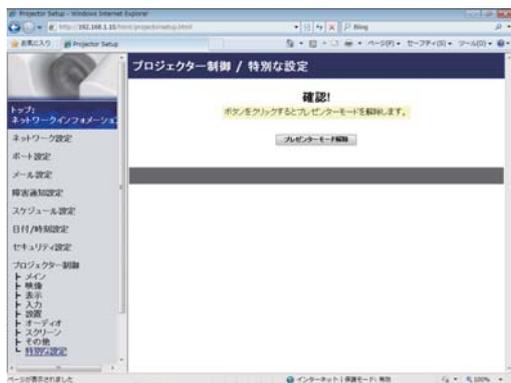
4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.10 プロジェクター制御 (つづき)

項目	説明
その他	設定を変更したら、[決定] もしくは [適用] ボタンをクリックしてください。
オートサーチ	入力信号の自動検索の有効/無効を設定します。
オートキーストン	オートキーストン調整機能の有効/無効を設定します。
ダイレクトパワーオン	ダイレクトパワーオン機能の有効/無効を設定します。
オートパワーオフ	オートパワーオフの実行時間を設定します。[-]、[+] ボタンをクリックするか、" 値:" に数値を入力し、[決定] ボタンをクリックしてください。
USB タイプ B	USB タイプ B 端子の用途を設定します。
マイボタン -1	リモコンのマイボタン 1 に割り付ける機能を選択します。
マイボタン -2	リモコンのマイボタン 2 に割り付ける機能を選択します。
エコ (コントロールパネル)	操作パネルのエコボタンに割り付ける機能を選択します。
マイソース	リモコンのマイソースボタンで選択できる、映像信号の入力端子を設定します。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.10 プロジェクター制御 (つづき)



メインメニューの [特別な設定] をクリックすると、左図の画面が表示されます。"特別な設定" では、本機のプレゼンターモードを解除することができます。

項目	説明
特別な設定	
プレゼンターモード解除	プレゼンターモードを強制的に解除します。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.11 リモートコントロール



メインメニューの[リモートコントロール]をクリックすると、左の“リモートコントロール”画面が表示されます。“リモートコントロール”では、本機付属のリモコンのイメージで本機を操作できます。

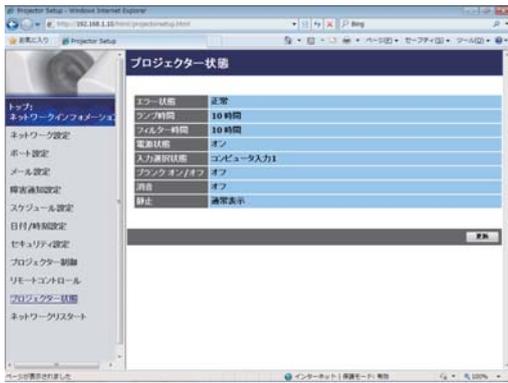
項目	説明
電源	点灯 / 消灯ボタンと同様に動作します。
コンピュータ	コンピュータボタンと同様に動作します。
ビデオ	ビデオボタンと同様に動作します。
ブランク	ブランクボタンと同様に動作します。
静止	静止ボタンと同様に動作します。
消音	消音ボタンと同様に動作します。
メニュー	メニューボタンと同様に動作します。
▲	カーソルボタン▲と同様に動作します。
▼	カーソルボタン▼と同様に動作します。
◀	カーソルボタン◀と同様に動作します。
▶	カーソルボタン▶と同様に動作します。
決定	ENTER ボタンと同様に動作します。
初期化	リセットボタンと同様に動作します。
前ページ	PAGE UP ボタンと同様に動作します。
次ページ	PAGE DOWN ボタンと同様に動作します。
スライドショー	スライドショーを開始します。

お知らせ

- 本機と同梱リモコンと Web の“リモートコントロール”を同時に使用して本機を操作しないでください。同時に使用すると、誤動作するおそれがあります。
- 一回のクリックでは、一回の操作しか行うことができません。ボタンをクリックしたままにしても、同梱リモコンのように連続操作をさせることはできません。連続して操作するには、ボタンを繰り返しクリックする必要があります。
- ボタンを連続してクリックすると、一部のコマンドが正常に送信されないことがあります。少し間をおいて再度クリックしてください。
- [電源] ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。そのまま電源の操作を行うには [OK] ボタンを、元の状態に戻すには [キャンセル] ボタンをクリックしてください。
- “リモートコントロール”で、簡易マウス/キーボード機能の操作はできません。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.12 プロジェクター状態



メインメニューの [プロジェクター状態] をクリックすると、左図の“プロジェクター状態”画面が表示されます。本画面では、現在の本機の各種状態を表示します。

項目	説明
エラー状態	現在起きているエラー状況を表示します。
ランプ時間	ランプの使用経過時間を表示します。
フィルター時間	エアーフィルターの使用経過時間を表示します。
電源状態	本機の電源の状態を表示します。
入力選択状態	選択されている映像入力端子を表示します。
ブランク オン/ オフ	ブランク画面のオン/オフ状態を表示します。
消音	消音のオン/オフ状態を表示します。
静止	画面の静止/通常表示の状態を表示します。

4.1 プロジェクター Web コントロール (つづき)

4.1.13 ネットワークリスタート



メインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックすると、左の " ネットワークリスタート " 画面が表示されます。本画面では、本機のネットワーク接続を再起動することができます。

項目	説明
リスタート	ボタンをクリックすると、保存した新しい設定を有効にするために、ネットワーク接続を再起動します。

お知らせ

- ネットワーク接続を再起動した後、再び Web コントロールで設定を変更、あるいは本機を操作するには、再起動して 30 秒以上経ってから再度ログオンする必要があります。

4.2 Crestron e-Control®



最初に、上図の Main 画面が表示されますが、Tools 画面で User Password を有効に設定していると、右図のように、パスワード (の入力) を要求する画面が表示され、設定したパスワードを入力するまで操作できません。設定したパスワードを入力すると、Main 画面が表示されます。画面の右上にあるタブをクリックすると、各画面に表示を切り替えることができます。



ユーザーパスワード画面

タブ	説明
Log Out	e-Control® からログアウトします。 このタブは、Tools 画面で User Password が有効に設定されているときのみ、表示されます。
Tools	Tools 画面を開きます。(P3-42)
Info	Info 画面を開きます。(P3-44)
Contact IT Help	Help Desk 画面を開きます。(P3-45)

お知らせ

- プロジェクター Web コントロールの Network Settings で Crestron e-Control が無効に設定されていると、Crestron e-Control® はご利用いただけません。Crestron e-Control の設定を有効にして一旦 web ブラウザを閉じ、(web ブラウザの) 起動からやり直してプロジェクターの IP アドレスを入力してください。
- Crestron e-Control® は、英語のみをサポートしています。
- 接続が切断されると、"Loading" の画面が表示されます。プロジェクターとコンピューターの接続を確認して、再度 Web 画面を表示し直して下さい。

4.2 Crestron e-Control[®] (つづき)

4.2.1 Main 画面



本画面では、プロジェクターの基本的な制御を行うことができます。

お知らせ

- プロジェクターがスタンバイ状態のときは、Power ボタンのみ有効の状態が表示されます。

1. 各ボタンをクリックして、以下の操作を行うことができます。

ボタン	説明
Power	本機の電源（ランプ）のオン／オフを設定します。
Vol - / Vol +	音量を調整します。
Mute	消音のオン／オフを設定します。

2 ボタンをクリックして、入力チャンネルの切り替えを行うことができます。
現在選択されている映像入力端子に追従して、カーソル位置が移動します。

ボタン	説明
Computer in 1	コンピュータ入力 1 端子からの入力を選択します。
Computer in 2	コンピュータ入力 2 端子からの入力を選択します。
LAN	LAN 端子からの入力を選択します。
USB Type A	USB タイプ A 端子からの入力を選択します。
USB Type B	USB タイプ B 端子からの入力を選択します。
HDMI	HDMI 端子からの入力を選択します。
S-Video	S- ビデオ 端子からの入力を選択します。
Video	ビデオ 端子からの入力を選択します。

4.2 Crestron e-Control[®] (つづき)

4.2.1 Main 画面 (つづき)

3 各ボタンをクリックして、以下の操作を行うことができます。見えないボタンは、(ボタンの) 左右端にあるアイコン ◀ / ▶ をクリックすると表示されます。

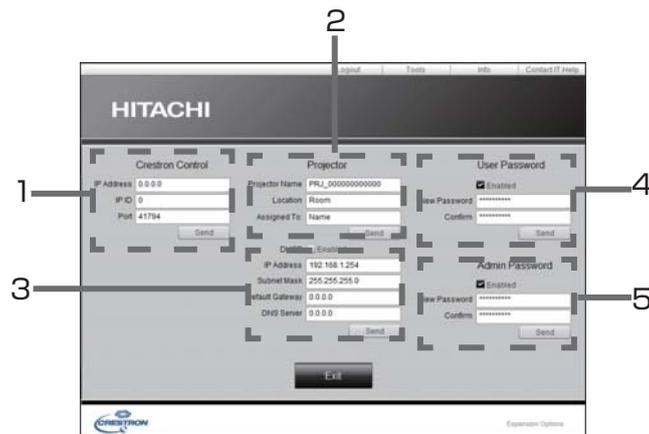
ボタン	説明
Freeze	映像静止のオン/オフを設定します。
Contrast	コントラストを調節します。
Brightness	明るさを調整します。
Color	色の濃さを調整します。
Sharpness	画質を調整します。
Magnify	画面の拡大設定を +/- ボタンで操作します。 [▲][▼][◀][▶] ボタンで、拡大箇所を移動できます。
Auto	画面の自動調整を実行します。
Blank	ブランクのオン/オフを設定します。

4 ボタンをクリックして同梱のリモコンと同じように操作することができます。

ボタン	説明
Menu	メニューボタンと同様に動作します。
Enter	ENTER ボタンと同様に動作します。
Reset	リセットボタンと同様に動作します。
▲	カーソルボタン▲と同様に動作します。
▼	カーソルボタン▼と同様に動作します。
◀	カーソルボタン◀と同様に動作します。
▶	カーソルボタン▶と同様に動作します。

4.2 Crestron e-Control[®] (つづき)

4.2.2 Tools 画面



プロジェクターと Crestron[®] コントロールシステムの設定を行います。Main 画面に戻るには、[Exit] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 全角文字を使用すると、入力された文字（と数字）は正しく設定されません。全項目とも、空白を設定することはできません。

1 Crestron Control

Crestron[®] コントロールシステムに関する設定を行います。

項目	説明
IP Address	コントロールシステムの、IP アドレスを設定します。
IP ID	コントロールシステムの、IP ID を設定します。
Port	コントロールシステムの通信に使用するポート番号を指定します。

2 Projector

プロジェクターのネットワーク設定を行います。

項目	説明
Projector Name	プロジェクター名を設定します。 Projector はアルファベットで、最長 64 文字まで入力できます。
Location	設置場所名を設定します。 Location はアルファベットで、最長 32 文字まで入力できます。
Assigned To:	利用者名を設定します。 利用者名はアルファベットで、最長 32 文字まで入力できます。

使用できる記号は、スペースと、以下のものです。! "# \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ { | }
設定を反映させるには、[Send] ボタンをクリックしてください。

4.2 Crestron e-Control® (つづき)

4.2.2 Tools 画面 (つづき)

3 Projector (続き)

プロジェクターのネットワーク設定を行います。

項目	説明
DHCP	DHCP を有効にします。
IP Address	DHCP が無効の場合の IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	DHCP が無効の場合のサブネットを設定します。
Default Gateway	DHCP が無効の場合のデフォルトゲートウェイを設定します。
DNS Server	DNS サーバのアドレスを設定します。

4 User Password

User Password を設定します。e-Control® を開始するときに User Password を要求するには、チェックボックスにチェックマークを入れてください。

項目	説明
New Password	パスワードの設定をします。 パスワードはアルファベットで、最長 26 文字まで入力できます。 使用できる記号は、スペースと、以下のものです。 ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ { } ~
Confirm	確認のため、パスワードを再入力します。 パスワードが一致しない場合、エラーメッセージが表示されます。

5 Admin Password

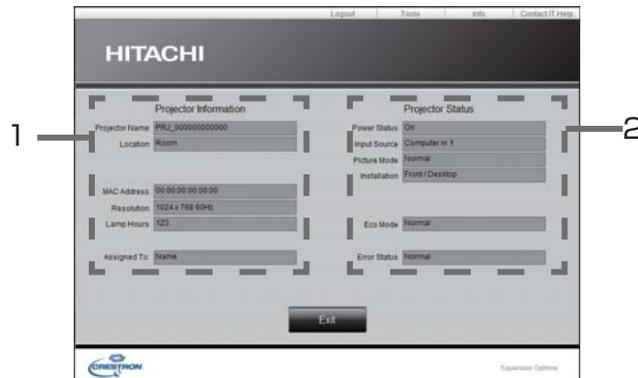
Admin Password を設定します。Tools 画面を表示する前に Admin Password の入力を要求するには、チェックボックスにチェックマークを入れてください。

項目	説明
New Password	パスワードの設定をします。 パスワードはアルファベットで、最長 26 文字まで入力できます。 使用できる記号は、スペースと、以下のものです。 ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ { } ~
Confirm	確認のため、パスワードを再入力します。 パスワードが一致しない場合、エラーメッセージが表示されます。

設定を反映させるには、[Send] ボタンをクリックしてください。

4.2 Crestron e-Control® (つづき)

4.2.3 Info 画面



プロジェクターの設定、および状態を表示します。Main 画面に戻るには、[Exit] ボタンをクリックしてください。

1 Projector Information

項目	説明
Projector Name	プロジェクター名の設定を表示します。
Location	プロジェクターの設置場所名を表示します。
MAC Address	プロジェクターの有線 LAN MAC アドレスを表示します。
Resolution	プロジェクターで選択している入力信号の解像度と垂直周波数を表示します。
Lamp Hours	現在のランプの使用時間を表示します。
Assigned To:	プロジェクターの利用者名を表示します。

2 Projector Status

項目	説明
Power Status	現在の電源状況を表示します。
Input Source	現在の入力端子を表示します。
Picture Mode	現在のピクチャーモードの設定を表示します。
Installation	現在の設置方法の設定を表示します。
Eco Mode	現在のエコモードの設定を表示します。
Error Status	現在のエラー状況を表示します。

お知らせ

- Projector Name、Location および Assigned To: のユーザー名は、(長すぎると)全長の途中までしか表示されないことがあります。

4.2 Crestron e-Control[®] (つづき)

4.2.4 Help Desk 画面



Crestron RoomView[®] Express を使用している管理者との間で、メッセージの送受信を行うことができます。

項目	説明
Send	メッセージを送信します。
	受信したメッセージを確認します。

4.2 Crestron e-Control[®] (つづき)

4.2.5 緊急障害



Crestron RoomView[®] Express を使用している管理者が緊急メッセージを送信すると、e-Control[®] の画面上にメッセージが表示されます。この緊急メッセージには、チャット形式で返信メッセージを送ることができます。

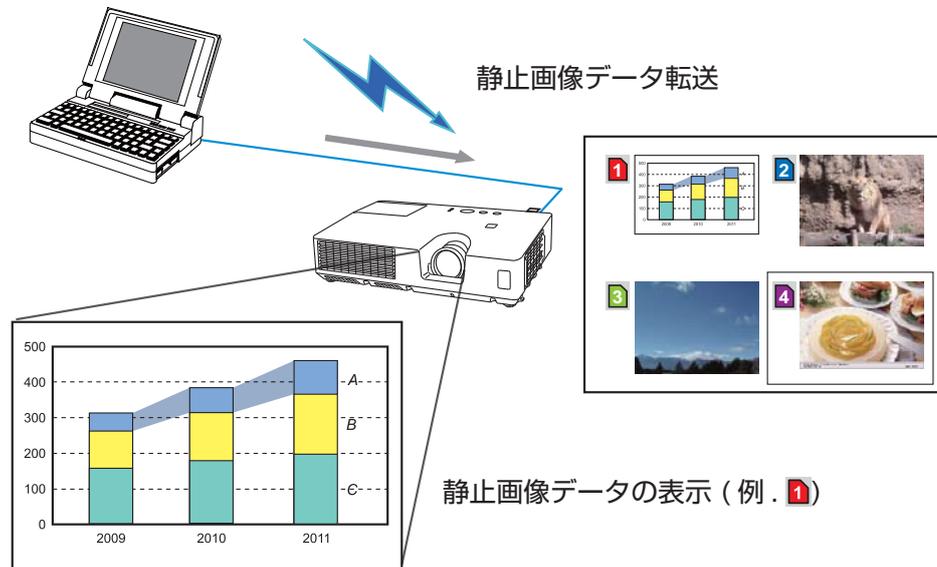
緊急メッセージの下に表示されているボックスに、メッセージを入力し、[Send] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 緊急障害についての詳細は、Crestron RoomView[®] Express のマニュアルを参照してください。
- Crestron RoomView[®] からの緊急メッセージは、メッセージ機能のリアルタイムテキストと同様に、プロジェクターの画面に表示されます。他のリアルタイムテキストが表示されているときは、この緊急メッセージによってデータが上書きされます。ただし、表示優先度の高いリアルタイムテキストが表示されている場合は上書きされず、緊急メッセージは表示されません。詳細はメッセージ機能のアプリケーションマニュアルをご参照ください。

5. マイ イメージ

コンピュータからネットワーク経由で静止画像（マイ イメージ）を本機に転送し、表示させることができます。



マイ イメージの転送と登録

マイ イメージの転送には、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。このアプリケーションは日立のホームページからダウンロードできます。

<http://www.hitachi.co.jp/proj/>

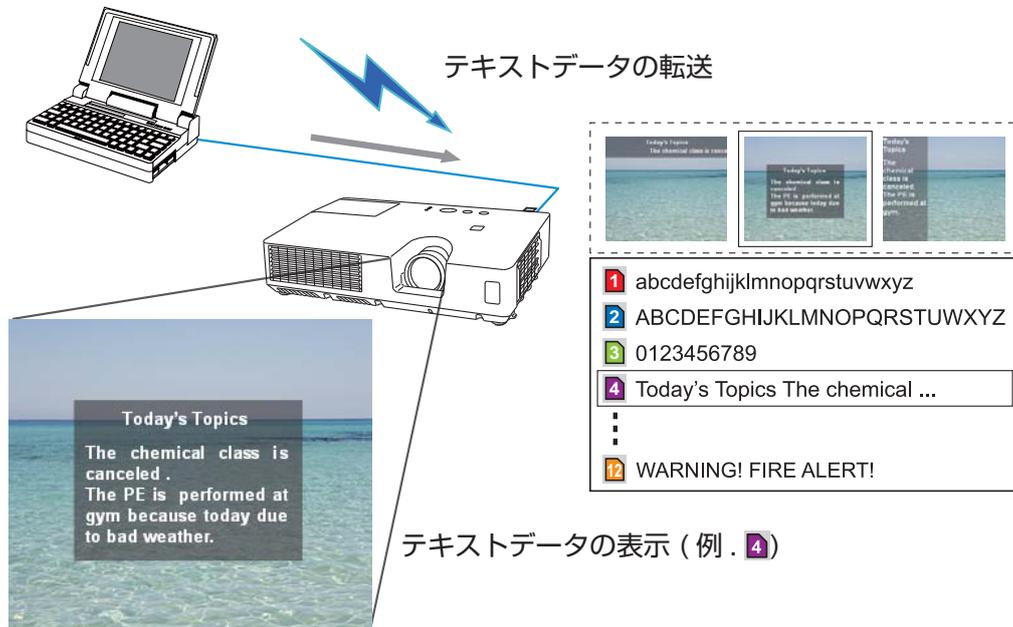
アプリケーションに関する説明は、アプリケーションに付属のマニュアルをご覧ください。

お知らせ

- 最大 4 つの画像データを本機に転送、登録することができます。
- マイ イメージは、マイ イメージ機能を割り当てたマイボタンを押すことによっても表示することができます (P.2-42)。
- マイ イメージ機能で本機に転送した画像は、スケジュール機能を使用して表示することができます (P.3-55)。
- USB ディスプレイ使用中にマイ イメージデータを画面に表示させた場合、USB ディスプレイのアプリケーションは終了してしまいます。マイ イメージ表示を終了させますと、USB ディスプレイが再起動します。
- 無線 LAN と有線 LAN で同時にマイ イメージデータが送信された場合、プロジェクターがマイ イメージデータを正常に処理することができないことがあります。

6. メッセージャー

ネットワーク経由で転送されたテキストをプロジェクターの画面に表示したり、プロジェクターにあらかじめ登録されている内部の音声データを再生することができます。テキストデータをネットワーク経由で転送してリアルタイムで表示させる方法と、あらかじめネットワーク経由で本機に転送・登録されたテキストから選択して、1つずつ表示させる方法が可能です。



メッセージャー機能を使用するには、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールしてください。テキストデータを編集、転送、表示させるには、このアプリケーションをご利用ください。このアプリケーションは日立のホームページからダウンロードできます。

<http://www.hitachi.co.jp/proj/>

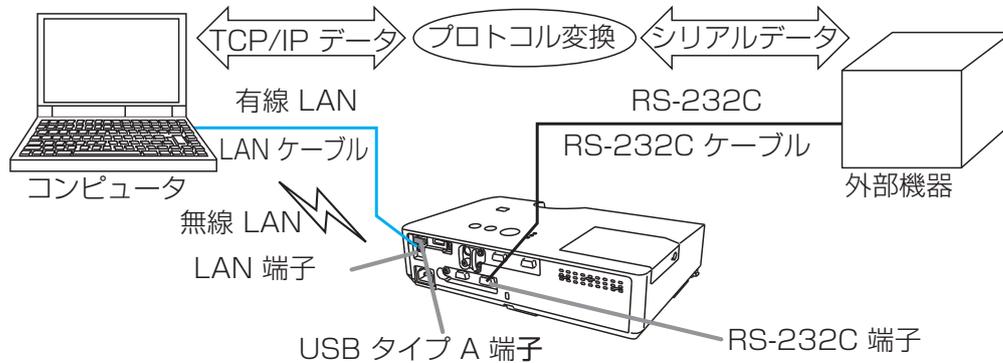
アプリケーションに関する説明は、アプリケーションに付属のマニュアルをご覧ください。

お知らせ

- 本機には最大 12 項目のテキストデータを登録することができます。
- 転送されたテキストデータは、メッセージャー機能を割り当てたマイボタンを押すことによっても表示することができます (P.2-28)。
- メッセージャー機能で本機に転送したテキストデータは、スケジュール機能を使用して表示することができます (P.3-55)。ただし、優先順位の高いテキストデータが表示されている間は、スケジュール機能でのテキストデータの表示はされません。
- 無線 LAN と有線 LAN で同時にテキストデータが送信された場合、プロジェクターがテキストデータを正常に処理することができないことがあります。

7. ネットワークブリッジ

本機は、ネットワークプロトコルとシリアルインタフェースの相互変換を行うネットワークブリッジ機能に対応しています。ネットワークブリッジ機能を使うと、本機とイーサネット通信（LAN）で接続したコンピュータから、本機と RS-232C 通信で接続した外部機器を、ネットワーク端末と同様に制御することができます。



7.1 機器の接続

Crestron RoomView[®] Express を使用している管理者との間で、メッセージの送受信を行うことができます。

- 1) プロジェクターの LAN 端子とコンピュータの LAN 端子を LAN ケーブルで接続するか、USB タイプ A 端子に USB ワイヤレスアダプタを挿入してください。
- 2) 本機の RS-232C 端子と外部機器の RS-232C 端子を、RS-232C ケーブル（クロス）で接続します。

お知らせ

- 接続の前に接続する各機器の説明書をお読みになり、正しく接続してください。RS-232C の接続については、本機と接続する外部機器の端子の仕様を確認の上、適切な通信ケーブルを使用してください (P4-9, 12)。

7. ネットワークブリッジ (つづき)

7.2 通信設定

本機のネットワークブリッジに関する通信設定は、本機の「通信設定」メニューから設定を行ってください。

- 1) 「通信タイプ」メニューで、ネットワークブリッジ (使用する接続によって、無線または有線) を選択してください。
- 2) 「シリアル設定」メニューで、「ボーレート」と「パリティ」を、接続した外部機器のシリアル設定に合わせて選択してください。

項目	仕様
ボーレート	4800bps/9600bps/19200bps/38400bps
パリティ	なし / 奇数 / 偶数
データ長	8 ビット (固定)
スタートビット	1 ビット (固定)
ストップビット	1 ビット (固定)

- 3) 「通信方式」メニューで、接続した外部機器、またはコンピュータの仕様に合わせて通信方式を選択してください。

お知らせ

- 工場出荷時、「通信タイプ」は「オフ」に設定されています。
- 通信方式の設定が適切でないと、外部機器を正しく制御することができませんのでご注意ください。
- 「通信タイプ」を「ネットワークブリッジ」に設定している時は、RS-232C 端子経由で RS-232C コマンドを受信できません。

7.3 通信ポート

コンピュータから本機へのデータ送信には、Web ブラウザの“ポート設定”で“ネットワークブリッジポート”に設定されているポートを使用してください (☞3-21)。

お知らせ

- 通信ポートは 1024 ~ 65535 の範囲 (但し、41794, 9715, 9716, 9719, 9720, 5900, 5500, 4352 を除く) で任意に設定することができます。工場出荷時は、ネットワークブリッジポートは“9717”が設定されています。

7. ネットワークブリッジ (つづき)

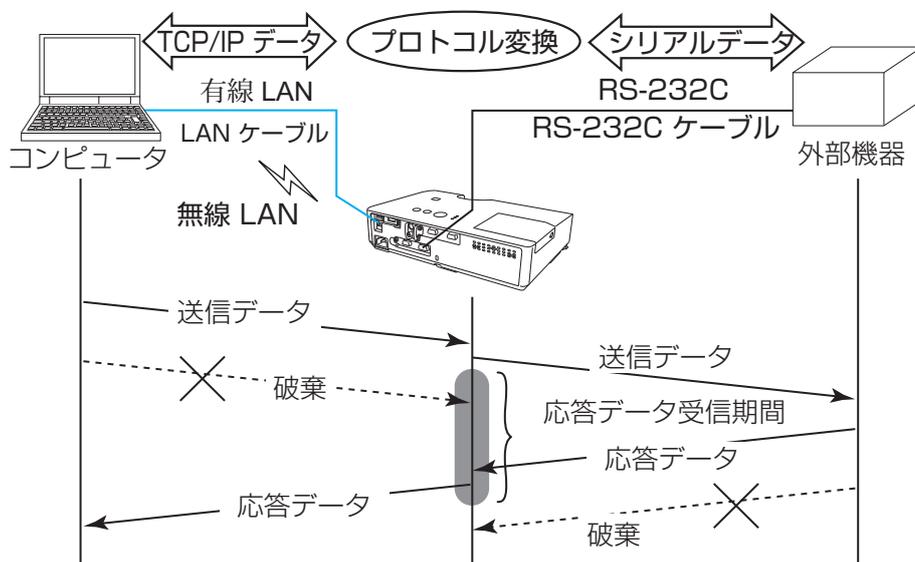
7.4 通信方式

本機の通信タイプにネットワークブリッジが選択されているとき、次の通信方式を選択して使用できます (図2-32)。

半二重通信 ↔ 全二重通信

7.4.1 半二重通信

この方式では、本機は一度に送信または受信のどちらか一方のみ行います。コンピュータから本機を経由して一度外部機器へデータを送信すると、外部機器からの応答データを受信するか、一定の時間 (応答データ受信期間) が経過するまで、本機はコンピュータとの送受信を行いません。本機は、データの送信と受信を制御し、通信の同期をとります。半二重通信で通信を行う場合は、以下に従って、応答データ受信期間の設定を行ってください。



応答データ受信期間メニューを操作して、外部機器からの応答を待つ時間を選択してください (図2-32)。

オフ ↔ 1s ↔ 2s ↔ 3s

お知らせ

- 半二重通信では、本機は一度に最大 254 バイトまで送信できます。
- 半二重通信方式でも、外部機器からの応答を監視しないシステムでは、「応答データ受信期間」を「オフ」に設定すると、コンピュータからのコマンドを連続して送信することができます。工場出荷時は「オフ」に設定されています。

7. ネットワークブリッジ (つづき)

7.4 通信方式 (つづき)

7.4.2 全二重通信

この方式では、本機は外部機器の応答を監視せず、コンピュータと外部機器の両方と随時に送受信を行います。コンピュータと外部機器の双方から非同期でデータが送信されます。送信データと応答データの同期をとりたいときは、コンピュータから、送受信の制御を行ってください。

お知らせ

- 全二重通信方式で、コンピュータから送受信の制御を行う場合も、本機のデータ処理状況によっては、送受信データに欠落が生じ、正しく制御できない場合があります。

8. その他の機能

8.1 電子メール機能による自動通知

本機にメンテナンスが必要な場合やエラーが発生したとき、指定したメールアドレスに自動的に警告メッセージを送信させることができます。

警告メッセージを電子メールで自動通知するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

お知らせ

- 最大 5 つの受信電子メールアドレスを設定できます。
- 本機の電源が突然切れた場合は、電子メールを送信できないことがあります。

■メール設定

- 1) 「4.1.1 ログオン」(☞3-15) にしたがって、Web コントロールにログオンします。
- 2) メインメニューの [メール設定] をクリックします。
- 3) "メール送信" の [有効] チェックボックスをオンし、メールサーバーのアドレス、送信者/受信者の電子メールアドレスを設定します (☞3-22)。
- 4) [適用] ボタンをクリックして、設定を保存してください。
- 5) 電子メールの設定が正しいことを確認して、[テストメール送信] ボタンをクリックしてください。メール設定が正しく機能すれば、下のような形式のメールが指定したメールアドレスに送信されます。

件名 : Test Mail <プロジェクト名>
本文 : Send Test Mail
Date <テスト実施日>
Time <テスト実施時間>
IP Address <本機の IP アドレス>
MAC Address <本機の MAC アドレス>

■障害通知設定

- 1) メインメニューの [障害通知設定] をクリックします。
- 2) 通知設定するエラー/警告項目を選択します (☞3-23)。
- 3) "メール送信" の [有効] チェックボックスをオンにし、電子メールの件名と本文を入力します。必要に応じて "警告時間" も設定します (☞3-24)。
- 4) [適用] ボタンをクリックして、設定を保存してください。

警告メッセージは、次のような形式の電子メールで送信されます。

件名 : <メール件名> <プロジェクト名>
本文 : <メール本文>
Date <エラー/警告の発生日>
Time <エラー/警告の発生時間>
IP Address <本機の IP アドレス>
MAC Address <本機の MAC アドレス>

8. その他の機能（つづき）

8.2 SNMP による自動通知

SNMP を使えるネットワーク環境であれば、SNMP マネージャを使って本機のエラー／警告の通知を受け取ることができます。

SNMP を使用して、本機のエラー／警告を自動通知するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

お知らせ

- SNMP 機能の実行はネットワーク管理者が行うことをお勧めします。
- SNMP によって本機を監視できるようにするには、SNMP マネージャがコンピュータにインストールされている必要があります。

■ポート設定

- 1) 「4.1.1 ログオン」(図3-15) にしたがって、Web コントロールにログオンします。
- 2) メインメニューの [ポート設定] をクリックします。
- 3) "SNMP ポート" の "ポートオープン" [有効] のチェックボックスをオンにして SNMP ポートを有効にします。また、“トラップアドレス” に、SNMP トラップの宛先の IP アドレスを設定してください (図3-21)。
- 4) [適用] ボタンをクリックして設定を保存し、「3.1.13 ネットワークリスタート」(図3-38) にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

■セキュリティ設定

- 1) 「4.1.1 ログオン」 にしたがって、Web コントロールにログオンします。
- 2) メインメニューの [セキュリティ設定] をクリックします。
- 3) "SNMP" を選択して、コミュニティ名を設定します (図3-29)。
コミュニティ名は、初期設定では "public" が設定されています。
- 4) [適用] ボタンをクリックして設定を保存し、「4.1.13 ネットワークリスタート」 にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

■障害通知設定

- 1) 「4.1.1 ログオン」 にしたがって、Web コントロールにログオンします。
- 2) メインメニューで [障害通知設定] をクリックします。
- 3) 通知設定する各エラー／警告項目を選択します (図3-23)。
- 4) "SNMP トラップ" の [有効] チェックボックスをオンにします (図3-23)。
- 5) [適用] ボタンをクリックして、設定を保存してください。

8. その他の機能（つづき）

8.3 スケジュール機能

スケジュール機能を使うと、指定した日時に指定したイベントを自動的に実行させることができます。スケジュール機能は、3種類の日程で、5種類のイベントを実行することができます。日程、イベントの詳細については「3.1.7 スケジュール設定」（[図3-25, 26](#)）をご参照ください。

スケジュールを登録するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。



■日時設定

- 1) 「4.1.1 ログオン」（[図3-15](#)）にしたがって、Web コントロールにログオンします。
- 2) メインメニューの「日付 / 時刻設定」をクリックして、日時を設定します（[図3-27](#)）。
- 3) 「適用」ボタンをクリックして、設定を保存します。
サマータイムやSNTPの設定を変更した場合は、「4.1.13 ネットワークリスタート」（[図3-38](#)）にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

■スケジュール設定

- 1) 「4.1.1 ログオン」にしたがって、Web コントロールにログオンします。
- 2) メインメニューの「スケジュール設定」をクリックします。
- 3) 設定するスケジュールの日程項目を選択し、「有効」チェックボックスをオンにしてスケジュールを有効にします。特定日のスケジュールを設定する場合は、日付（月 / 日）を入力してください（[図3-25, 26](#)）。
- 4) 「適用」ボタンをクリックして、設定を保存します。
- 5) スケジュールを実行する時間、イベントを設定し、「登録」ボタンをクリックします。
リストに表示されたスケジュールを削除したい場合は、「削除」ボタンを、リストに表示されたすべてのイベントを削除するには「初期化」ボタンをクリックします。

8. その他の機能 (つづき)

8.3 スケジュール機能 (つづき)

お知らせ

- スケジュールの優先順位は、1) 特定日、2) 曜日、3) 毎日の順になります。
- 同日の同時刻に複数のイベントを設定すると、"電源 [オン]" のイベントは最後に実行されます。
- 同じ日に実行するイベントは、ひとつの特定日に設定してください。複数の特定日に同じ日付を設定すると、特定日の番号 (1 ~ 5) が最も小さい特定日に設定されたイベントのみが実行されます。
- 優先順位を高く設定されたテキストデータが表示されている間は、スケジュール機能での "メッセージ" のイベントは実行されません。
- 内蔵時計の時間は、ずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めします。
- 電源 [オン] スケジュール設定が 1 つでも登録されていれば、本機がスタンバイ状態のときに電源インジケータがおよそ 3 秒間周期で緑色に点滅します。
- スケジュール機能をご使用になるためには、本機に電源が供給されている必要があります。本機の電源インジケータが橙色または緑色に点灯していることを確認してください。
- 「設置」メニュー (☞2-16) の「スタンバイモード」 (☞2-18) が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときにはスケジュールが実行されません。スケジュールを有効にする際には、「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。
- 「設置」メニュー (☞2-16) の「スタンバイモード」 (☞2-18) を「省電力」に設定して本機の電源を切るか、AC 電源を切ると、日付 / 時刻は初期化されます。

8. その他の機能（つづき）

8.4 ネットワークによるコマンド制御

ネットワーク（イーサネット）経由で RS-232C コマンドを使用し、本機を操作、設定することができます。

コマンド制御ポート

コマンド制御には、以下の 2 ポートが割り当てられています。

- ・ TCP #23 （ネットワーク制御 ポート 1（ポート :23））
- ・ TCP #9715 （ネットワーク制御 ポート 2（ポート :9715））

ネットワーク経由で本機をコマンド制御するには、Web コントロールで、下記の通り通信ポートと、必要に応じてセキュリティを設定してください。

■ポート設定

- 1) 「4.1.1 ログオン」(図3-15) にしたがって、Web コントロールにログオンします。
- 2) メインメニューの [ポート設定] をクリックします。
- 3) "ネットワーク制御 ポート 1（ポート :23）" の "ポートオープン" [有効] のチェックボックスをオンにしてネットワーク制御 ポート 1 を有効にします (図3-20)。
認証設定が必要なときは、"認証" [有効] のチェックボックスをオンにして認証を有効にします。
- 4) "ネットワーク制御 ポート 2（ポート :9715）" の "ポートオープン" [有効] のチェックボックスをオンにしてネットワーク制御 ポート 2 を有効にします (図3-20)。
認証設定が必要なときは、"認証" [有効] のチェックボックスをオンにして認証を有効にします。
- 5) [適用] ボタンをクリックして設定を保存し、「4.1.13 ネットワークリスタート」(図3-38) にしたがってネットワーク接続を再起動させてください。

■セキュリティ設定

ネットワーク制御 ポート 1 / 2 の認証設定を有効にした場合は、以下の設定が必要です。

- 1) メインメニューの [セキュリティ設定] をクリックします。
- 2) "ネットワーク制御" を選択し、認証パスワードを設定してください (図3-29)。
- 3) [適用] ボタンをクリックして、設定を保存します。

8. その他の機能（つづき）

8.4 ネットワークによるコマンド制御（つづき）

コマンド形式

通信ポートによってコマンド形式に一部違いがあります。

■ TCP #23

・送信データ形式

RS-232C 通信と同じコマンドをそのまま使用できます。

コマンドの詳細については【技術情報編】「コマンド制御」(P4-10)を、対応コマンドについては【技術情報編】「RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧」(P4-13～27)をご参照ください。

・応答データ形式

RS-232C 通信と同じ応答を返しますが、認証エラーが発生した場合に、以下の応答を返します。

応答に関する詳細は、【技術情報編】「コマンド制御」(P4-10)をご参照ください。

<認証エラー応答>

応答	エラーコード	
0x1F	0x04	0x00

■ TCP #9715

送信データ形式

送信データ形式は以下のように、RS-232C コマンドにヘッダ (0x02)、データ長 (0x0D)、チェックサム (1 バイト)、接続 ID (1 バイト) が加わります。

ヘッダ	データ長	RS-232C コマンド	チェックサム	接続 ID
0x02	0x0D	13 バイト	1 バイト	1 バイト

[ヘッダ] : 02h、固定

[データ長] : RS-232C コマンドのバイト長 (0Dh、固定)

[RS-232C コマンド] : コマンドの詳細については【技術情報編】「コマンド制御」を、対応コマンドについては【技術情報編】「RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧」をご参照ください

[チェックサム] : ヘッダからチェックサムまでの和の下位 8 ビットが 0 となる値

[接続 ID] : 00h ~ FFh のランダムな値 (この数値は応答データに付加されます)

8. その他の機能 (つづき)

8.4 ネットワークによるコマンド制御 (つづき)

■ TCP #9715(つづき)

・送信データ形式

RS-232C コマンドに、接続 ID (送信データの接続 ID と同じ) が加わります。

<ACK 応答>

応答	接続 ID
0x06	1 バイト

<NAK 応答>

応答	接続 ID
0x15	1 バイト

<Error 応答>

応答	エラーコード	接続 ID
0x1C	2 バイト	1 バイト

<Data 応答>

応答	データ	接続 ID
0x1D	2 バイト	1 バイト

<Projector busy 応答>

応答	ステータスコード	接続 ID
0x1F	2 バイト	1 バイト

<Authentication error 応答>

応答	認証エラーコード		接続 ID
0x1F	0x04	0x00	1 バイト

8. その他の機能（つづき）

8.4 ネットワークによるコマンド制御（つづき）

■ネットワーク接続の自動切断

接続後に 30 秒間通信がなければ、TCP 接続は自動的に切断されます。

■認証

本機の認証には MD5（Message Digest 5）というアルゴリズムを使用しています。認証機能を有効にして本機をコマンド制御するには、本機から送信されるランダムな 8 バイトデータと認証パスワードを MD5 アルゴリズムで処理した認証データを、送信コマンドの先頭に追加する必要があります。

（例）認証パスワード：password

ランダムな 8 バイトデータ：a572f60c

- 1) 本機とコンピュータをネットワークで接続し、本機からランダムな 8 バイトデータを受信します。
- 2) 受信したランダムな 8 バイトデータと認証パスワードを結合した値、
a572f60cpassword
を MD5 アルゴリズムで処理します。
- 3) MD5 アルゴリズムでの処理の結果、
e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde
という認証データを得られます。
- 4) 認証データをコマンドの先頭に付加し、
e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde + コマンド
というデータを送信します。
- 5) 送信データが正しければ、コマンドが実行されて ACK またはデータ応答が返されます。
送信データが正しくない場合、認証エラー応答が返されます。

お知らせ

- 接続している間、2 回目以降のコマンドデータ送信では認証データを省略できます。

8. その他の機能（つづき）

8.5 Crestron RoomView®

Crestron RoomView® は、Crestron Electronics, Inc. の提供する、マルチユーザリソース・マネジメント・プログラムです。RoomView® はプロジェクターやその他の AV 機器などを、一括して管理・制御するアプリケーションです。

Crestron RoomView® の詳細については、Crestron® の web サイトをご覧ください。

URL: <http://www.crestron.com>

RoomView での施設全体の管理に、以下の通信インターフェースを使用することができます。

1) Crestron RoomView® Express / Crestron RoomView® Server Edition / RoomView™

Express と RoomView™ Server Edition は、Crestron Electronics, Inc の提供するソフトウェアです。AV 機器全体を管理し、ヘルプデスクとの通信や、警告メッセージを送ったりすることができます。

このソフトウェアの詳細については、以下の web サイトをご覧ください。

URL: <http://www.crestron.com/getroomview>。

2) Crestron e-Control®

Crestron e-Control® は、web ブラウザ上で操作できる、遠隔制御システムです。

9. トラブルシューティング

本機のネットワーク機能に関して、以下のような現象が起きている場合は、故障ではない場合があります。修理を依頼される前に下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。処置後も現象が改善しない場合は販売店にご相談ください（☎4-40）。

現象	推定原因	確認内容	参考頁
通信 できない	無線信号が弱い	・ コンピュータとプロジェクターを近づけてください。 ・ 無線波はコンクリートや金属（スチール・ドアなど）を通過しません。	-
	無線設定または暗号設定が合っていない	ご使用のコンピュータに無線設定ユーティリティがあれば、その設定を確認してください。設定ユーティリティの説明書を参照してください。	-
	本機とコンピュータのネットワーク設定が正しく設定されていない。	本機とコンピュータのネットワーク設定を確認し、正しく設定しなおしてください。	-
	無線と有線 LAN に同じネットワークアドレスを設定している。	無線と有線 LAN どちらかのネットワークアドレスを変更してください。	3-18, 19
	<無線 LAN のみ> USB 無線アダプターがプロジェクターに挿入されていない	USB 無線アダプター（オプション品）を挿入してください。	-
	<無線 LAN のみ> 周辺に同じ無線 LAN 設定のプロジェクターがある。	SSID もしくは IP アドレスを再設定してください。	3-18
- 本機から正しくない情報が送信される - 本機から情報が送信されない - 本機が応答しない	コンピュータとプロジェクターの間で正しく通信できていない。 プロジェクターのネットワーク機能が正常に動作していない。	「ネットワーク」メニューの「特別な設定」から、「リスタート」を選択し、本機のネットワーク機能を再起動してください。 現象が改善しない場合は、いったん本機の電源を切って電源コードを抜き、再度電源を入れなおしてください。	応用編をご覧ください。

取扱説明書 - 詳細版 -

液晶プロジェクター

CPX10WNJ/CPX11WNJ/ CPWX12WNJ

(形名：CPX10WN/CPX11WN/CPWX12WN)

【技術情報編】

技術情報編では、本機の仕様や通信機能、またエラーメッセージや故障と思われる現象への対処についてご説明します。保証とアフターサービスについては、巻末をご覧ください。



警告

ご使用前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

技術情報編

もくじ



コンピュータ信号について……………	4 - 2	故障かなと思ったら……………	4 - 30
対応信号例……………	4 - 2	一括して初期設定にもどす……………	4 - 30
初期設定信号……………	4 - 3	メッセージ表示……………	4 - 31
入出力信号端子……………	4 - 4	インジケータ表示……………	4 - 33
コマンド制御……………	4 - 9	故障と間違えやすい現象について……………	4 - 35
RS-232C 通信によるコマンド制御……………	4 - 9	保証とアフターサービス	
ネットワークブリッジによるコマンド制御……………	4 - 12	について……………	4 - 39
ネットワークからのコマンド制御……………	4 - 12	お客様ご相談窓口……………	4 - 40
RS-232C 通信 /			
ネットワークコマンド一覧……………	4 - 13		
PJLink™……………	4 - 28		

コンピュータ信号について

対応信号例

解像度 (水平 x 垂直)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	規格	信号モード
720 x 400	37.9	85.0	VESA	TEXT
640 x 480	31.5	59.9	VESA	VGA (60Hz)
640 x 480	37.9	72.8	VESA	VGA (72Hz)
640 x 480	37.5	75.0	VESA	VGA (75Hz)
640 x 480	43.3	85.0	VESA	VGA (85Hz)
800 x 600	35.2	56.3	VESA	SVGA (56Hz)
800 x 600	37.9	60.3	VESA	SVGA (60Hz)
800 x 600	48.1	72.2	VESA	SVGA (72Hz)
800 x 600	46.9	75.0	VESA	SVGA (75Hz)
800 x 600	53.7	85.1	VESA	SVGA (85Hz)
832 x 624	49.7	74.5	—	Mac 16" mode
1024 x 768	48.4	60.0	VESA	XGA (60Hz)
1024 x 768	56.5	70.1	VESA	XGA (70Hz)
1024 x 768	60.0	75.0	VESA	XGA (75Hz)
1024 x 768	68.7	85.0	VESA	XGA (85Hz)
1152 x 864	67.5	75.0	VESA	1152 x 864 (75Hz)
1280 x 768	47.7	60.0	VESA	WXGA (60Hz)
1280 x 800	49.7	60.0	VESA	1280 x 800 (60Hz)
1280 x 960	60.0	60.0	VESA	1280 x 960 (60Hz)
1280 x 1024	64.0	60.0	VESA	SXGA (60Hz)
1280 x 1024	80.0	75.0	VESA	SXGA (75Hz)
*1 1280 x 1024	91.1	85.0	VESA	SXGA (85Hz)
*2 1400 x 1050	65.2	60.0	VESA	SXGA+ (60Hz)
1440 x 900	55.9	59.9	VESA	WXGA+ (60Hz)
*3 1680 x 1050	65.3	60.0	VESA	WSXGA+ (60Hz)
*1 1600 x 1200	75.0	60.0	VESA	UXGA (60Hz)

*1) HDMI 信号では、正しく動作しない場合があります。*2) CPX10WNJ、CPX11WNJのみ

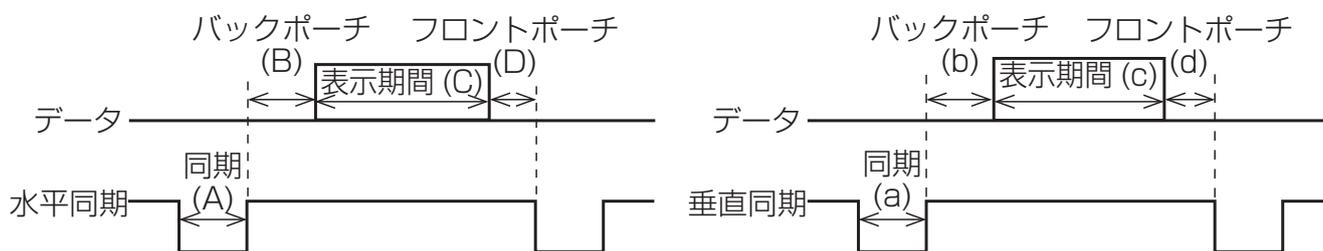
*3) CPWX12WNJのみ

お知らせ

- 本機とコンピュータを接続するまえに、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度などの適合性をあらかじめご確認ください。
- コンピュータによっては複数ディスプレイ表示モードを持っているものがあり、本機では対応できないモードを含む場合があります。
- 入力信号によってはフルサイズで表示されない場合があります。上記の解像度をご参照ください。
- 本機では UXGA(1600 × 1200) の信号まで表示することができますが、信号処理の過程でプロジェクターの液晶パネルの解像度に変換、表示されます。入力信号と液晶パネルの解像度が同一の場合に、映像表示は最良となります。
- 画面の自動調節は入力信号によって正しく動作しない場合があります。
- SYNC ON G、コンポジットシンク信号などの同期信号の場合は、正常に表示できない場合があります。

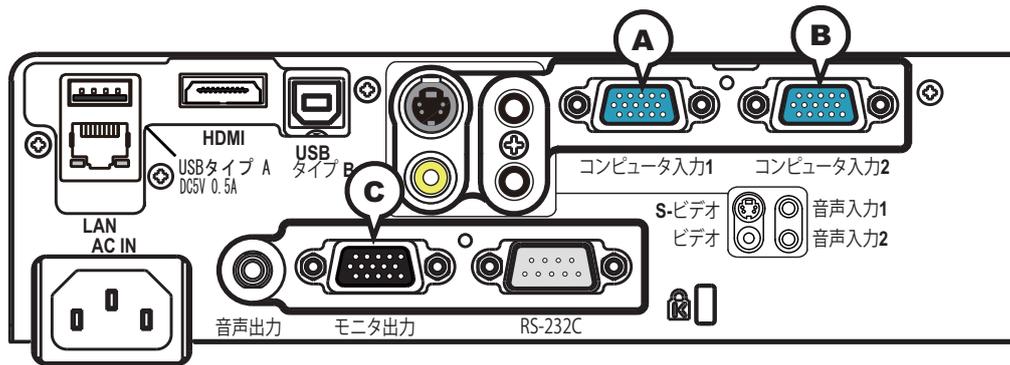
初期設定信号

本機では下記の信号を初期設定していますが、コンピュータは機種によって信号タイミングが異なる場合があります。必要に応じて「表示」メニューの「垂直位置」「水平位置」の調節を行ってください。



解像度 (水平 x 垂直)	水平信号タイミング (μs)				垂直信号タイミング (ライン数)				信号モード
	(A)	(B)	(C)	(D)	(a)	(b)	(c)	(d)	
720 x 400	2.0	3.0	20.3	1.0	3	42	400	1	TEXT
640 x 480	3.8	1.9	25.4	0.6	2	33	480	10	VGA (60Hz)
640 x 480	1.3	4.1	20.3	0.8	3	28	480	9	VGA (72Hz)
640 x 480	2.0	3.8	20.3	0.5	3	16	480	1	VGA (75Hz)
640 x 480	1.6	2.2	17.8	1.6	3	25	480	1	VGA (85Hz)
800 x 600	2.0	3.6	22.2	0.7	2	22	600	1	SVGA (56Hz)
800 x 600	3.2	2.2	20.0	1.0	4	23	600	1	SVGA (60Hz)
800 x 600	2.4	1.3	16.0	1.1	6	23	600	37	SVGA (72Hz)
800 x 600	1.6	3.2	16.2	0.3	3	21	600	1	SVGA (75Hz)
800 x 600	1.1	2.7	14.2	0.6	3	27	600	1	SVGA (85Hz)
832 x 624	1.1	3.9	14.5	0.6	3	39	624	1	Mac 16" mode
1024 x 768	2.1	2.5	15.8	0.4	6	29	768	3	XGA (60Hz)
1024 x 768	1.8	1.9	13.7	0.3	6	29	768	3	XGA (70Hz)
1024 x 768	1.2	2.2	13.0	0.2	3	28	768	1	XGA (75Hz)
1024 x 768	1.0	2.2	10.8	0.5	3	36	768	1	XGA (85Hz)
1152 x 864	1.2	2.4	10.7	0.6	3	32	864	1	1152 x 864 (75Hz)
1280 x 768	1.7	2.5	16.0	0.8	3	23	768	1	WXGA (60Hz)
1280 x 800	1.6	2.4	15.3	0.8	3	24	800	1	WXGA (60Hz)
1280 x 960	1.0	2.9	11.9	0.9	3	36	960	1	WXGA (60Hz)
1280 x 1024	1.0	2.3	11.9	0.4	3	38	1024	1	SXGA (60Hz)
1280 x 1024	1.1	1.8	9.5	0.1	3	38	1024	1	SXGA (75Hz)
1280 x 1024	1.0	1.4	8.1	0.4	3	44	1024	1	SXGA (85Hz)
1400 x 1050	1.2	2.0	11.4	0.7	3	33	1050	1	SXGA+ (60Hz)
1440 x 900	1.4	2.2	13.5	0.8	6	25	900	3	WXGA+ (60Hz)
1680 x 1050	1.2	1.9	11.5	0.7	6	30	1050	3	WSXGA+ (60Hz)
1600 x 1200	1.2	1.9	9.9	0.4	3	46	1200	1	UXGA (60Hz)

入出力信号端子



① コンピュータ入力 1, ② コンピュータ入力 1 ③ モニタ出力

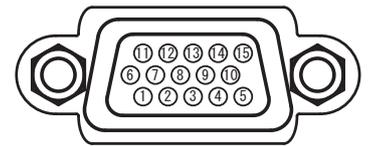
D-sub 15ピン ミニシュリンクジャック

< コンピュータ信号 >

- ・映像信号：RGB セパレート、アナログ 0.7Vp-p、75 Ω 終端（正極性）
- ・水平 / 垂直同期信号（セパレートシンク）：TTL レベル（正極性 / 負極性）
- ・複合同期信号（コンポジットシンク）：TTL レベル

< コンポーネントビデオ信号 >

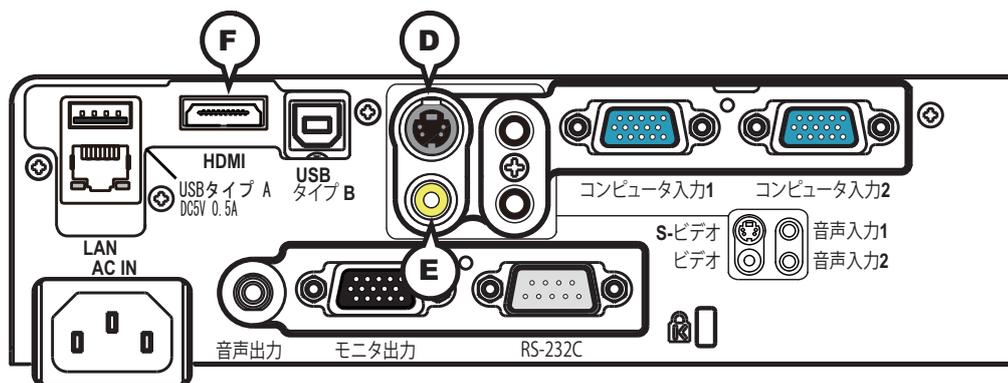
- ・Y：1.0 ± 0.1Vp-p（同期信号含む）、75 Ω 終端
- ・Cb/Pb：0.7 ± 0.1Vp-p、75 Ω 終端
- ・Cr/Pr：0.7 ± 0.1Vp-p、75 Ω 終端
- ・信号方式：480i@60, 480p@60, 576i@50, 576p@50, 720p@50/60, 1080i@50/60, 1080p@50/60



ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	映像信号 赤 Cr/Pr	6	接地 赤 接地 Cr/Pr	11	—
2	映像信号 緑 Y	7	接地 緑 接地 Y	12	①, : SDA (DDC データ), — ②, ③ : —
3	映像信号 青 Cb/Pb	8	接地 青 接地 Cb/Pb	13	水平同期信号 / 複合同期信号, —
4	—	9	—	14	垂直同期信号, —
5	接地	10	接地	15	④ : SCL (DDC クロック), — ⑤, ⑥ : —

お守りください

- 本機の各接続端子は凹んでいるので、L形ではなく、ストレート形プラグのケーブルを使用してください。



㊦ S-ビデオ

ミニ DIN4 ピンジャック

・信号方式：NTSC, PAL, SECAM, PAL-M, PAL-N, NTSC4.43, PAL(60Hz)



ピン No.	信号
1	C (色信号) : 0.286Vp-p(NTSC, burst), 75 Ω終端 0.300Vp-p(PAL / SECAM, burst), 75 Ω終端
2	Y (輝度信号) : 1.0Vp-p, 75 Ω終端
3	接地
4	接地

㊧ ビデオ

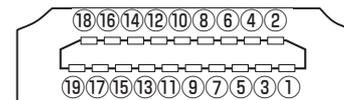
RCA ジャック

・信号方式：NTSC, PAL, SECAM, PAL-M, PAL-N, NTSC4.43, PAL(60Hz)
・入力信号：1.0 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端

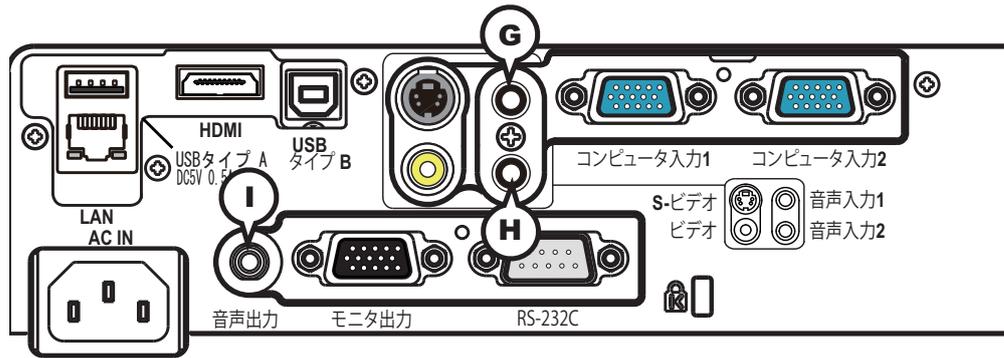
㊦ HDMI

HDMI デジタルオーディオ / ビデオコネクタ

・オーディオ信号：リニア PCM (サンプリング周波数 32/44.1/48 k Hz)



ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	T.M.D.S. データ 2 +	11	T.M.D.S. データ 1 シールド
2	T.M.D.S. データ 2 シールド	12	T.M.D.S. クロック -
3	T.M.D.S. データ 2 -	13	CEC
4	T.M.D.S. データ 2 1+	14	予備 (非結線)
5	T.M.D.S. データ 1 シールド	15	SCL
6	T.M.D.S. データ 1 -	16	SDA
7	T.M.D.S. データ 0 +	17	DDC/CEC グランド
8	T.M.D.S. データ 0 シールド	18	+ 5V 電源
9	T.M.D.S. データ 0 -	19	ホットプラグ検出
10	クロック +		



Ⓒ 音声入力 1, Ⓓ 音声入力 2

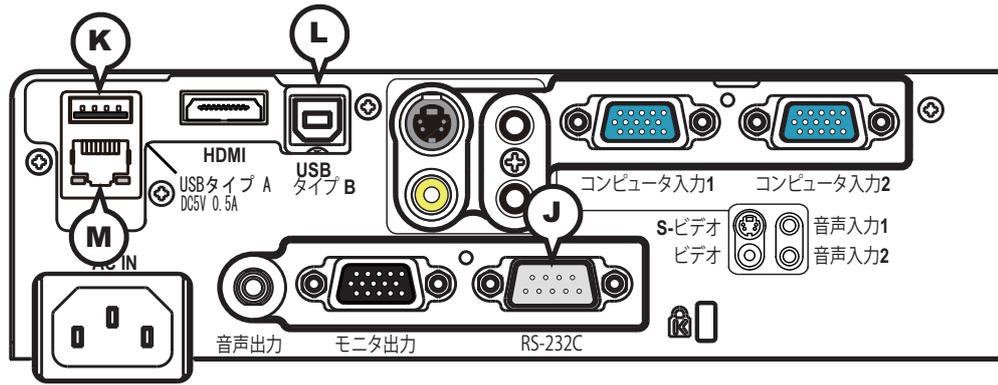
φ 3.5 ステレオミニジャック

・ 入力信号：200mVrms、47k Ω 終端

Ⓘ 音声出力

φ 3.5 ステレオミニジャック

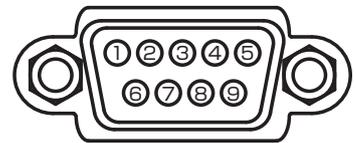
・ 出力信号：200mVrms、出力インピーダンス 1k Ω



① RS-232C

D-sub 9 ピンプラグ

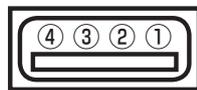
RS-232C 通信については、「RS-232C 通信によるコマンド制御」をご参照ください。



ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	—	4	—	7	RTS
2	RD	5	接地	8	CTS
3	TD	6	—	9	—

Ⓚ USB タイプ A

USB-A ジャック



ピン No.	信号
1	+5V
2	-データ
3	+データ
4	接地

Ⓛ USB タイプ B

USB-B ジャック

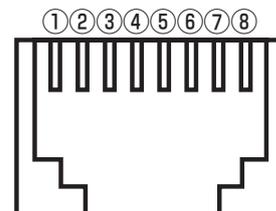


ピン No.	信号
1	+5V
2	-データ
3	+データ
4	接地

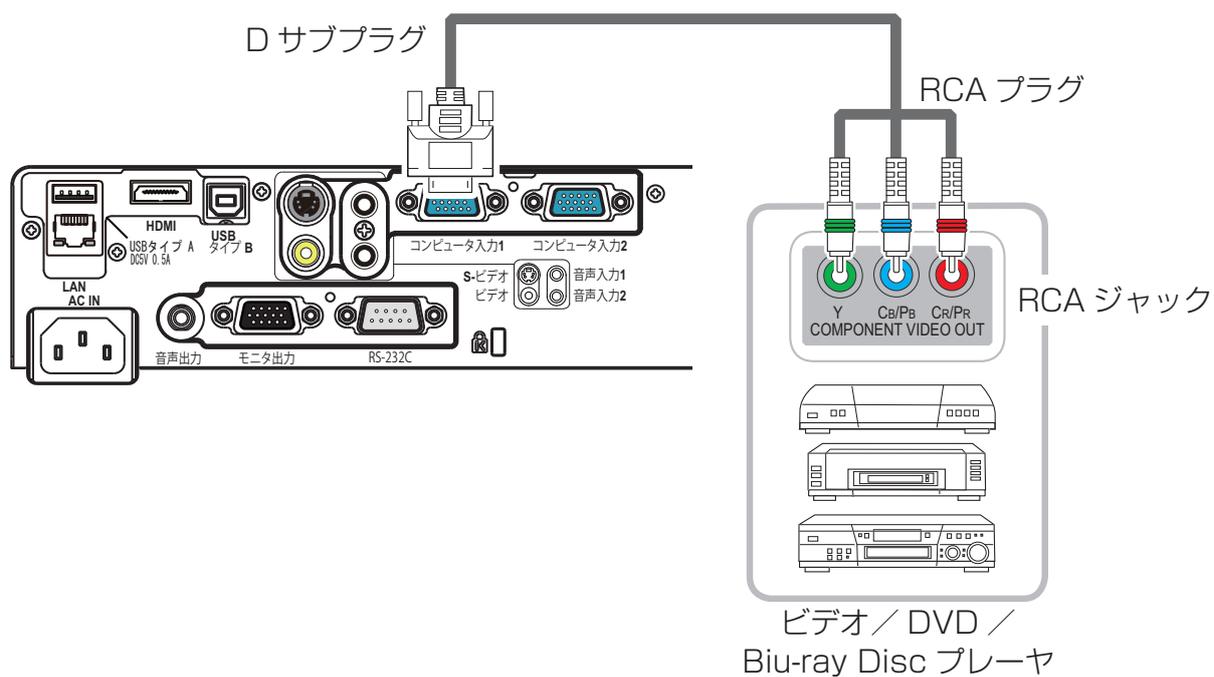
Ⓜ LAN

RJ-45 ジャック

ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	TX +	5	—
2	TX -	6	RX -
3	RX +	7	—
4	—	8	—



コンピュータ入力端子へのコンポーネントビデオ信号の入力について



コンピュータ入力1もしくはコンピュータ入力2端子へのコンポーネントビデオ信号の入力には、RCA-Dサブ変換ケーブルまたはアダプタを使用してください。ケーブルまたはアダプタに要求されるピン仕様については、④コンピュータ入力1、⑤コンピュータ入力2（[図4-4](#)）を参照してください。

コマンド制御

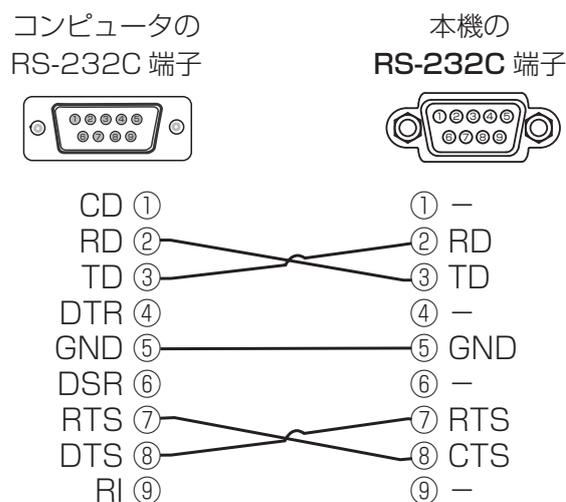
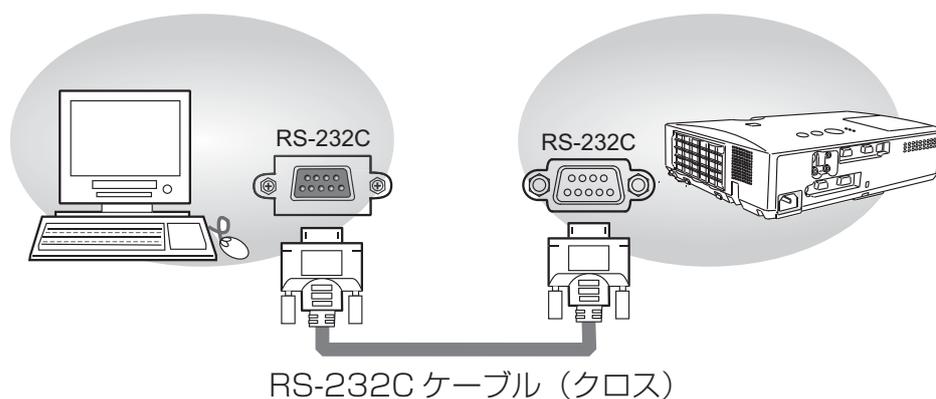
本機は、RS-232C 通信で接続したコンピュータから RS-232C コマンドを使用して制御することができます。

対応する RS-232C コマンドについては、「コマンド一覧」(4-13 ~ 27) をご参照ください。

RS-232C 通信によるコマンド制御

機器の接続と通信設定

1. 本機とコンピュータの電源を切ってください。
2. コンピュータの RS-232C 端子と本機の **RS-232C** 端子を、RS-232C(クロス)ケーブルで接続します。ケーブルは下図の配線仕様のものをご使用ください。
3. コンピュータの電源を入れ、コンピュータが起動した後に、本機の電源を入れてください。
4. 通信タイプを「オフ」に設定してください。



プロトコル

■ボーレート：19200bps

■シリアル設定：8N1

送信コマンド形式 ("h" は 16 進数を示します。)

バイト番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
機能	ヘッダ						データ						
	ヘッダコード		パケット	データサイズ		CRC フラグ		アクション		タイプ		セッティング	
	L	H		L	H	L	H	L	H	L	H	L	H
SET						(aL)	(aH)	01h	00h	(bL)	(bH)	(cL)	(cH)
GET						(aL)	(aH)	02h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h
INCREMENT	BEh	EFh	03h	06h	00h	(aL)	(aH)	04h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h
DECREMENT						(aL)	(aH)	05h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h
EXECUTE						(aL)	(aH)	06h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h

■ヘッダ

[ヘッダコード] : BE EFh、固定

[パケット] : 03h、固定

[データサイズ] : 06 00h、固定

[CRC フラグ] : 「コマンド一覧」(4-13) をご参照ください。

■データ

[アクション] : 機能別コードを設定してください。

(1) Set 《設定》: 01 00h

[タイプ] で指定した項目 [(bL)(bH)] を、[セッティング] で指定した値 [(cL)(cH)] に従って、設定を変更します。

(2) Get 《取得》: 02 00h

[タイプ] で指定した項目 [(bL)(bH)] の設定値を読み出します。

(3) Increment 《増加》: 04 00h

[タイプ] で指定した項目 [(bL)(bH)] の設定値を 1 増やします。

(4) Decrement 《減少》: 05 00h

[タイプ] で指定した項目 [(bL)(bH)] の設定値を 1 減らします。

(5) Execute 《実行》: 06 00h

[タイプ] で指定した機能 [(bL)(bH)] を実行します。

[タイプ] : 「コマンド一覧」 をご参照ください。

[セッティング] : 「コマンド一覧」 をご参照ください。

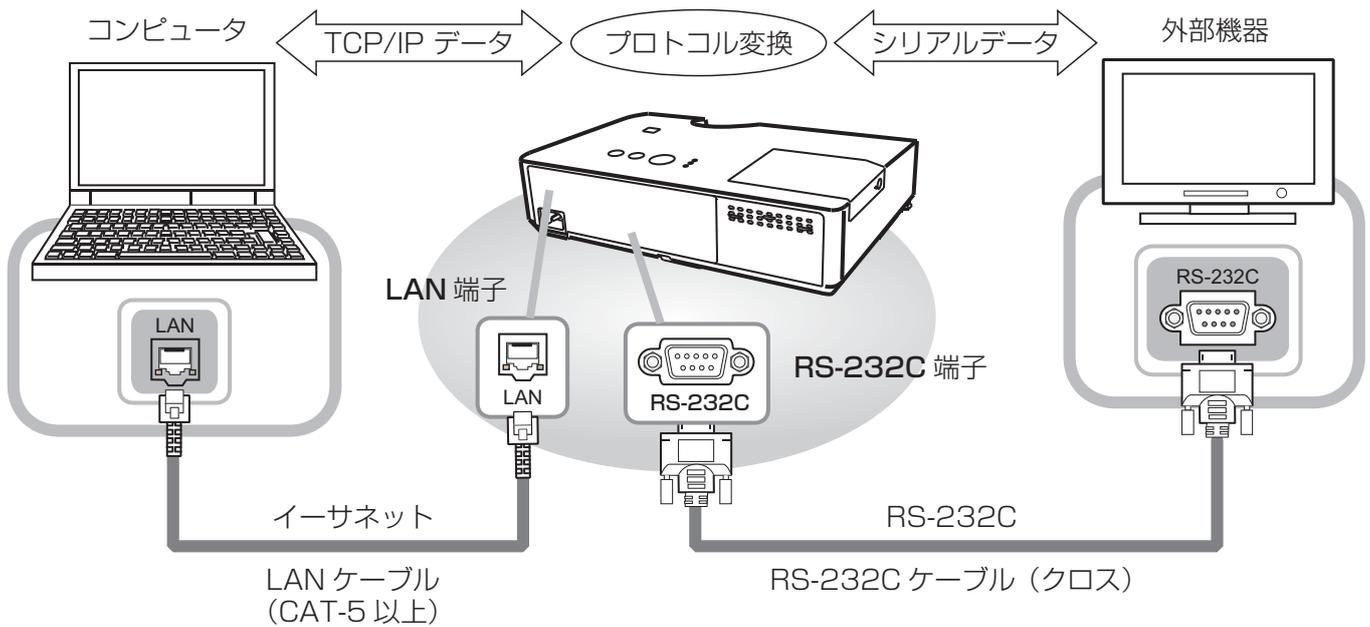
応答コードおよびエラーコード ("h" は 16 進数を示します。)

- (1) ACK 応答 : 06h
Set、Increment、Decrement、Execute コマンドを本機が正常受信し、[タイプ]で指定された項目の設定を変更した場合、このコードを返します。
- (2) NAK 応答 : 15h
本機が無効なコマンドを受信した場合や、本機がコマンドを正しく受信できなかった場合など、本機が受信したコマンドを理解できなかった場合、このコードを返します。
- (3) エラー応答 : 1Ch + 00 00h (00 00h : エラーコード)
本機がコマンドを正常受信し、何らかの理由で実行できなかった場合、エラーコードを付けて返します。
このコードを受信したら、送信したコマンドや、本機の設定状態をご確認ください。
- (4) データ応答 : 1Dh + xx xxh (xx xxh : データ)
Get コマンドを本機が正常受信した場合、2 バイトの回答コード (データ) を付けて返します。

お知らせ

- 機器の接続については、各機器の説明書をよくお読みの上、適切なケーブルで正しく接続してください。
- 本機が未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
- 応答コードと他のコードの間隔は 40ms 以上あけてください。
- 本機に電源を接続したときやランプ点灯後に、本機からテスト用のデータが出力されますが、故障ではありません。
- ウォームアップ中、本機はコマンドを受信できません。
- コマンドの長さが所定より長い場合は余分なコードを無視し、短い場合は、NAK 応答をコンピュータへ送信します。

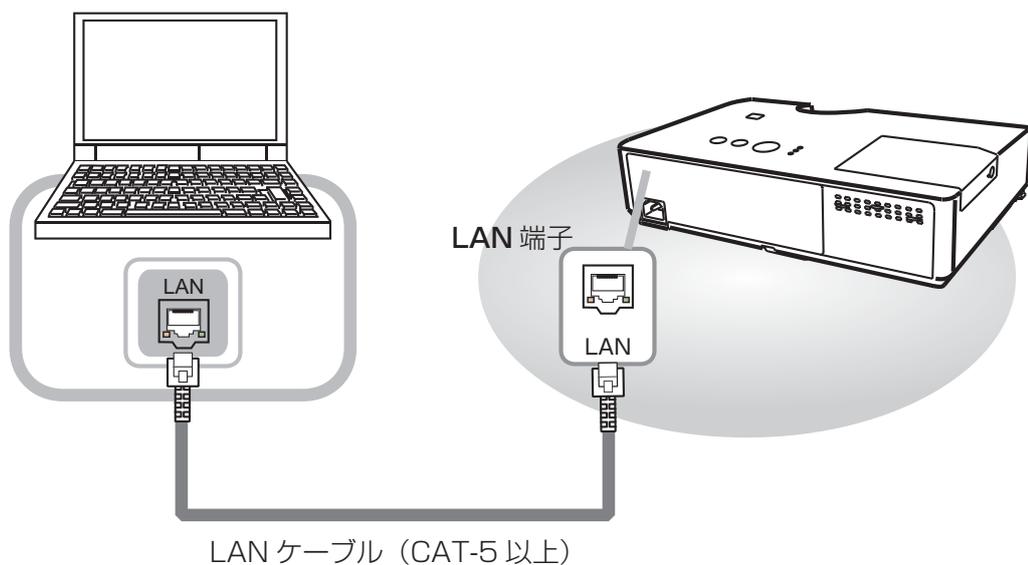
ネットワークブリッジによるコマンド制御



本機はネットワークブリッジ機能に対応しています。本機と RS-232C 通信で接続した外部機器を、本機とイーサネット (LAN) 通信で接続したコンピュータから、ネットワーク端末と同様に制御することができます。

詳しくは【ネットワーク編】「7. ネットワークブリッジ」(3-49 ~ 52) をご覧ください。

ネットワークからのコマンド制御



本機をネットワークに接続すると、ネットワークに接続されたコンピュータから RS-232C 通信 / ネットワークコマンドを使用して本機を制御することができます。

詳しくは【ネットワーク編】「8. ネットワークによるコマンド制御」(3-57 ~ 60) をご覧ください。

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧

RS-232C 通信、またはネットワーク（イーサネット通信）経由で、本機をコマンドで制御する場合の対応コマンドは下表の通りです。

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
パワー	Set	オフ (スタンバイ)	BE EF	03	06 00	2A D3	01 00	00 60	00 00
		オン (ランプオン)	BE EF	03	06 00	BA D2	01 00	00 60	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	19 D3	02 00	00 60	00 00
		回答コード (データ) 例 00 00 01 00 02 00 [スタンバイ] [ランプオン] [冷却動作中]							
入力切替	Set	コンピュータ入力 1	BE EF	03	06 00	FE D2	01 00	00 20	00 00
		コンピュータ入力 2	BE EF	03	06 00	3E D0	01 00	00 20	04 00
		LAN	BE EF	03	06 00	CE D5	01 00	00 20	0B 00
		USB タイプ A	BE EF	03	06 00	5E D1	01 00	00 20	06 00
		USB タイプ B	BE EF	03	06 00	FE D7	01 00	00 20	0C 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	0E D2	01 00	00 20	03 00
		S-ビデオ	BE EF	03	06 00	9E D3	01 00	00 20	02 00
	ビデオ	BE EF	03	06 00	6E D3	01 00	00 20	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	CD D2	02 00	00 20	00 00
エラーステータス	Get		BE EF	03	06 00	D9 D8	02 00	20 60	00 00
		回答コード (データ) 例 00 00 01 00 02 00 03 00 [正常] [ランプカバーエラー] [ファンエラー] [ランプエラー] 04 00 05 00 07 00 08 00 [温度エラー] [吸気エラー] [低温エラー] [フィルターエラー]							
拡大	Get		BE EF	03	06 00	7C D2	02 00	07 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	1A D2	04 00	07 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	CB D3	05 00	07 30	00 00
拡大水平位置	Get		BE EF	03	06 00	C8 D7	02 00	10 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	AE D7	04 00	10 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	7F D6	05 00	10 30	00 00
拡大垂直位置	Get		BE EF	03	06 00	34 D6	02 00	11 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	52 D6	04 00	11 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	83 D7	05 00	11 30	00 00
静止	Set	通常表示	BE EF	03	06 00	83 D2	01 00	02 30	00 00
		静止	BE EF	03	06 00	13 D3	01 00	02 30	01 00
		Get		BE EF	03	06 00	B0 D2	02 00	02 30

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
映像モード	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	23 F6	01 00	BA 30	00 00
		シネマ	BE EF	03	06 00	B3 F7	01 00	BA 30	01 00
		ダイナミック	BE EF	03	06 00	E3 F4	01 00	BA 30	04 00
		黒板(黒)	BE EF	03	06 00	E3 EF	01 00	BA 30	20 00
		黒板(緑)	BE EF	03	06 00	73 EE	01 00	BA 30	21 00
		ホワイトボード	BE EF	03	06 00	83 EE	01 00	BA 30	22 00
		デイトム	BE EF	03	06 00	E3 C7	01 00	BA 30	40 00
		Get	BE EF	03	06 00	10 F6	02 00	BA 30	00 00
回答コード(データ)例 00 00 01 00 04 00 10 00 [ノーマル] [シネマ] [ダイナミック] [カスタム] 20 00 21 00 22 00 40 00 [黒板(黒)] [黒板(緑)] [ホワイトボード] [デイトム]									
明るさ	Get	BE EF	03	06 00	89 D2	02 00	03 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	EF D2	04 00	03 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	3E D3	05 00	03 20	00 00	
明るさリセット	Execute	BE EF	03	06 00	58 D3	06 00	00 70	00 00	
コントラスト	Get	BE EF	03	06 00	FD D3	02 00	04 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	9B D3	04 00	04 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	4A D2	05 00	04 20	00 00	
コントラストリセット	Execute	BE EF	03	06 00	A4 D2	06 00	01 70	00 00	
ガンマ	Set	デフォルト-1	BE EF	03	06 00	07 E9	01 00	A1 30	20 00
		カスタム-1	BE EF	03	06 00	07 FD	01 00	A1 30	10 00
		デフォルト-2	BE EF	03	06 00	97 E8	01 00	A1 30	21 00
		カスタム-2	BE EF	03	06 00	97 FC	01 00	A1 30	11 00
		デフォルト-3	BE EF	03	06 00	67 E8	01 00	A1 30	22 00
		カスタム-3	BE EF	03	06 00	67 FC	01 00	A1 30	12 00
		デフォルト-4	BE EF	03	06 00	F7 E9	01 00	A1 30	23 00
		カスタム-4	BE EF	03	06 00	F7 FD	01 00	A1 30	13 00
		デフォルト-5	BE EF	03	06 00	C7 EB	01 00	A1 30	24 00
		カスタム-5	BE EF	03	06 00	C7 FF	01 00	A1 30	14 00
		デフォルト-6	BE EF	03	06 00	57 EA	01 00	A1 30	25 00
		カスタム-6	BE EF	03	06 00	57 FE	01 00	A1 30	15 00
		Get	BE EF	03	06 00	F4 F0	02 00	A1 30	00 00
ガンマ カスタム パターン	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FB FA	01 00	80 30	00 00
		9ステップ グレイスケール	BE EF	03	06 00	6B FB	01 00	80 30	01 00
		15ステップ グレイスケール	BE EF	03	06 00	9B FB	01 00	80 30	02 00
		ランプ波形	BE EF	03	06 00	0B FA	01 00	80 30	03 00
		Get	BE EF	03	06 00	C8 FA	02 00	80 30	00 00

(次ページにつづく)

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ	ヘッダコード				コマンドデータ		
	設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
カスタムガンマ ポイント-1	Get	BE EF	03	06 00	08 FE	02 00	90 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	6E FE	04 00	90 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	BF FF	05 00	90 30	00 00
カスタムガンマ ポイント-1 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	58 C2	06 00	50 70	00 00
カスタムガンマ ポイント-2	Get	BE EF	03	06 00	F4 FF	02 00	91 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	92 FF	04 00	91 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	43 FE	05 00	91 30	00 00
カスタムガンマ ポイント-2 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	A4 C3	06 00	51 70	00 00
カスタムガンマ ポイント-3	Get	BE EF	03	06 00	B0 FF	02 00	92 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	D6 FF	04 00	92 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	07 FE	05 00	92 30	00 00
カスタムガンマ ポイント-3 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	E0 C3	06 00	52 70	00 00
カスタムガンマ ポイント-4	Get	BE EF	03	06 00	4C FE	02 00	93 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	2A FE	04 00	93 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	FB FF	05 00	93 30	00 00
カスタムガンマ ポイント-4 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	1C C2	06 00	53 70	00 00
カスタムガンマ ポイント-5	Get	BE EF	03	06 00	38 FF	02 00	94 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	5E FF	04 00	94 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	8F FE	05 00	94 30	00 00
カスタムガンマ ポイント-5 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	68 C3	06 00	54 70	00 00
カスタムガンマ ポイント-6	Get	BE EF	03	06 00	C4 FE	02 00	95 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	A2 FE	04 00	95 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	73 FF	05 00	95 30	00 00
カスタムガンマ ポイント-6 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	94 C2	06 00	55 70	00 00
カスタムガンマ ポイント-7	Get	BE EF	03	06 00	80 FE	02 00	96 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	E6 FE	04 00	96 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	37 FF	05 00	96 30	00 00
カスタムガンマ ポイント-7 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	D0 C2	06 00	56 70	00 00
カスタムガンマ ポイント-8	Get	BE EF	03	06 00	7C FF	02 00	97 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	1A FF	04 00	97 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	CB FE	05 00	97 30	00 00
カスタムガンマ ポイント-8 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	2C C3	06 00	57 70	00 00

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
色温度	Set	高 -1	BE EF	03	06 00	0B F5	01 00	B0 30	03 00
		カスタム -1	BE EF	03	06 00	CB F8	01 00	B0 30	13 00
		中 -2	BE EF	03	06 00	9B F4	01 00	B0 30	02 00
		カスタム -2	BE EF	03	06 00	5B F9	01 00	B0 30	12 00
		低 -3	BE EF	03	06 00	6B F4	01 00	B0 30	01 00
		カスタム -3	BE EF	03	06 00	AB F9	01 00	B0 30	11 00
		ハイブライツ -1	BE EF	03	06 00	3B F2	01 00	B0 30	08 00
		カスタム -4	BE EF	03	06 00	FB FF	01 00	B0 30	18 00
		ハイブライツ -2	BE EF	03	06 00	AB F3	01 00	B0 30	09 00
		カスタム -5	BE EF	03	06 00	6B FE	01 00	B0 30	19 00
		ハイブライツ -3	BE EF	03	06 00	5B F3	01 00	B0 30	0A 00
		カスタム -6	BE EF	03	06 00	9B FE	01 00	B0 30	1A 00
		Get	BE EF	03	06 00	C8 F5	02 00	B0 30	00 00
色温度 ゲイン -R		Get	BE EF	03	06 00	34 F4	02 00	B1 30	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	52 F4	04 00	B1 30	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	83 F5	05 00	B1 30	00 00
色温度 ゲイン -R リセット		Execute	BE EF	03	06 00	10 C6	06 00	46 70	00 00
色温度 ゲイン -G		Get	BE EF	03	06 00	70 F4	02 00	B2 30	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	16 F4	04 00	B2 30	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	C7 F5	05 00	B2 30	00 00
色温度 ゲイン -G リセット		Execute	BE EF	03	06 00	EC C7	06 00	47 70	00 00
色温度 ゲイン -B		Get	BE EF	03	06 00	8C F5	02 00	B3 30	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	EA F5	04 00	B3 30	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	3B F4	05 00	B3 30	00 00
色温度ゲイン -B リセット		Execute	BE EF	03	06 00	F8 C4	06 00	48 70	00 00
色温度 オフセット -R		Get	BE EF	03	06 00	04 F5	02 00	B5 30	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	62 F5	04 00	B5 30	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	B3 F4	05 00	B5 30	00 00
色温度 オフセット -R リセット		Execute	BE EF	03	06 00	40 C5	06 00	4A 70	00 00
色温度オフセット -G		Get	BE EF	03	06 00	40 F5	02 00	B6 30	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	26 F5	04 00	B6 30	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	F7 F4	05 00	B6 30	00 00
色温度オフセット -G リセット		Execute	BE EF	03	06 00	BC C4	06 00	4B 70	00 00
色温度 オフセット -B		Get	BE EF	03	06 00	BC F4	02 00	B7 30	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	DA F4	04 00	B7 30	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	0B F5	05 00	B7 30	00 00
色温度 オフセット -B リセット		Execute	BE EF	03	06 00	C8 C5	06 00	4C 70	00 00

(次ページにつづく)

RS-232C 通信 / ネットワークコマンド一覧 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード			コマンドデータ			
		設定内容			CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード	
色の濃さ		Get	BE EF	03	06 00	B5 72	02 00	02 22	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	D3 72	04 00	02 22	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	02 73	05 00	02 22	00 00
色の濃さ リセット		Execute	BE EF	03	06 00	80 D0	06 00	0A 70	00 00
色あい		Get	BE EF	03	06 00	49 73	02 00	03 22	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	2F 73	04 00	03 22	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	FE 72	05 00	03 22	00 00
色あい リセット		Execute	BE EF	03	06 00	7C D1	06 00	0B 70	00 00
画質		Get	BE EF	03	06 00	F1 72	02 00	01 22	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	97 72	04 00	01 22	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	46 73	05 00	01 22	00 00
画質 リセット		Execute	BE EF	03	06 00	C4 D0	06 00	09 70	00 00
マイメモリー ロード	Set	1	BE EF	03	06 00	0E D7	01 00	14 20	00 00
		2	BE EF	03	06 00	9E D6	01 00	14 20	01 00
		3	BE EF	03	06 00	6E D6	01 00	14 20	02 00
		4	BE EF	03	06 00	FE D7	01 00	14 20	03 00
マイメモリー セーブ	Set	1	BE EF	03	06 00	F2 D6	01 00	15 20	00 00
		2	BE EF	03	06 00	62 D7	01 00	15 20	01 00
		3	BE EF	03	06 00	92 D7	01 00	15 20	02 00
		4	BE EF	03	06 00	02 D6	01 00	15 20	03 00
アスペクト	Set	4:3	BE EF	03	06 00	9E D0	01 00	08 20	00 00
		16:9	BE EF	03	06 00	0E D1	01 00	08 20	01 00
		16:10	BE EF	03	06 00	3E D6	01 00	08 20	0A 00
		14:9	BE EF	03	06 00	CE D6	01 00	08 20	09 00
		(*) リアル	BE EF	03	06 00	5E D7	01 00	08 20	08 00
	ノーマル	BE EF	03	06 00	5E DD	01 00	08 20	10 00	
		Get	BE EF	03	06 00	AD D0	02 00	08 20	00 00
オーバースキャン		Get	BE EF	03	06 00	91 70	02 00	09 22	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	F7 70	04 00	09 22	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	26 71	05 00	09 22	00 00
オーバースキャン リセット		Execute	BE EF	03	06 00	EC D9	06 00	27 70	00 00
垂直位置		Get	BE EF	03	06 00	0D 83	02 00	00 21	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	6B 83	04 00	00 21	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	BA 82	05 00	00 21	00 00
垂直位置 リセット		Execute	BE EF	03	06 00	E0 D2	06 00	02 70	00 00

(*) CPWX12WNJ にのみ有効です。

RS-232C 通信/ネットワークコマンド一覧 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード			コマンドデータ			
		設定内容			CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード	
水平位置		Get	BE EF	03	06 00	F1 82	02 00	01 21	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	97 82	04 00	01 21	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	46 83	05 00	01 21	00 00
水平位置 リセット		Execute	BE EF	03	06 00	1C D3	06 00	03 70	00 00
クロック位相		Get	BE EF	03	06 00	49 83	02 00	03 21	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	2F 83	04 00	03 21	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	FE 82	05 00	03 21	00 00
水平サイズ		Get	BE EF	03	06 00	B5 82	02 00	02 21	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	D3 82	04 00	02 21	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	02 83	05 00	02 21	00 00
水平サイズ リセット		Execute	BE EF	03	06 00	68 D2	06 00	04 70	00 00
オートアジャスト 実行		Execute	BE EF	03	06 00	91 D0	06 00	0A 20	00 00
プログレッシブ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	4A 72	01 00	07 22	00 00
		TV	BE EF	03	06 00	DA 73	01 00	07 22	01 00
		フィルム	BE EF	03	06 00	2A 73	01 00	07 22	02 00
		Get	BE EF	03	06 00	79 72	02 00	07 22	00 00
ビデオ NR	Set	弱	BE EF	03	06 00	26 72	01 00	06 22	01 00
		中	BE EF	03	06 00	D6 72	01 00	06 22	02 00
		強	BE EF	03	06 00	46 73	01 00	06 22	03 00
		Get	BE EF	03	06 00	85 73	02 00	06 22	00 00
色空間	Set	オート	BE EF	03	06 00	0E 72	01 00	04 22	00 00
		RGB	BE EF	03	06 00	9E 73	01 00	04 22	01 00
		SMPTE240	BE EF	03	06 00	6E 73	01 00	04 22	02 00
		REC709	BE EF	03	06 00	FE 72	01 00	04 22	03 00
		REC601	BE EF	03	06 00	CE 70	01 00	04 22	04 00
		Get	BE EF	03	06 00	3D 72	02 00	04 22	00 00
ビデオフォーマット - S-ビデオ	Set	オート	BE EF	03	06 00	E6 70	01 00	12 22	0A 00
		NTSC	BE EF	03	06 00	86 74	01 00	12 22	04 00
		PAL	BE EF	03	06 00	16 75	01 00	12 22	05 00
		SECAM	BE EF	03	06 00	16 70	01 00	12 22	09 00
		NTSC4.43	BE EF	03	06 00	26 77	01 00	12 22	02 00
		M-PAL	BE EF	03	06 00	86 71	01 00	12 22	08 00
		N-PAL	BE EF	03	06 00	76 74	01 00	12 22	07 00
		Get	BE EF	03	06 00	75 76	02 00	12 22	00 00
ビデオフォーマット - ビデオ	Set	オート	BE EF	03	06 00	A2 70	01 00	11 22	0A 00
		NTSC	BE EF	03	06 00	C2 74	01 00	11 22	04 00
		PAL	BE EF	03	06 00	52 75	01 00	11 22	05 00
		SECAM	BE EF	03	06 00	52 70	01 00	11 22	09 00
		NTSC4.43	BE EF	03	06 00	62 77	01 00	11 22	02 00
		M-PAL	BE EF	03	06 00	C2 71	01 00	11 22	08 00
		N-PAL	BE EF	03	06 00	32 74	01 00	11 22	07 00
		Get	BE EF	03	06 00	31 76	02 00	11 22	00 00

(次ページにつづく)

RS-232C 通信 / ネットワークコマンド一覧 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
HDMI フォーマット	Set	オート	BE EF	03	06 00	BA 77	01 00	13 22	00 00
		ビデオ	BE EF	03	06 00	2A 76	01 00	13 22	01 00
		コンピュータ	BE EF	03	06 00	DA 76	01 00	13 22	02 00
		Get	BE EF	03	06 00	89 77	02 00	13 22	00 00
HDMI レンジ	Set	オート	BE EF	03	06 00	86 D8	01 00	22 20	00 00
		ノーマル	BE EF	03	06 00	16 D9	01 00	22 20	01 00
		拡張	BE EF	03	06 00	E6 D9	01 00	22 20	02 00
		Get	BE EF	03	06 00	B5 D8	02 00	22 20	00 00
コンピュータ入力- コンピュータ入力 1	Set	オート	BE EF	03	06 00	CE D6	01 00	10 20	03 00
		SYNC ON G オフ	BE EF	03	06 00	5E D7	01 00	10 20	02 00
		Get	BE EF	03	06 00	0D D6	02 00	10 20	00 00
コンピュータ入力- コンピュータ入力 2	Set	オート	BE EF	03	06 00	32 D7	01 00	11 20	03 00
		SYNC ON G オフ	BE EF	03	06 00	A2 D6	01 00	11 20	02 00
		Get	BE EF	03	06 00	F1 D7	02 00	11 20	00 00
フレームロック- コンピュータ入力 1	Set	無効	BE EF	03	06 00	3B C2	01 00	50 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	AB C3	01 00	50 30	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	08 C2	02 00	50 30	00 00
フレームロック- コンピュータ入力 2	Set	無効	BE EF	03	06 00	0B C3	01 00	54 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	9B C2	01 00	54 30	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	38 C3	02 00	54 30	00 00
フレームロック- HDMI	Set	オフ	BE EF	03	06 00	7F C2	01 00	53 30	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	EF C3	01 00	53 30	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	4C C2	02 00	53 30	00 00
オートキーストン実行		Execute	BE EF	03	06 00	E5 D1	06 00	0D 20	00 00
垂直キーストン		Get	BE EF	03	06 00	B9 D3	02 00	07 20	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	DF D3	04 00	07 20	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	0E D2	05 00	07 20	00 00
		Execute	BE EF	03	06 00	08 D0	06 00	0C 70	00 00
オートエコモード	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FB 27	01 00	10 33	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	6B 26	01 00	10 33	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	C8 27	02 00	10 33	00 00
エコモード	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	3B 23	01 00	00 33	00 00
		エコ	BE EF	03	06 00	AB 22	01 00	00 33	01 00
		インテリジェントエコ	BE EF	03	06 00	FB 2E	01 00	00 33	10 00
		Get	BE EF	03	06 00	08 23	02 00	00 33	00 00
設置方法	Set	前面投射 / 机上	BE EF	03	06 00	C7 D2	01 00	01 30	00 00
		背面投射 / 机上	BE EF	03	06 00	57 D3	01 00	01 30	01 00
		背面投射 / 天吊り	BE EF	03	06 00	A7 D3	01 00	01 30	02 00
		前面投射 / 天吊り	BE EF	03	06 00	37 D2	01 00	01 30	03 00
		Get	BE EF	03	06 00	F4 D2	02 00	01 30	00 00
スタンバイモード	Set	通常	BE EF	03	06 00	D6 D2	01 00	01 60	00 00
		省電力	BE EF	03	06 00	46 D3	01 00	01 60	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	E5 D2	02 00	01 60	00 00

RS-232C 通信/ネットワークコマンド一覧 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
モニタ出力 - コンピュータ入力 1	Set	コンピュータ入力 1	BE EF	03	06 00	3E F4	01 00	B0 20	00 00
		オフ	BE EF	03	06 00	CE B5	01 00	B0 20	FF 00
		Get	BE EF	03	06 00	0D F4	02 00	B0 20	00 00
モニタ出力 - コンピュータ入力 2	Set	コンピュータ入力 2	BE EF	03	06 00	CE F7	01 00	B4 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	FE B4	01 00	B4 20	FF 00
		Get	BE EF	03	06 00	3D F5	02 00	B4 20	00 00
モニタ出力 - LAN	Set	コンピュータ入力 1	BE EF	03	06 00	1A F6	01 00	BB 20	00 00
		コンピュータ入力 2	BE EF	03	06 00	DA F4	01 00	BB 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	EAB7	01 00	BB 20	FF 00
	Get	BE EF	03	06 00	29 F6	02 00	BB 20	00 00	
モニタ出力 - USB タイプ A	Set	コンピュータ入力 1	BE EF	03	06 00	B6 F4	01 00	B6 20	00 00
		コンピュータ入力 2	BE EF	03	06 00	76 F6	01 00	B6 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	46 B5	01 00	B6 20	FF 00
	Get	BE EF	03	06 00	85 F4	02 00	B6 20	00 00	
モニタ出力 - USB タイプ B	Set	コンピュータ入力 1	BE EF	03	06 00	6E F7	01 00	BC 20	00 00
		コンピュータ入力 2	BE EF	03	06 00	AE F5	01 00	BC 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	9E B6	01 00	BC 20	FF 00
	Get	BE EF	03	06 00	5D F7	02 00	BC 20	00 00	
モニタ出力 - HDMI	Set	コンピュータ入力 1	BE EF	03	06 00	7A F4	01 00	B3 20	00 00
		コンピュータ入力 2	BE EF	03	06 00	BA F6	01 00	B3 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	8A B5	01 00	B3 20	FF 00
	Get	BE EF	03	06 00	49 F4	02 00	B3 20	00 00	
モニタ出力 - S-ビデオ	Set	コンピュータ入力 1	BE EF	03	06 00	86 F5	01 00	B2 20	00 00
		コンピュータ入力 2	BE EF	03	06 00	46 F7	01 00	B2 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	76 B4	01 00	B2 20	FF 00
	Get	BE EF	03	06 00	B5 F5	02 00	B2 20	00 00	
モニタ出力 - ビデオ	Set	コンピュータ入力 1	BE EF	03	06 00	C2 F5	01 00	B1 20	00 00
		コンピュータ入力 2	BE EF	03	06 00	02 F7	01 00	B1 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	32 B4	01 00	B1 20	FF 00
	Get	BE EF	03	06 00	F1 F5	02 00	B1 20	00 00	
モニタ出力 - スタンバイ	Set	コンピュータ入力 1	BE EF	03	06 00	2A F7	01 00	BF 20	00 00
		コンピュータ入力 2	BE EF	03	06 00	EA F5	01 00	BF 20	04 00
		オフ	BE EF	03	06 00	DA B6	01 00	BF 20	FF 00
	Get	BE EF	03	06 00	19 F7	02 00	BF 20	00 00	
音量 - コンピュータ入力 1		Get	BE EF	03	06 00	CD CC	02 00	60 20	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	AB CC	04 00	60 20	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	7A CD	05 00	60 20	00 00
音量 - コンピュータ入力 2		Get	BE EF	03	06 00	FD CD	02 00	64 20	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	9B CD	04 00	64 20	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	4A CC	05 00	64 20	00 00

(次ページにつづく)

RS-232C 通信 / ネットワークコマンド一覧 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード			コマンドデータ			
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
音量 - LAN		Get	BE EF	03	06 00	E9 CE	02 00	6B 20	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	8F CE	04 00	6B 20	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	5E CF	05 00	6B 20	00 00
音量 - USB タイプ A		Get	BE EF	03	06 00	45 CC	02 00	66 20	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	23 CC	04 00	66 20	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	F2 CD	05 00	66 20	00 00
音量 - USB タイプ B		Get	BE EF	03	06 00	9D CF	02 00	6C 20	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	FB CF	04 00	6C 20	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	2ACE	05 00	6C 20	00 00
音量 - S-ビデオ		Get	BE EF	03	06 00	75 CD	02 00	62 20	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	13 CD	04 00	62 20	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	C2 CC	05 00	62 20	00 00
音量 - ビデオ		Get	BE EF	03	06 00	31 CD	02 00	61 20	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	57 CD	04 00	61 20	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	86 CC	05 00	61 20	00 00
音量 - HDMI		Get	BE EF	03	06 00	89 CC	02 00	63 20	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	EF CC	04 00	63 20	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	3E CD	05 00	63 20	00 00
音量 - スタンバイ		Get	BE EF	03	06 00	D9 CF	02 00	6F 20	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	BF CF	04 00	6F 20	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	6E CE	05 00	6F 20	00 00
消音	Set	通常	BE EF	03	06 00	46 D3	01 00	02 20	00 00
		消音	BE EF	03	06 00	D6 D2	01 00	02 20	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	75 D3	02 00	02 20	00 00
スピーカー	Set	オン	BE EF	03	06 00	FE D4	01 00	1C 20	01 00
		オフ	BE EF	03	06 00	6E D5	01 00	1C 20	00 00
		Get	BE EF	03	06 00	5D D5	02 00	1C 20	00 00
音声入力設定 - コンピュータ入力 1	Set	音声入力 1	BE EF	03	06 00	6E DC	01 00	30 20	01 00
		音声入力 2	BE EF	03	06 00	9E DC	01 00	30 20	02 00
		オフ	BE EF	03	06 00	FE DD	01 00	30 20	00 00
	Get	BE EF	03	06 00	CD DD	02 00	30 20	00 00	
音声入力設定 - コンピュータ入力 2	Set	音声入力 1	BE EF	03	06 00	5E DD	01 00	34 20	01 00
		音声入力 2	BE EF	03	06 00	AE DD	01 00	34 20	02 00
		オフ	BE EF	03	06 00	CE DC	01 00	34 20	00 00
	Get	BE EF	03	06 00	FD DC	02 00	34 20	00 00	
音声入力設定 -LAN	Set	音声入力 1	BE EF	03	06 00	4ADE	01 00	3B 20	01 00
		音声入力 2	BE EF	03	06 00	BADE	01 00	3B 20	02 00
		音声 LAN	BE EF	03	06 00	8AD3	01 00	3B 20	11 00
		オフ	BE EF	03	06 00	DADF	01 00	3B 20	00 00
	Get	BE EF	03	06 00	E9 DF	02 00	3B 20	00 00	

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
音声入力設定 - USB タイプ A	Set	音声入力 1	BE EF	03	06 00	E6 DC	01 00	36 20	01 00
		音声入力 2	BE EF	03	06 00	16 DC	01 00	36 20	02 00
		オフ	BE EF	03	06 00	76 DD	01 00	36 20	00 00
		Get	BE EF	03	06 00	45 DD	02 00	36 20	00 00
音声入力設定 - USB タイプ B	Set	音声入力 1	BE EF	03	06 00	3E DF	01 00	3C 20	01 00
		音声入力 2	BE EF	03	06 00	CE DF	01 00	3C 20	02 00
		音声 USB タイプ B	BE EF	03	06 00	0E D2	01 00	3C 20	12 00
		オフ	BE EF	03	06 00	AE DE	01 00	3C 20	00 00
		Get	BE EF	03	06 00	9D DE	02 00	3C 20	00 00
音声入力設定 - HDMI	Set	音声入力 1	BE EF	03	06 00	2A DC	01 00	33 20	01 00
		音声入力 2	BE EF	03	06 00	DA DC	01 00	33 20	02 00
		音声 HDMI	BE EF	03	06 00	7A C4	01 00	33 20	20 00
		オフ	BE EF	03	06 00	BA DD	01 00	33 20	00 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	7A C4	01 00	33 20	20 00
	Get	BE EF	03	06 00	89 DD	02 00	33 20	00 00	
音声入力設定 - S-ビデオ	Set	音声入力 1	BE EF	03	06 00	D6 DD	01 00	32 20	01 00
		音声入力 2	BE EF	03	06 00	26 DD	01 00	32 20	02 00
		オフ	BE EF	03	06 00	46 DC	01 00	32 20	00 00
		Get	BE EF	03	06 00	75 DC	02 00	32 20	00 00
音声入力設定 - ビデオ	Set	音声入力 1	BE EF	03	06 00	92 DD	01 00	31 20	01 00
		音声入力 2	BE EF	03	06 00	62 DD	01 00	31 20	02 00
		オフ	BE EF	03	06 00	02 DC	01 00	31 20	00 00
		Get	BE EF	03	06 00	31 DC	02 00	31 20	00 00
音声入力設定 - スタンバイ	Set	音声入力 1	BE EF	03	06 00	7A DF	01 00	3F 20	01 00
		音声入力 2	BE EF	03	06 00	8A DF	01 00	3F 20	02 00
		オフ	BE EF	03	06 00	EA DE	01 00	3F 20	00 00
		Get	BE EF	03	06 00	D9 DE	02 00	3F 20	00 00
HDMI AUDIO	Set	1	BE EF	03	06 00	AE C6	01 00	40 20	01 00
		2	BE EF	03	06 00	5E C6	01 00	40 20	02 00
		Get	BE EF	03	06 00	0D C7	02 00	40 20	00 00
LAN 音声有効	Set	無効	BE EF	03	06 00	BA F0	01 00	A3 20	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	2A F1	01 00	A3 20	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	89 F0	02 00	A3 20	00 00
USB タイプ B 音声有効	Set	無効	BE EF	03	06 00	32 F0	01 00	A5 20	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	A2 F1	01 00	A5 20	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	01 F0	02 00	A5 20	00 00

(次ページにつづく)

項目名	オペレーションタイプ	ヘッダコード				コマンドデータ			
	設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード	
表示言語	Set	ENGLISH	BE EF	03	06 00	F7 D3	01 00	05 30	00 00
		FRANÇAIS	BE EF	03	06 00	67 D2	01 00	05 30	01 00
		DEUTSCH	BE EF	03	06 00	97 D2	01 00	05 30	02 00
		ESPAÑOL	BE EF	03	06 00	07 D3	01 00	05 30	03 00
		ITALIANO	BE EF	03	06 00	37 D1	01 00	05 30	04 00
		NORSK	BE EF	03	06 00	A7 D0	01 00	05 30	05 00
		NEDERLANDS	BE EF	03	06 00	57 D0	01 00	05 30	06 00
		PORTUGUÊS	BE EF	03	06 00	C7 D1	01 00	05 30	07 00
		日本語	BE EF	03	06 00	37 D4	01 00	05 30	08 00
		简体中文	BE EF	03	06 00	A7 D5	01 00	05 30	09 00
		繁體中文	BE EF	03	06 00	37 DE	01 00	05 30	10 00
		한글	BE EF	03	06 00	57 D5	01 00	05 30	0A 00
		SVENSKA	BE EF	03	06 00	C7 D4	01 00	05 30	0B 00
		РУССКИЙ	BE EF	03	06 00	F7 D6	01 00	05 30	0C 00
		SUOMI	BE EF	03	06 00	67 D7	01 00	05 30	0D 00
		POLSKI	BE EF	03	06 00	97 D7	01 00	05 30	0E 00
		TÜRKÇE	BE EF	03	06 00	07 D6	01 00	05 30	0F 00
		DANSK	BE EF	03	06 00	A7 DF	01 00	05 30	11 00
		ČESKY	BE EF	03	06 00	57 DF	01 00	05 30	12 00
		MAGYAR	BE EF	03	06 00	C7 DE	01 00	05 30	13 00
		ROMÂNĂ	BE EF	03	06 00	F7 DC	01 00	05 30	14 00
		SLOVENSKI	BE EF	03	06 00	67 DD	01 00	05 30	15 00
		HRVATSKI	BE EF	03	06 00	97 DD	01 00	05 30	16 00
		ΕΛΛΗΝΙΚΑ	BE EF	03	06 00	07 DC	01 00	05 30	17 00
		LIETUVIŲ	BE EF	03	06 00	F7 D9	01 00	05 30	18 00
		EESTI	BE EF	03	06 00	67 D8	01 00	05 30	19 00
		LATVIEŠU	BE EF	03	06 00	97 D8	01 00	05 30	1A 00
		ไทย	BE EF	03	06 00	07 D9	01 00	05 30	1B 00
		اللغة العربية	BE EF	03	06 00	37 DB	01 00	05 30	1C 00
		فارسی	BE EF	03	06 00	A7 DA	01 00	05 30	1D 00
PORTUGUÊS BRA	BE EF	03	06 00	57 DA	01 00	05 30	1E 00		
BAHASA IND	BE EF	03	06 00	C7 DB	01 00	05 30	1F 00		
TIENG VIET	BE EF	03	06 00	37 CA	01 00	05 30	20 00		
Get	BE EF	03	06 00	C4 D3	02 00	05 30	00 00		
上記の表示言語は、一部対応していない場合があります。 詳しくは本機のメニュー画面でご確認ください。									
メニュー水平位置	Get	BE EF	03	06 00	04 D7	02 00	15 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	62 D7	04 00	15 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	B3 D6	05 00	15 30	00 00	
メニュー水平位置 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	DC C6	06 00	43 70	00 00	
メニュー垂直位置	Get	BE EF	03	06 00	40 D7	02 00	16 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	26 D7	04 00	16 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	F7 D6	05 00	16 30	00 00	
メニュー垂直位置 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	A8 C7	06 00	44 70	00 00	

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
ブランク	Set	マイスクリーン	BE EF	03	06 00	FB CA	01 00	00 30	20 00
		オリジナル	BE EF	03	06 00	FB E2	01 00	00 30	40 00
		青	BE EF	03	06 00	CB D3	01 00	00 30	03 00
		白	BE EF	03	06 00	6B D0	01 00	00 30	05 00
		黒	BE EF	03	06 00	9B D0	01 00	00 30	06 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 D3	02 00	00 30	00 00
ブランク オン/オフ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FB D8	01 00	20 30	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	6B D9	01 00	20 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	C8 D8	02 00	20 30	00 00
初期画面	Set	マイスクリーン	BE EF	03	06 00	CB CB	01 00	04 30	20 00
		オリジナル	BE EF	03	06 00	0B D2	01 00	04 30	00 00
		表示しない	BE EF	03	06 00	9B D3	01 00	04 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	38 D2	02 00	04 30	00 00
マイスクリーンロック	Set	無効	BE EF	03	06 00	3B EF	01 00	C0 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	AB EE	01 00	C0 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 EF	02 00	C0 30	00 00
メッセージ	Set	表示しない	BE EF	03	06 00	8F D6	01 00	17 30	00 00
		表示する	BE EF	03	06 00	1F D7	01 00	17 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	BC D6	02 00	17 30	00 00
テンプレート	Set	テストパターン	BE EF	03	06 00	43 D9	01 00	22 30	00 00
		点線 1	BE EF	03	06 00	D3 D8	01 00	22 30	01 00
		点線 2	BE EF	03	06 00	23 D8	01 00	22 30	02 00
		点線 3	BE EF	03	06 00	B3 D9	01 00	22 30	03 00
		点線 4	BE EF	03	06 00	83 DB	01 00	22 30	04 00
		円 1	BE EF	03	06 00	13 DA	01 00	22 30	05 00
		円 2	BE EF	03	06 00	E3 DA	01 00	22 30	06 00
		地図 1	BE EF	03	06 00	83 D4	01 00	22 30	10 00
	地図 2	BE EF	03	06 00	13 D5	01 00	22 30	11 00	
Get		BE EF	03	06 00	70 D9	02 00	22 30	00 00	
テンプレート オン/オフ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	BF D8	01 00	23 30	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	2F D9	01 00	23 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	8C D8	02 00	23 30	00 00
C.C. ディスプレイ	Set	無効	BE EF	03	06 00	FA 62	01 00	00 37	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	6A 63	01 00	00 37	01 00
		オート	BE EF	03	06 00	9A 63	01 00	00 37	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	C9 62	02 00	00 37	00 00
C.C. モード	Set	キャプション	BE EF	03	06 00	06 63	01 00	01 37	00 00
		テキスト	BE EF	03	06 00	96 62	01 00	01 37	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	35 63	02 00	01 37	00 00
C.C. チャンネル	Set	1	BE EF	03	06 00	D2 62	01 00	02 37	01 00
		2	BE EF	03	06 00	22 62	01 00	02 37	02 00
		3	BE EF	03	06 00	B2 63	01 00	02 37	03 00
		4	BE EF	03	06 00	82 61	01 00	02 37	04 00
	Get		BE EF	03	06 00	71 63	02 00	02 37	00 00

(次ページにつづく)

RS-232C 通信 / ネットワークコマンド一覧 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
オートサーチ	Set	無効	BE EF	03	06 00	B6 D6	01 00	16 20	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	26 D7	01 00	16 20	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	85 D6	02 00	16 20	00 00
オートキーストン	Set	無効	BE EF	03	06 00	EA D1	01 00	0F 20	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	7A D0	01 00	0F 20	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	D9 D1	02 00	0F 20	00 00
ダイレクト パワーオン	Set	無効	BE EF	03	06 00	3B 89	01 00	20 31	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	AB 88	01 00	20 31	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	08 89	02 00	20 31	00 00
オート パワーオフ		Get	BE EF	03	06 00	08 86	02 00	10 31	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	6E 86	04 00	10 31	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	BF 87	05 00	10 31	00 00
USB タイプ B	Set	マウス	BE EF	03	06 00	FF 23	01 00	50 26	00 00
		USB ディスプレイ	BE EF	03	06 00	6F 22	01 00	50 26	01 00
		Get	BE EF	03	06 00	CC 23	02 00	50 26	00 00
ランプ時間		Get	BE EF	03	06 00	C2 FF	02 00	90 10	00 00
ランプ時間 リセット		Execute	BE EF	03	06 00	58 DC	06 00	30 70	00 00
フィルター時間		Get	BE EF	03	06 00	C2 F0	02 00	A0 10	00 00
フィルター時間 リセット		Execute	BE EF	03	06 00	98 C6	06 00	40 70	00 00
マイボタン -1	Set	コンピュータ入力 1	BE EF	03	06 00	3A 33	01 00	00 36	00 00
		コンピュータ入力 2	BE EF	03	06 00	FA 31	01 00	00 36	04 00
		LAN	BE EF	03	06 00	0A 34	01 00	00 36	0B 00
		USB タイプ A	BE EF	03	06 00	9A 30	01 00	00 36	06 00
		USB タイプ B	BE EF	03	06 00	3A 36	01 00	00 36	0C 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	CA 33	01 00	00 36	03 00
		S-ビデオ	BE EF	03	06 00	5A 32	01 00	00 36	02 00
		ビデオ	BE EF	03	06 00	AA 32	01 00	00 36	01 00
		スライドショー	BE EF	03	06 00	9A 2B	01 00	00 36	22 00
		マイイメージ	BE EF	03	06 00	5A 3D	01 00	00 36	16 00
		メッセージャー	BE EF	03	06 00	AA 29	01 00	00 36	25 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	FA 3E	01 00	00 36	10 00
		オートキーストン実行	BE EF	03	06 00	6A 3F	01 00	00 36	11 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	9A 3F	01 00	00 36	12 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	0A 3E	01 00	00 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	3A 3C	01 00	00 36	14 00
		AV ミュート	BE EF	03	06 00	AA 38	01 00	00 36	19 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	CA 39	01 00	00 36	1B 00
		解像度	BE EF	03	06 00	9A 3A	01 00	00 36	1E 00
		エコモード	BE EF	03	06 00	0A 25	01 00	00 36	37 00
	Get	BE EF	03	06 00	09 33	02 00	00 36	00 00	

RS-232C 通信 / ネットワークコマンド一覧 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
マイボタン -2	Set	コンピュータ入力 1	BE EF	03	06 00	C6 32	01 00	01 36	00 00
		コンピュータ入力 2	BE EF	03	06 00	06 30	01 00	01 36	04 00
		LAN	BE EF	03	06 00	F6 35	01 00	01 36	0B 00
		USB タイプ A	BE EF	03	06 00	66 31	01 00	01 36	06 00
		USB タイプ B	BE EF	03	06 00	C6 37	01 00	01 36	0C 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	36 32	01 00	01 36	03 00
		S-ビデオ	BE EF	03	06 00	A6 33	01 00	01 36	02 00
		ビデオ	BE EF	03	06 00	56 33	01 00	01 36	01 00
		スライドショー	BE EF	03	06 00	66 2A	01 00	01 36	22 00
		マイ イメージ	BE EF	03	06 00	A6 3C	01 00	01 36	16 00
		メッセージャー	BE EF	03	06 00	56 28	01 00	01 36	25 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	06 3F	01 00	01 36	10 00
		オートキーストン実行	BE EF	03	06 00	96 3E	01 00	01 36	11 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	66 3E	01 00	01 36	12 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	F6 3F	01 00	01 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	C6 3D	01 00	01 36	14 00
		AV ミュート	BE EF	03	06 00	56 39	01 00	01 36	19 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	36 38	01 00	01 36	1B 00
		解像度	BE EF	03	06 00	66 3B	01 00	01 36	1E 00
		エコモード	BE EF	03	06 00	F6 24	01 00	01 36	37 00
	Get	BE EF	03	06 00	F5 32	02 00	01 36	00 00	
マイボタン - エコ	Set	コンピュータ入力 1	BE EF	03	06 00	5A 31	01 00	08 36	00 00
		コンピュータ入力 2	BE EF	03	06 00	9A 33	01 00	08 36	04 00
		LAN	BE EF	03	06 00	6A 36	01 00	08 36	0B 00
		USB タイプ A	BE EF	03	06 00	FA 32	01 00	08 36	06 00
		USB タイプ B	BE EF	03	06 00	5A 34	01 00	08 36	0C 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	AA 31	01 00	08 36	03 00
		S-ビデオ	BE EF	03	06 00	3A 30	01 00	08 36	02 00
		ビデオ	BE EF	03	06 00	CA 30	01 00	08 36	01 00
		スライドショー	BE EF	03	06 00	FA 29	01 00	08 36	22 00
		マイ イメージ	BE EF	03	06 00	3A 3F	01 00	08 36	16 00
		メッセージャー	BE EF	03	06 00	CA 2B	01 00	08 36	25 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	9A 3C	01 00	08 36	10 00
		オートキーストン実行	BE EF	03	06 00	0A 3D	01 00	08 36	11 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	FA 3D	01 00	08 36	12 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	6A 3C	01 00	08 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	5A 3E	01 00	08 36	14 00
		AV ミュート	BE EF	03	06 00	CA 3A	01 00	08 36	19 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	AA 3B	01 00	08 36	1B 00
		解像度	BE EF	03	06 00	FA 38	01 00	08 36	1E 00
		エコモード	BE EF	03	06 00	6A 27	01 00	08 36	37 00
ブランク	BE EF	03	06 00	9A 00	01 00	08 36	40 00		
静止	BE EF	03	06 00	0A 01	01 00	08 36	41 00		
音量	BE EF	03	06 00	FA 01	01 00	08 36	42 00		
オート	BE EF	03	06 00	6A 00	01 00	08 36	43 00		
	Get	BE EF	03	06 00	69 31	02 00	08 36	00 00	

(次ページにつづく)

RS-232C 通信 / ネットワークコマンド一覧 (つづき)

項目名	オペレーションタイプ	ヘッダコード				コマンドデータ			
	設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード	
マイソース	Set	コンピュータ入力 1	BE EF	03	06 00	FA 38	01 00	20 36	00 00
		コンピュータ入力 2	BE EF	03	06 00	3A 3A	01 00	20 36	04 00
		LAN	BE EF	03	06 00	CA 3F	01 00	20 36	0B 00
		USB タイプ A	BE EF	03	06 00	5A 3B	01 00	20 36	06 00
		USB タイプ B	BE EF	03	06 00	FA 3D	01 00	20 36	0C 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	0A 38	01 00	20 36	03 00
		S-ビデオ	BE EF	03	06 00	9A 39	01 00	20 36	02 00
	ビデオ	BE EF	03	06 00	6A 39	01 00	20 36	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	C9 38	02 00	20 36	00 00	
マイイメージ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	3A C3	01 00	00 35	00 00
		画像 -1	BE EF	03	06 00	AA C2	01 00	00 35	01 00
		画像 -2	BE EF	03	06 00	5A C2	01 00	00 35	02 00
		画像 -3	BE EF	03	06 00	CA C3	01 00	00 35	03 00
	画像 -4	BE EF	03	06 00	FA C1	01 00	00 35	04 00	
	Get	BE EF	03	06 00	09 C3	02 00	00 35	00 00	
マイイメージ消去 画像 -1	Execute	BE EF	03	06 00	71 C3	06 00	01 35	00 00	
マイイメージ消去 画像 -2	Execute	BE EF	03	06 00	35 C3	06 00	02 35	00 00	
マイイメージ消去 画像 -3	Execute	BE EF	03	06 00	C9 C2	06 00	03 35	00 00	
マイイメージ消去 画像 -4	Execute	BE EF	03	06 00	BD C3	06 00	04 35	00 00	
音声 - オール	Get	BE EF	03	06 00	CD C3	02 00	50 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	AB C3	04 00	50 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	7A C2	05 00	50 20	00 00	

本機は、PJLink™ の Class 1 に適合しています。

PJLink™ プロトコルを使用してプロジェクターを制御するには、下表をご参照ください。

コマンド	制御説明	送信 又は 回答パラメータ
POWR	パワーオン/オフ	0 = スタンバイ 1 = パワー (ランプ) オン
POWR ?	パワーステータス確認	0 = スタンバイ 1 = パワー (ランプ) オン 2 = 冷却動作中
INPT	入力信号切替	11 = コンピュータ入力 1 12 = コンピュータ入力 2 22 = S-ビデオ 23 = ビデオ 31 = HDMI 41 = USB タイプ A 51 = LAN 52 = USB タイプ B
INPT ?	受信信号確認	11 = コンピュータ入力 1 12 = コンピュータ入力 2 22 = S-ビデオ 23 = ビデオ 31 = HDMI 41 = USB タイプ A 51 = LAN 52 = USB タイプ B
AVMT	AV ミュート	10 = ブランクオフ (通常画面表示) 11 = ブランク画面表示 20 = 消音オフ (通常音声出力) 21 = 消音 30 = AV ミュートオフ (通常画面表示、音声出力) 31 = AV ミュートオン
AVMT ?	AV ミュート状態確認	10 = ブランクオフ中 (通常画面表示中) 11 = ブランク画面表示中 20 = 消音オフ中 (通常音声出力中) 21 = 消音中 30 = AV ミュートオフ中 (通常画面表示、音声出力中) 31 = AV ミュートオン中

(次ページにつづく)

コマンド	制御説明	送信 又は 回答パラメータ
ERST?	エラーステータス確認	6byte の回答コードが返されます。 回答コードの各エラーステータスは以下の通りです。 0 = 正常 1 = 警告 2 = エラー 1st byte : ファンエラー 2nd byte : ランプエラー 3rd byte : 温度エラー 4th byte : ランプカバーエラー 5th byte : フィルターエラー 6th byte : その他のエラー
LAMP ?	ランプステータス確認	1 データ目 : ランプ使用時間 (0 ~ 99999 時間) 2 データ目 : 0 = ランプ消灯中、1 = ランプ点灯中
INST ?	入力端子確認	11 12 21 22 23 31 41 51 52 ※本機の入力端子が回答されます。
NAME ?	プロジェクター名確認	「ネットワーク」メニュー (☑2-34) の「プロジェクター名」 (☑2-41) で設定した、本機の名前が回答されます。
INF1 ?	製造者名	HITACHI
INF2 ?	機種名確認	CPX10WN CPX11WN CPWX12WN ※ご使用のプロジェクターの機種名が回答されます。
INFO ?	その他の情報確認	※工場調節などに関する情報が回答されます。
CLSS ?	クラス情報確認	1

お知らせ

- PJLink™ はデータプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。PJLink™ の仕様については PJLink™ の Web サイトをご覧ください。
URL: <http://pjlink.jbmia.or.jp/> (2011年10月現在)
- PJLink™ のパスワードは、Web コントロールの“セキュリティ設定” (☑3-29) で設定した認証パスワードと共用です。PJLink™ を認証なしで使用する場合は、認証パスワードを設定しないでください。

故障かなと思ったら

警告



電源プラグを
コンセント
から抜け

●異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする、などの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。その後、煙やにおい、音などが止まったことを確認し、販売店にご連絡ください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

●次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店に相談する

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

また、お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

- ▶ 内部に異物や液体（金属や水）が入った
- ▶ 落とした、強い衝撃をあたえた
- ▶ 本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある

ご使用のまえに、必ず「正しくお使いいただくために」(P1-2～11)をお読みください。

異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

その他の問題が起きた場合は、修理を依頼される前に、以下の「一括して初期設定にもどす」、「メッセージ表示について」、「インジケータ表示について」、「故障と間違えやすい現象について」をご確認いただき、必要と思われる処置を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、販売店またはお客様ご相談窓口 (P4-40) にご相談ください。

一括して初期設定にもどす

誤って本機のメニュー設定を行い、元に戻せなくなったときには、一括初期化機能をご使用ください。

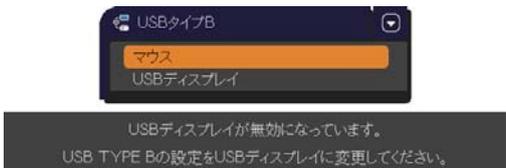
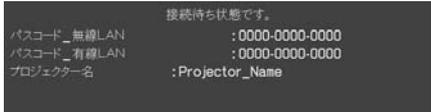
「その他」メニューの「特別な設定」－「工場出荷設定」(P2-33)で「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。

お知らせ

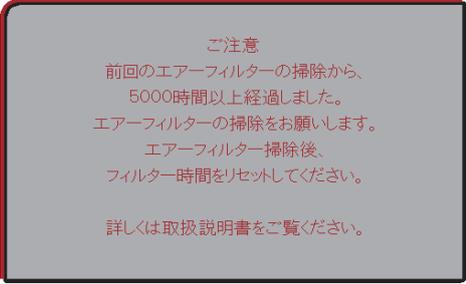
- マイスクリーンパスワード (P2-46) が設定されていない場合は、マイスクリーン画像もクリアされます。
- マイスクリーンパスワードが設定されている場合は、「初期画面」、「マイスクリーンロック」は初期化されません。
- 「ランプ時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」、および「表示言語」、また「セキュリティ」メニューの各項目は、一括初期化機能では初期化されません。「ランプ時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」を初期化するには、個別にリセット ボタンを押すなどの初期化操作を行ってください。

メッセージ表示

本機の電源を入れたときに、下表のようなメッセージが表示されることがあります。メッセージが表示されたら下表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。

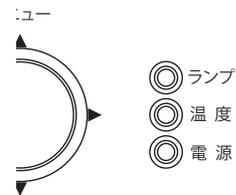
メッセージ	内容
	<p>入力信号が見つかりません。以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？ (☞1-20) ・信号源 (DVD、ビデオ、コンピュータなど) は正しく動作していますか？
	<p>USB タイプ B 端子がマウス用に選択の場合でも、静止画入力ポートとして選択されます。</p> <p>画像を表示するには、ダイアログより USB ディスプレイを選択し、USB タイプ B から画像を表示します。</p> <p>この場合は、簡易マウス/キーボードとしてご使用いただけません。ご使用になりたい場合は、他の入力端子をご使用ください。</p>
	<p>本機は接続待ち状態です。</p> <p>機器との接続、本機の設定およびネットワーク関連の設定をご確認ください。</p>
	<p>コンピュータと本機のネットワークが切れていると思われます。再接続してください。</p>
	<p>入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力している信号は本機の仕様 (☞3-2) に合っていますか？ ・信号源 (DVD、ビデオ、コンピュータなど) は正しく動作していますか？

メッセージ表示 (つづき)

メッセージ	内 容
	<p>入力信号の水平又は垂直周波数が安定していません。 以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力している信号は本機の仕様(☞4-4～8)に合っていますか？ ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？ (☞1-20) ・信号源(DVD、ビデオ、コンピュータなど)は正しく動作していますか？ <p>信号入力切替機を介して信号源と本機を接続している場合は、信号源と本機を直接接続してみてください。左記のメッセージが表示されなくなる場合は、ご使用の信号入力切替機の仕様をご確認ください。</p>
	<p>内部の温度が高すぎるか、短時間に上昇もしくは下降しました。すぐに本機の電源を抜き、20分以上冷ましてから、以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吸気口、排気口はふさがっていませんか？(☞1-7,14) ・エアフィルターは汚れていませんか？(☞1-40) ・周囲温度が35℃を超えていませんか？ ・エアコンなどの風が本機にあたっていませんか？ ・プロジェクターが標高約1600mもしくはそれ以上の場合、「その他」メニューの「特別な設定」の「高地モード」を「高地」に設定してください。誤った設定のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与えるおそれがあります。
	<p>エアフィルターのお手入れ時期です。すぐに電源を切って電源プラグを抜きしばらく待って十分冷ましてから、エアフィルターを掃除または交換(☞1-40)してもう一度電源を入れてください。エアフィルターを掃除または交換したら、「その他」メニューの「フィルター時間」(☞2-27)を使って、忘れずにフィルター時間を初期化してください。</p>
	<p>無効なボタンが押されました。 ご利用になるボタンを再度確認してください。</p>

インジケータ表示

電源、温度、ランプインジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。なんらかの問題がある場合は下表に従って処置してください。処置後もインジケータが同様に点灯、点滅したり、下表に記載されていない点灯や点滅が見られた場合は、販売店にご相談ください。



電源	温度	ランプ	内容
橙色の点灯	消灯	消灯	本機はスタンバイ状態です。 この状態で電源を入れる（ランプを点灯させる）または電源プラグを抜くことができます。（ Q1-25,27 ）
緑色の点滅	消灯	消灯	本機はウォームアップ中です。 電源 インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
緑色の点灯	消灯	消灯	本機は通常の動作状態です。
橙色の点滅	消灯	消灯	本機は冷却動作中です。 電源 インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
赤色の点滅	—	—	不具合が見つかったため、本機は冷却動作中です。 電源インジケータの点滅が止まるまでお待ちになり、ランプインジケータおよび温度インジケータの状態により、以下に従って処置してください。
赤色の点灯 または 赤色の点滅	消灯	赤色の点灯	ランプが点灯しない、または本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・吸気口、排気口はふさがっていませんか？（ Q1-7,14 ） ・エアフィルターは汚れていませんか？（ Q1-40 ） ・周囲温度が 35℃を超えていませんか？ ・エアコンなどの風が本機にあたっていないですか？ ・ランプは正しく取り付けられていますか？ 再度電源を入れたときにインジケータ表示が変わらない場合は、ランプを交換してください。（ Q1-38,39 ）
赤色の点灯 または 赤色の点滅	消灯	赤色の点滅	ランプまたはランプカバーがはずれているか、取付けが不完全です。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、45分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプまたはランプカバーの取付け状態をご確認（ Q1-39 ）のうえ、もう一度電源を入れてください。

技術情報編

インジケータ表示について (つづき)

電源	温度	ランプ	内 容
赤色の点灯 または 赤色の点滅	赤色の点滅	消 灯	冷却ファンが動作しません。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20分以上待つて冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認ください。 のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・ファンに異物がはさまったりしていませんか？ ・本機の周辺に磁気を発生するものはありませんか？
赤色の点灯 または 赤色の点滅	赤色の点灯	消 灯	本機内部の温度が上がりすぎているか、短時間に大きく上昇、下降した可能性があります。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20分以上待つて冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認ください。 のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・吸気口、排気口はふさがっていませんか？ (☞1-7, 14) ・エアフィルターは汚れていませんか？ (☞1-40) ・周囲温度が35℃を超えていませんか？ 再度電源を入れたときにインジケータ表示が変わらない場合は、プロジェクターが標高約1600mもしくはそれ以上の場合、「その他」メニューの「特別な設定」の「高地モード」を「高地」に設定してください。 誤った設定のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与えるおそれがあります。
緑色の点灯	ランプインジケータと 温度インジケータが 同時に赤色の点滅		エアフィルターが汚れている可能性があります。エアフィルターのお手入れ時期です。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待つて冷ましてください。本機が十分に冷えてからエアフィルターを掃除または交換 (☞1-40) し、もう一度電源を入れてください。 エアフィルターを掃除または交換したら、「その他」メニューの「フィルター時間」 (☞2-27) を使って、忘れずにフィルター時間を初期化してください。
緑色の点灯	ランプインジケータと 温度インジケータが 交互に赤色の点滅		内部温度が下がりすぎている可能性があります。 適切な温度環境 (5 ~ 35℃) でご使用ください。本機の電源を切り、周囲の気温をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。
緑色の点滅 約3秒間	消 灯	消 灯	少なくとも1つの”電源オン”スケジュールが本機に保存されています。 詳細は【ネットワーク編】「スケジュール設定」をご覧ください。

お知らせ

- 内部温度が上がりすぎたり、ランプやランプカバーの取付けが不完全な場合など、本機では安全のため、自動的に電源が切れることがあります。このときインジケータランプも消灯することがありますのでご注意ください。この場合はすぐに電源コードを抜いて、45分以上待つて冷ましてください。ランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。「ランプを交換する」 (☞1-39) をご覧ください。プロジェクターが標高約1600mもしくはそれ以上の場合、「その他」メニューの「特別な設定」の「高地モード」を「高地」に設定してください。誤った設定のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与えるおそれがあります。

故障と間違えやすい現象について

以下のような現象は故障ではない場合があります。

修理をご依頼になるまえに、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。

処置後も現象が改善しない場合は販売店またはお客様ご相談窓口（☎4-40）にご相談ください。

現象	確認内容	参考頁
電源が入らない	電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードの接続状態を確認し、正しく接続してください。	☎1-25
	停電などで、動作中に電源が切れませんでしたか？ その場合は電源コードを抜いて10分以上待って冷まし、もう一度電源を入れてください。	☎1-26
	ランプおよびランプカバーは正しく取付けられていますか？ すぐに電源コードを抜いて45分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。	☎1-27 ☎1-39
映像も音声も出ない	信号ケーブルは正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	☎1-20
	信号源(DVD、ビデオ、コンピュータなど)は正しく動作していますか？ 信号源の電源や設定を確認してください。	—
	信号が入力されている端子を選んでいませんか？ 映像信号を選択しなおしてください。	☎1-30
	AV ミュート機能が働いていませんか？ ブランクボタンまたは消音ボタンを押して確認してください。	☎1-29,37
映像は出るが 音が出ない	音声信号は正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	☎1-20
	音量が小さく調節されていませんか？ 音量を調節して大きくしてください。	☎1-29
	音声を消していませんか？ 消音ボタンまたは音量+ / - ボタンを押し、音声を復帰させてください。	☎1-29
	音声信号の入力端子および内蔵スピーカーが正しく設定されていますか？ 「オーディオ」メニューの「スピーカー」、「音声入力設定」の設定を確認してください。	☎2-19
	本機の「HDMI AUDIO」は正しく設定されていますか？ 「オーディオ」メニューの「HDMI AUDIO」の設定を切り替えてみてください。	☎2-19
	音ボタンもしくはチェックボックスにチェックが入っている。 USB タイプ B が選択されている場合は、「USB 用 LiveViewer Lite」の「その他」画面の「サウンド」のチェックを外してください。 LAN を選択している場合は、同様にチェックを外してください。	☎2-63

故障と間違えやすい現象について (つづき)

現象	確認内容	参考頁
音声は出るが 映像が出ない	レンズカバーは外れていますか？ レンズカバーを外してください。	📖1-13
	信号ケーブルは正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	📖1-20
	画面の明るさが極端に暗く調節されていませんか？ 「映像」メニューの「明るさ」を調節して明るくしてください。	📖2-6
	接続しているコンピュータがプラグ&プレイ・モニタを検知できますか？ 他のプラグ・アンド・プレイ・モニタを使用して、コンピュータがプラグ・アンド・プレイ・モニタを検知することができるか確認してください。	📖1-20
	ブランク画面になっていませんか？ ブランクボタンを押して確認してください。	📖2-20
	USB タイプ B 端子がマウス用に選択の場合でも、静止画入力ポートとして選択されます。 画像を表示するには、ダイアログより USB ディスプレイを選択し、USB タイプ B から画像を表示します。 この場合は、簡易マウス/キーボードとしてご使用いただけません。 ご使用になりたい場合は、他の入力端子をご使用ください。	📖2-26
USB タイプ B 端子 が選択されていても“接続待ち状態です。”の表示は消えません。 USB ケーブルを外し、しばらくしてから接続してください。	📖2-60	
映像が出ない または 映像が乱れる	本機が USB タイプ A 端子に接続されています USB メモリーを認識できていません。 まずは、「USB 取り外し」機能を使用し、USB メモリーを外します。 USB メモリーを外す前に、USB タイプ A 端子が選択され、表示されますサムネール画面の「USB 取り外し」機能を必ず使用してください。	📖2-61
映像が動かない (静止している)	静止ボタンで映像を静止させていませんか？ 静止ボタンを押して確認してください。	📖1-36
色が薄い、 色あいが悪い	色の濃さや色あいが正しく調節されていますか？ 「映像」メニューの「色の濃さ」、「色あい」を調節してください。	📖2-7
	色空間、信号方式は正しく選択されていますか？ 「入力」メニューの「色空間」、「ビデオフォーマット」の設定を変更してください。	📖2-12,13
映像が暗い	画面の明るさやコントラストが暗く設定されていませんか？ 「映像」メニューの、「明るさ」、「コントラスト」を調節して明るくしてください。	📖2-6
	エコモードが設定されていませんか？ 「設置メニュー」の「エコモード」を「ノーマル」に、「オートエコモード」を「オフ」にして設定してご使用ください。	📖2-16,17
	ランプは寿命に近づいていませんか？ ランプを交換してください。	📖1-38,39

現象	確認内容	参考頁
映像がぼやける、もやがかかってみえる、映像周辺が明るい	フォーカス、クロック位相は調節されていますか？ フォーカス、および「表示」メニューの「クロック位相」を調節してください。	📖 1-33, 2-10
	レンズが汚れたり、くもったりしていませんか？ レンズをお手入れしてください。	📖 1-42
ちらつきや縞模様など、画像ノイズが現れる	「エコ」モードで使用していませんか？ 「エコ」モードでのご使用中には、ちらつきが発生する場合があります。気になる場合は、「設置メニュー」の「エコモード」を「ノーマル」に、「オートエコモード」を「オフ」に設定してご使用ください。	📖 2-16,17
	「オーバースキャン」を大きく設定しすぎていませんか？ 「表示」メニューで「オーバースキャン」を調節し直してください。	📖 2-9
	「ビデオ NR」を強く設定していませんか？ 「入力」メニューで「ビデオ NR」を「中」か「弱」に設定してみてください。	📖 2-12
	フレームロック機能を有効にしていますか？ 信号によっては、フレームロック機能が動作しない場合があります。「入力」メニューで、選択している入力端子の「フレームロック」を「無効」にしてみてください。	📖 2-14
音声出力端子から信号が出力されない (スタンバイ時)	「スタンバイモード」が「省電力」モードに設定されていませんか？ 「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。	📖 2-18
本機を動かした時、内部からパタパタ音がする。	本機の設置姿勢に合わせて内部で空調の切り替えを行うフラップが動く音です。故障や不具合ではありません。	-
音声、または映像が安定しない、または断続的に出力される	LAN、USB タイプ A、USB タイプ B 端子を選択している場合は、信号処理の遅延により、出力に欠落が生じる場合があります。 信号を変更するか、他の端子をご利用ください。	📖 1-31
プロジェクターの USB タイプ B 端子に接続しているコンピュータが起動しない。	コンピュータがこの設定での起動できない。一旦 USB ケーブルをコンピュータから抜き、起動した後に再接続してください。	「かんたんガイド」
RS-232C が動作していません。	省電力機能が動いています。 スタンバイモードを通常に設定してください。	📖 2-18
	コントロール端子の通信タイプがネットワークブリッジを選択しています。「通信メニュー」-「特別なあ設定」-「その他」にて通信タイプを「オフ」に設定してください。	📖 2-31

故障と間違えやすい現象について (つづき)

現象	確認内容	参考頁
ネットワークブリッジ機能が動作していません。	ネットワークブリッジ機能がオフになっています。 「通信メニュー」－「特別な設定」－「その他」にて通信タイプを「ネットワークブリッジ」に設定してください。	📖2-31
ネットワークが動作していません。	省電力が動作しています。 セットアップメニューのスタンバイモードで通常を選択してください。	📖2-18
	有線 LAN と無線 LAN のネットワークアドレスが同じになっています。 有線 LAN と無線 LAN のネットワークアドレスを再設定してください。	📖2-34 📖2-39
スケジュール機能が動作しない。	省電力機能が動作しています。 セットアップメニューのスタンバイモードで通常を選択してください。	📖2-18
	内蔵時計がリセットされました。 本機を省電力モードの際に AC 電源から電源を切った場合は、現在の日付と時刻設定がリセットされます。 ネットワークメニューの日付と時刻の設定で無線 LAN もしくは有線 LAN 設定を確認してください。	📖2-36 📖2-40
<p>本機が有線 LAN に接続されている場合、電源が以下のように切り替えます。</p> <p>電源「オフ」 ←</p> <p>↓</p> <p>数回電源インジケータがオレンジ色に点滅</p> <p>↓</p> <p>スタンバイモードに切り替わります。</p>	<p>プロジェクターから LAN ケーブルを抜いて、プロジェクターが正常に動作することを確認してください。</p> <p>ネットワークに接続すると症状 (症状 A) が現れる場合は、以下のケースのように、ネットワーク内に 2 つのイーサネットスイッチングハブ間のループ接続があることが考えられます。</p> <p>(上記の「以下に説明するケース」の要件①として) ・ネットワーク内に 2 つ以上のイーサネットスイッチングハブがある (上記の「以下に説明するケース」の要件②として) ・それら (2 つ以上あるイーサネットスイッチングハブ) のうちの 2 つが、LAN ケーブルで 2 重に接続されている。 (上記の「以下に説明するケース」の要件③として) ・その 2 重に接続された 2 つのハブ間でループを形成している。</p> <p>(症状 A の補足説明として) このようなループは、プロジェクターだけでなく、ネットワーク内の他の装置へも悪影響を及ぼすことがあります。</p> <p>ネットワーク接続を確認し、(ループが存在する場合は) LAN ケーブルを 1 本にするなどして、ループを削除してください。</p>	—

お知らせ

- 画面中に輝点や黒点がみられることがありますが、これは液晶特有の現象であり、故障ではありません。
- 静止画、動きの少ない映像や液晶パネルの仕様と異なる縦横比 (16:9 など) の映像を長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて残像が残ることがあります。この場合は白画面 (白い無地の映像) を 1 時間以上投映し続けるか、または電源を切って数時間放置してください。白画面表示には、ブランク機能 (📖1-37, 2-20) をご利用ください。

保証とアフターサービスについて(必ずお読みください。)

修理を依頼されるときは (出張修理)

【技術情報編】「故障かなと思ったら」(P4-30～38)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間については保証書をご覧ください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

補修用性能部品保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	液晶プロジェクター
本体形名	CPX10WNJ (CPX10WN) CPX11WNJ (CPX11WN) CPWX12WNJ (CPWX12WN)
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
梱包材の有無	輸送いただく場合はお買い上げ時の梱包材をお使いください。梱包材が損傷していたり廃棄または紛失した場合はお知らせください。
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ()	年 月 日

長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリ、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検



このような症状はありませんか

- 電源を入れても映像が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- ランプが破裂した。



ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈り物で頂いたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

**修理などアフターサービスに
関するご相談は**
TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 365日/9:00～19:00

**商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は**
TEL 0120-3121-19
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30/携帯電話、PHSからも
ご利用できます。(日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など
弊社の休日は休ませていただきます。)

- 本窓口等で取得致しましたお客様の個人情報は、お客様のご相談及びサポート等への対応を目的として利用し、適切に管理します。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確に回答するために通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

※弊社の「個人情報保護に関して」は、下記をご参照下さい。

URL <http://www.hitachi-ce.co.jp/privacy/index.html>

商標について：

- Microsoft[®]、Internet Explorer[®]、Windows[®]、Windows NT[®]、Windows Vista[®]、Aero[®]、DirectDraw[®] および Direct3D[®] は、米国またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。
- Mac[®]、Macintosh[®] および Mac OS[®] は Apple Inc. の登録商標です。
- Adobe[®] および Acrobat[®]、Reader[®] は Adobe Systems Incorporated の登録商標です。
- Pentium[®] は Intel Corp. の登録商標です。
- VESA および DDC (DDC/CI) は Video Electronics Standards Association の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ及び High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の米国およびその他の国における商標又は登録商標です。
- PJLink ロゴは、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- Blu-ray[™]、および Blu-ray Disc[™] は Blu-ray Disc Association の商標です。

The PJLink logo consists of the letters "PJLink" in a bold, sans-serif font. The "P" and "J" are connected, and the "L" is also connected to the "i". A small "TM" trademark symbol is located to the upper right of the "k".

その他の社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

 **日立コンシューマエレクトロニクス株式会社**
映像ソリューション事業部

〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地